

学生の確保の見通し等を記載した書類

公立小松大学

目 次

I	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
1	学生の確保の見通し	1
(1)	定員充足の見込み	1
①	既設学科の定員充足状況	1
②	全国における同分野の学部学科への志願動向について	1
③	北陸地域における同分野の学部学科の設置状況	2
④	北陸地域における同分野への志願動向と定員充足状況	3
⑤	県内外出身の大学進学者の動向及び18歳人口の推移	4
⑥	第三者機関による高校生アンケート調査結果概要	5
(2)	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	9
(3)	学生納付金の設定の考え方	10
2	学生確保に向けた具体的な取組状況	10
II	人材需要の動向等社会の要請	13
1	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	13
2	上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	13

I 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1 学生の確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

本学の設置学部と同分野(同系列の学部)への全国的な志願動向を踏まえるとともに、本学設置予定の石川県内及び周辺地域(北陸地域)における同学部学科の設置状況や近年の志願動向、さらには高校生に対するアンケート調査結果や公立大学としての収支の均衡の観点から総合的に定員充足の見込みを判断し、入学定員を生産システム科学部 生産システム科学科は 80 人、保健医療学部 看護学科は 50 人、保健医療学部 臨床工学科は 30 人、国際文化交流学部 国際文化交流学科は 80 人とする事とした。

① 既設学科の定員充足状況

平成 30 年 4 月に学生募集を停止する予定の小松短期大学は、本学の基礎となる。そのため、同短期大学の地域創造学科(単科)を既設学科とする。学生の確保の状況は以下の通りである。

当該学科の志願者数は、平成 24 年度 106 人、平成 25 年度 122 人、平成 26 年度 118 人、平成 27 年度 100 人、平成 28 年度 95 人と推移している。入学者数は、平成 24 年度 90 人、平成 25 年度 97 人、平成 26 年度 101 人、平成 27 年度 74 人、平成 28 年度 77 人である。入学定員超過率は、平成 24 年度 0.75、平成 25 年度 0.80、平成 26 年度 0.84、平成 27 年度 0.61、平成 28 年度 0.64 と推移しており、定員未充足の状況が続いている【資料 1】。

この定員未充足の状況の原因を、全国的な 18 歳人口の減少や学生のニーズの変化等によるものと結論づけ、協議・検討の結果、同短期大学の廃止及び 4 年制大学の設置との結論に至った。

② 全国における同分野の学部学科への志願動向について

本学設置学部と同分野への全国的な志願動向を把握するため調査を行った。具体的には、学校基本調査「高等教育機関 編」の過去 5 年間のデータ(平成 23 年～28 年、平成 27 年は該当データなし)をもとに、本学設置学部と同系列の学部への志願者数、志願者指数の推移を調べ、考察を行った。志願者指数については、平成 23 年度を 100%の基準としている【資料 2】。

○工学系(生産システム科学部)

生産システム科学部と同系列の学部への全国の志願者数は、平成 23 年度で 259,055 人、平成 28 年度で 298,914 人であり、約 1.15 倍に増加している。経年推移を見ても増加傾向にある。このことから、当該分野の入学志願動向は良好であることが分かる。

(同系列の学部として「工学部」を抽出した)

○看護系（保健医療学部 看護学科）

保健医療学部 看護学科と同系列の学部への全国の志願者数は、平成 23 年度で 38,625 人、平成 28 年度で 54,244 人であり、約 1.4 倍に増加している。経年推移を見ても増加傾向にある。このことから、当該分野の入学志願動向は良好であることが分かる。(同系列の学部として「看護学部」を抽出した)

○臨床工学系（保健医療学部 臨床工学科）

保健医療学部 臨床工学科と同系列の学部への全国の志願者数は、平成 23 年度で 27,835 人、平成 28 年度で 39,896 人であり、約 1.43 倍に増加している。経年推移を見ても増加傾向にある。このことから、当該分野の入学志願動向は良好であることが分かる。(同系列の学部として、臨床工学技士養成課程を含む主な学部である「保健医療学部」「医療保健学部」を抽出した)

○国際系（国際文化交流学部）

国際文化交流学部と同系列の学部への全国の志願者数は、平成 23 年度で 178,524 人、平成 28 年度で 214,123 人であり、約 1.19 倍に増加している。経年推移を見ても増加傾向にある。このことから、当該分野の入学志願動向は良好であることが分かる。(同系列の学部として、学部名称に「外国語」及び「国際」を含む学部を対象とした)

以上のことから、本学設置学部と同分野への全国的な志願者動向は良好であることがうかがえる。

③ 北陸地域における同分野の学部学科の設置状況

本学が設置される石川県（小松市）及びその周辺地域である北陸地域（富山県、石川県、福井県）に所在する同系列の学部学科の設置状況を調査した【資料 3】。

○工学系（生産システム科学部）

石川県内における工学系学部を有する大学は、平成 28 年 10 月現在、2 校（7 学科・学類）の設置、北陸地域では、計 6 校（17 学科・学類）が設置されている。

○看護系（保健医療学部 看護学科）

石川県内における看護系学部を有する大学は、平成 28 年 10 月現在、4 校（4 学科・学類）の設置、北陸地域では、計 8 校（8 学科・学類）が設置されている。

○臨床工学系（保健医療学部 臨床工学科）

石川県内、北陸地域全体においても、臨床工学技士養成学科を有する大学の設置はない。北陸地域における臨床工学技士養成学校は、平成 28 年 10 月現在、小松短期大学（石川県）の 1 校のみである。なお、同学の「臨床工学ステージ」・「臨床工学専攻科」が本学科の基礎となる（平成 30 年学生募集停止予定）。

○国際系（国際文化交流学部）

石川県内における国際系学部を有する大学は、平成 28 年 10 月現在、4 校（5 学科・学類）の設置で、北陸地域では、計 7 校（8 学科・学類）が設置されている。

④ 北陸地域における同分野への志願動向と定員充足状況

上記②で示した学部学科への志願動向を把握するため調査を行った。具体的には、直近 2 年間（平成 27 年度、平成 28 年度）の各学部学科における定員、志願者数、入学者数及び志願倍率を表に示し、考察を行っている。尚、志願倍率については「一般入試」に限定し算出した。【資料 4，資料 5】。

○工学系（生産システム科学部）

北陸地域における工学系学部学科への志願倍率の平均は、平成 27 年度が 6.58 倍、平成 28 年度は 6.05 倍となっており、定員充足率も平均 1.09 倍となっている。これは、北陸地域における同学部学科に対する進学希望者が多数存在している状況を表しており、安定した志願者数の確保と高い志願倍率、定員充足の状況から、本学部においても十分な学生の確保の見通しがあるものと考ええる。

○看護系（保健医療学部 看護学科）

北陸地域における看護学系学部学科への志願倍率の平均は、平成 27 年度が 4.43 倍、平成 28 年度が 6.45 倍となっており、定員充足率も平均 1.05 倍となっている。これは、北陸地域における同学部学科に対する進学希望者が多数存在している状況を表しており、安定した志願者数の確保と高い志願倍率、定員充足の状況から、本学科においても十分な学生の確保の見通しがあるものと考ええる。

○臨床工学系（保健医療学部 臨床工学科）

前項でも述べた通り、北陸地域における唯一の臨床工学技士養成学校は小松短期大学であり、該当学科を有する大学の設置はない。そのため、北陸地域内での比較はできず、全国と同系列の学科を有する大学のデータを用いた【資料 6】。臨床工学技士を養成する学科（全 13 校）への志願倍率は、全国平均で 7.45 倍、定員充足率も 1.08 倍となっている。これは同学部学科に対する進学希望者が多数存在している状況を表

しており、北陸地域に学部設置がないこと、全国的に設置数が少ないことなどを勘案し、本学科において十分な学生の確保の見通しがあるものとする。

○国際系（国際文化交流学科）

石川県内における国際系学部学科のなかには、定員充足率が1倍に満たない学部学科があるため平均が0.98倍となっているが、同学部学科の志願倍率を見ると、北陸地域の志願倍率の平均は、平成27年度が3.32倍、平成28年度が3.75倍という数値を示している。したがって、定員割れの理由は、少なくとも志願者数の不足を理由するものではないことが分かる。北陸地域における同学部学科への進学希望者自体は多数存在しているという状況がうかがえ、本学部においても十分な学生の確保の見通しがあるものと考えている。

⑤ 県内外出身の大学進学者の動向及び18歳人口の推移

ア 県外出身学生の動向

学校基本調査をもとに石川県が作成した資料によると、石川県内に所在する大学へ進学する者（約5,600人）のうち、県外出身者が占める割合は約6割（約3,500人）であり、県内出身者は約4割である。このことから、本学への進学希望者が県外からも見込めることがうかがえる【資料7】。

イ 県内出身学生の動向

また、同資料から、県内の大学進学希望者（約5,400人）のうち、県外の大学へ進学する割合が約6割（約3,300人）であるという数値が示されている。上記③で示した通り、県内の同系列の学部学科への志願倍率はいずれも高い数値であるが、それにもかかわらず、多くの学生が県外へ進学しているということが分かる。本学の設置により、地域に進学できる学部学科が増え、これまで県外に進学せざるを得なかった学生の一部が、本学へ進学を希望する可能性は十分にあると推察する。

ウ 18歳人口の推移

また、県内の大学進学希望者数について増減を予測すべく、18歳人口の推移を調査した。具体的には、平成25年以降の18歳人口を全国と石川県（南加賀地域、小松市）の別で表にし、比較・考察を行った【資料8】。石川県内の18歳人口の経年推移を見ると、平成28年に11,055人で、以降徐々に減少し、平成39年には10,077人に減少するという予測であり、全国の18歳人口は、平成28年に1,190,262人、平成39年に1,082,770人に減少する予測である。県内及び南加賀地域の18歳人口は、全国と同様に減少傾向ではあるが、やや緩やかな減少であることが分かった。したがって、県内の大学進学希望者については、大幅に減少することはないと推察する。

⑥ 第三者機関による高校生アンケート調査結果概要

新大学設置計画を実行するにあたっては、実際の学生募集の対象としている高校生（２年生）の新大学に対するニーズについて、客観的データに基づいて認識しておく必要があり、本市では、高校生を対象としたアンケート調査を実施した【資料 9】。アンケート調査の際に配布した大学概要は別紙の通り【資料 10】。

アンケート実施にあたっては、本学設置の目的である「若者を地域に留めて次代を担う優秀な人材を育成し、地域の産業等へ送り出すこと」を踏まえ、学生確保における主要なエリアとして石川県を中心とした北陸三県（石川県、富山県、福井県）を対象エリアとした。また、北陸新幹線の金沢開業（平成 27 年 3 月）により、新潟県及び長野県とのアクセスが向上しており、今後、これらの県においても、本学への入学に関する一定数の需要があることを考慮し、この 2 県も対象エリアに加えた。また、調査を行う高校の選定にあたっては、石川県除く 4 県においては、近年 4 年制大学への進学実績がある高校を対象とした。

調査にあたっては、対象となる高校に協力依頼を行い、承諾を得られた 118 高校のうち 111 校から回答を得た。

高校生アンケート調査対象・選定基準及び実施高校数

県名	地域	選定基準	実施高校数
石川県	全域	全ての高校	45 校
富山県	全域	近年、４年制大学への進学実績がある高校	37 校
福井県	全域		23 校
新潟県	上越地方		4 校
長野県	北信地方		9 校
計			118 校

調査結果の概要は、以下の通りである。

<調査目的>

公立小松大学に関して、高校生の期待する教育内容、進学希望等を把握し、今後の計画推進のための参考資料とすること

<調査対象>

石川県、富山県、福井県、新潟県、長野県の高等学校に在籍する高校生 2 年生

<回収状況>

配布数:18,767 票(118 校)／回答数:16,480 票／有効回答票の回収率:87.81%

<実施時期>

平成 28 年 6 月から平成 28 年 8 月にかけて調査を実施

<調査委託先>

調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託の上、実施した。委託先は、一般財団法人日本開発構想研究所（東京都港区）である。調査終了後、委託先の一般財団法人日本開発構想研究所より調査結果報告書を受け取っている。

ア 単純集計：高校卒業後の希望進路（資料 9 11 ページ問 3 参照）

回答者に「高校卒業後の希望進路」について伺ったところ、「大学進学」が 11,957 人(72.6%)、「短期大学進学」が 747 人(4.5%)、「専門学校進学」が 1,710 人(10.4%)、「就職」が 1,880 人(11.4%)、「その他」が 165 人(1.0%)、となった。回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」を希望する者が全体の 7 割強を占め最も多く、次いで「就職」「専門学校進学」「短期大学進学」と続いている。

イ 単純集計：公立小松大学への進学希望（資料 9 19 ページ問 6 参照）

上記問 3 で「大学進学」「短期大学進学」を選択した回答者 12,704 人に対して「公立小松大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 297 人(2.3%)、「一応進学を考える」が 1,089 人(8.6%)、「進学を希望しない」が 5,886 人(46.3%)、「わからない」が 5,273 人(41.5%)、となった。

公立小松大学 3 学部 4 学科の入学定員合計 240 人に対し、「進学を希望する」(297 人)のみで大学全体の入学定員以上（入学定員の 1.24 倍）の実数を得ることができた。

尚、「進学を希望する」に「一応進学を考える」を加えると 1,386 人であり、入学定員合計の 5.78 倍に該当する回答者が、公立小松大学に対して何らかの進学希望を持っていることがわかる。

ウ クロス集計：公立小松大学への進学希望〔問 6〕×公立小松大学 各学部学科への進学希望順位〔7 第一希望〕（資料 9 20～22 ページ参照）

さらに、問 6（公立小松大学への進学希望）と問 7（公立小松大学 各学部学科への進学希望順位）との回答についてクロス集計を行い、集計結果を 4 学科ごとに見ていくと以下の知見を得ることができた。

<新設学部への進学意向>

※アンケート調査集計結果より抜粋

問6 あなたは公立小松大学への進学を希望しますか。	実数
1 <u>進学を希望する</u>	<u>297人</u>
2 一応進学を考える	1,089人
合 計	1,386人

問7 問6で「1 進学を希望する」「2 一応進学を考える」を選択いただいた方に おたずねします。あなたが進学を希望する学部学科は、生産システム科学部生産シ ステム科学科／保健医療学部看護学科／保健医療学部臨床工学科／国際文化交流学部 国際文化交流学科のうち、どれですか。						
第1希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療 学部 看護学科	3 保健医療 学部 臨床工学科	4 国際文化 交流学部 国際文化 交流学科	不 明
全 体	1386人	374人	361人	178人	397人	76人
1 <u>進学を希望する</u>	297人	106人	66人	38人	63人	24人
2 一応進学を考える	1089人	268人	295人	140人	334人	52人

○生産システム科学部 生産システム科学科

問6（公立小松大学への進学希望）で「進学を希望する」と選択した297人のうち、問7（公立小松大学 各学部学科への進学希望順位）で第一希望として「生産システム科学部 生産システム科学科」を選択した回答者は、106人であった。

生産システム科学部 生産システム科学科の入学定員80人に照らすと、同学科への進学を第一希望とする回答者（106人）について、1.33倍の実数を得たことになり、このことから、開学後における生産システム科学部 生産システム科学科の学生確保の見通しは概ね良好と推察できる。

○保健医療学部 看護学科

問6（公立小松大学への進学希望）で「進学を希望する」と選択した297人のうち、問7（公立小松大学 各学部学科への進学希望順位）で第一希望として「保健医療学部 看護学科」を選択した回答者は、66人であった。

保健医療学部 看護学科の入学定員50人に照らすと、同学科への進学を第一希望とする回答者（66人）について、1.32倍の実数を得たことになり、このことから、開学後における保健医療学部 看護学科の学生確保の見通しは概ね良好と推察できる。

○保健医療学部 臨床工学科

問 6（公立小松大学への進学希望）で「進学を希望する」と選択した 297 人のうち、問 7（公立小松大学 各学部学科への進学希望順位）で第一希望として「保健医療学部 臨床工学科」を選択した回答者は、38 人であった。

保健医療学部 臨床工学科の入学定員 30 人に照らすと、同学部学科への進学を第一希望とする回答者（38 人）について、1.27 倍の実数を得たことになり、このことから、開学後における保健医療学部 臨床工学科の学生確保の見通しは概ね良好と推察できる。

○国際文化交流学部 国際文化交流学科

問 6（公立小松大学への進学希望）で「進学を希望する」と選択した 297 人のうち、問 7（公立小松大学 各学部学科への進学希望順位）で第一希望として「国際文化交流学部 国際文化交流学科」を選択した回答者は、63 人であった。

高校生アンケートにおいて、「進学を希望する」と回答した数の、県別の値は次のとおりとなる。

高校生アンケート 国際文化交流学部国際文化交流学科への進学希望者数

地域	調査実施高校数	進学希望者数
石川県	45 校	27 人
富山県	37 校	12 人
福井県	23 校	21 人
長野県	4 校	2 人
新潟県	9 校	1 人
計	118 校	63 人

「平成 27 年度学校基本調査」（文部科学省）によれば、石川県内の大学における「出身高校の所在地県別 入学者数」のうち、北陸三県の値は全体の 59.6%を占めている。また、長野県 4.3%、新潟県 4.4%を加えれば、全体の 68.3%となり、これらの地域が入学者数を検討する上で主要な地域であると考えられる。北陸三県において、60 人の進学希望者がおり、これは 80 人定員の 75%を満たす。また、長野県、新潟県における北陸新幹線沿線地域を中心とした調査における調査においても、両県において進学希望者を一定数確保できることが示されている。学校基本調査により、石川県内の大学に関して、北陸三県とその他地域の入学者の割合が概ね「60 : 40」であることから、アンケート結果に基づけば北陸 3 県以外からの志望者として 40 人を想定することができる。したがって、北陸 3 県の 60 人と合わせて、80 人定員を超える約 100 人の入学希望者を

見込めることが想定された。

さらに、自県以外からの進学希望者を検討するにあたって、「公立大学」であることによる差異がないことを示すため、公立大学協会の「大学基本情報（2015）」を元に検証を行った。その結果、北陸三県の公立大学の平均値として、出身高校が北陸三県である者の割合は 53%であり、学校基本調査と同様に、北陸三県以外からの進学希望者を十分見込むことができることが示唆される。

以上の理由より、本学科の定員 80 人については充足できると考える。今後は、平成 30 年度入学生となる高校生で、特に本学が想定する地域としている「北陸三県」の高校生に対し、受験雑誌や関連サイトなどの外部情報媒体による PR 活動にとどまらず、高校生自らの学力測定と進路選択に直接つながるツールである有名全国模試への大学コード登録ならびに模試結果の志願者動向の分析を通じた的確な情報発信、そして教員予定者と高校生が直接交流する機会の創出なども積極的に取り入れ、一人でも多くの出願につながるよう志願者確保に努めていく。

以上の第三者機関による高校生アンケート調査結果からすれば、本学 3 学部 4 学科の開学後における学生確保の見通しは概ね良好と推察できる。

（２）定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

（１）で挙げた客観的根拠となるデータの詳細は以下の通り

【資料 1】既設大学の定員充足状況

出典：小松短期大学提供「入試データ」

【資料 2】全国の同系列学部（学科）の志願動向（国公立計）

出典：文部科学省「学校基本調査報告書（高等教育機関 編）」

【資料 3】北陸 3 県における同系列の学部学科の設置状況

出典：各大学のホームページ

【資料 4】北陸 3 県における同系列の学部学科の志願状況

出典：蛍雪時代全国大学内容案内号臨時増刊（旺文社）「全国大学入試結果」

【資料 5】北陸 3 県における同系列の学部学科の定員充足状況

出典：各大学のホームページ

【資料 6】全国における臨床工学技士養成学部（学科）の入試状況

出典：文部科学省 文部科学大臣指定（認定）医療関係技術者養成学校一覧（平成 27 年）、蛍雪時代全国大学内容案内号臨時増刊（旺文社）「全国大学入試結果」

【資料 7】石川県内大学の大学進学者の動向と県内大学の県外出身者割合

出典：石川県「いしかわ人口創生ビジョン」（平成 27 年）、文部科学

省「学校基本調査報告書（高等教育機関 編）」

【資料 8】 全国および石川県内における 18 歳人口の推移

出典：石川県年齢別推計人口調査における各歳別推計人口（平成 27 年）、文部科学省「学校基本調査報告書（初等中等教育機関、専修学校・各種学校 編）」

【資料 9】 公立小松大学 設置に関するアンケート調査（高校生）集計結果
一般財団法人日本開発構想研究所作成（平成 28 年 9 月）

（3）学生納付金の設定の考え方

入学金は石川県内の公立大学である石川県立大学の入学金を基準とし、小松市内の学生は 282,000 円、市外の学生は 423,000 円と設定する。（市内の学生とは、①入学の日の属する月の初日において引き続き 1 年以上、小松市の区域に住所を有する方又は②入学の日の属する日の初日において、1 親等の親族が引き続き 1 年以上小松市の区域に住所を有する方）

小松市内外の居住者によって、入学金に差を設けるのは、公立小松大学が小松市からの財源によって運営されている大学であることから、住民税などを負担している市内の方には、負担軽減をおこなうという考え方に基づいて設定するものである。

授業料は最も競合関係が高いと考えられる北陸 3 県の各大学の同系列の学部の授業料の平均金額や、公立大学であり学生に広く就学の機会を提供することを考慮し、小松市内外の居住を問わず同額に設定し、大学経営の安定性を確保する観点等から、開学時の授業料を国立大学標準額に 50,000 円を加えた金額の 585,800 円とした。

北陸 3 県における設置学部と同系列の学部学科の授業料（平成 28 年度）の状況は、生産システム学部では平均 735,867 円、保健医療学部（看護学科）では平均 634,350 円、国際文化交流学部では平均 675,629 円となっており、いずれの学部においても、競合校と比べ、本学の学部学科のほうが低い設定となっている【資料 11】。

生産システム学部、保健医療学部については、教育研究のための研究設備や実験、実習のための経費の一部として、実習費 50,000 円を設定する。

2 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生の確保に向けた取組については、全学体制として行っており、今後も開学に向け、学長を中心に、学部長、学科長及び教授を加えた広報のための組織をつくり、広く積極的に取組を進めていく。

これまでの取組状況及び今後の予定は以下のとおりである。

なお、以下の取組内容については、生産システム科学部、保健医療学部、国際文化交流学部において共通したものとなっている。

【ホームページの掲載】

小松市役所ホームページ内に、本学の概要を紹介するページを設け、平成 28 年 4 月から 9 月末までの間に、1 万 3 千件のアクセスがあった。

<http://www.city.komatsu.lg.jp/11181.htm>

また、平成 29 年 4 月頃に本学独自の Web ページ開設を予定しており、高校生の進路選択に必要な詳細な大学情報を提供するとともに、SNS (social networking service) を活用して、広範囲に周知を図っていく。

【公立小松大学構想リーフレットの作成・配付】

設置に関するアンケート調査の実施に際し、本学の構想を説明するためのリーフレット (A 4 判、両面) を作成した。本リーフレットは、北陸三県の高校の主として 2 年生を対象に配付するものであり、高校生が将来の進学先を検討する際の資料として活用することも想定して作成した。

配付人数：高校 2 年生 約 18,700 名 (北陸 3 県以外も含む)

平成 29 年春より、ホームページでの本学の資料請求に対応する仕組みを整える。ホームページ上で資料申込を受付け、希望者には大学案内用の小冊子を送付する。また、大学設置認可の後、大学案内及び募集要項の請求に対応する。

【小松市広報誌の活用】

小松市広報の平成 28 年 7 月号特集として、本学設置の構想について紹介を行った (A 4 判、4 ページ)。誌面は、市内の高校 2 年生が本学の学部学科の構成やキャンパスの体制について調査するストーリー構成となっており、将来の進学を考える高校が読者層となることを想定したものとなっている。

配付部数：約 40,000 部 (小松市内の全戸に配布)

【高校訪問】

設置に関するアンケート調査の実施に際し、北陸三県の高校を中心として訪問し、本学の設置構想について進路指導担当の先生に説明を行った。その際、高校の進路指導担当の先生から大学の概要や進路指導に向けた具体的な問い合わせが多数寄せられた。今後、開学準備期間を通じて、さらに PR 活動を継続し、学生

訪問高校数：112 校 (訪問期間：平成 28 年 6 月～7 月)

〔石川県 49 校、富山県 40 校、福井県 23 校〕

【大学進学説明会】

高校生やその保護者を対象とした進学説明会を小松市内で開催するほか、金沢・福井・

富山においても地区別の説明会を開催し、広く周知を図っていく。開学後は、オープンキャンパスを毎年開催し、参加者に向けた大学の概要説明を行うとともに、教員との交流・相談会や体験授業を実施し、学生確保につなげていく。

【外部情報媒体の積極的な活用】

受験雑誌や関連サイト、新聞広告を利用した学生確保に向けたPR活動を行う。平成28年度中から、設置認可申請中の大学として進学情報誌に掲載を予定。平成29年度からは、インターネット媒体を活用することにより、北陸三県を中心にしつつ、全国にも目を向けた広報活動を行っていく。

Ⅱ 人材需要の動向等社会の要請

1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

公立小松大学は、確かな基礎知識と高度な専門能力を有し、国際的な視野をもって地域と世界で活躍する創造力ある専門職業人を育成するとともに、地域の知の拠点として学術文化の振興と情報発信を担い、地域産業の持続的発展と健康で豊かな地域社会の実現、さらには我が国及びグローバル社会に顕在する課題の解決に寄与することを目的とする。

○生産システム科学部 生産システム科学科

地域社会の様々なニーズに応えながらも、循環型社会実現のための生産システム構築を目指す技術者の育成と、関連分野で世界をリードする研究開発を行う。

○保健医療学部 看護学科

実在または潜在する健康問題を抱える対象の反応をアセスメントし、その人にとって望ましい看護ケアの提供の実現に向けて、看護師として求められる知・技・行とともに、病を抱える人や老いを生きる人の心身の痛みに共感できるしなやかで繊細な感性と、人としての深さを併せもち、幅広い領域で求められる看護ケアを的確かつ柔軟に提供できる看護専門職業人を育成する。

○保健医療学部 臨床工学科

高度化する医療技術と多様な医療環境の中でチーム医療の一員として、より安全で的確な医療技術の持続的提供と、社会に対する幅広い視野をもち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を持つ臨床工学技士および臨床工学教育・研究者を育成する。

○国際文化交流学部 国際文化交流学科

人文・社会科学系の総合学部として、外国語力をベースとした国際社会に対する知識と国際感覚を備え、強い人間力と豊かな知性・感性をもって地域社会の創生と我が国の持続的発展に貢献できる人材を育成する。

2 上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

上記1で示した養成する人物像及び研究教育上の目的が、社会的、地域的な需要の動向を踏まえたものであるかを客観的に調査すべく、地域企業（事業所）の各種データを調べ、さらに、本学を卒業した人材についての「採用ニーズアンケート調査」を行い、

考察を行った。

アンケートについては、各学部学科を卒業した者の就職先として想定される業種別に、北陸3県の事業所にアンケート調査表と大学概要【資料10】を郵送し、回答を求めた。調査結果の概要は、以下の通りであり【資料12】、客観的に見積もられる学部学科ごとの採用想定人数を次表に示す。

<調査目的>

公立小松大学に関して、地域企業が期待する教育内容、採用を希望する人材等を把握し、今後の計画推進のための参考資料とすること

<調査対象>

北陸3県に所在する各学部卒業生の就職進路先として想定される業種別に選抜した地域企業及び医療機関3,504社・施設(北陸3県外の企業も一部含まれる)

<回収状況>

- ・生産システム科学部 配布 1,093／回答 413／有効回答票の回収率 37.8%
- ・保健医療学部 配布 1,175／回答 428／有効回答票の回収率 36.4%
- ・国際文化交流学部 配布 1,203／回答 457／有効回答票の回収率 38.0%

<実施時期>

平成28年7月から平成28年8月にかけて調査を実施

<調査委託先>

調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託の上、実施した。委託先は、一般財団法人日本開発構想研究所(東京都港区)である。調査終了後、委託先の一般財団法人日本開発構想研究所より調査結果報告書を受け取っている。

アンケート調査結果に基づく各学部における採用希望件数および採用想定人数

		生産システム科学部 生産システム科学科	保健医療学部 看護学科	保健医療学部 臨床工学科	国際文化交流学部 国際文化交流学科
定員		80人	50人	30人	80人
採用したい	回答事業所 件数	71件	92件	18件	31件
	採用想定人数	112人	217人	15人	66人

※選択肢5～6人、7～9人、10人以上はそれぞれ5人、7人、10人で計算した。

※「採用したい」と回答し、かつ採用想定人数を「わからない」とされた回答は件数(人数)に含めていない。

○生産システム科学部

本学部の卒業後の就職先として想定される、電気・輸送用・精密・医療機器等の製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業等の業種を中心とした企業（事業所）を対象にアンケートを実施した。その結果、回答件数 413 件のうち、「採用したい」と回答した事業所は 71 件（17.2%）であり、採用想定人数として 112 人という数値が得られた。以上より、卒業予定人数 80 人に照らし、本学部で学んだ人材への需要は高いことが認められ、卒業後の進路は十分に見込めるものとする（資料 12 19～20 ページ参照）。

石川県とりわけ小松市は、技術集積度が高く全国でも稀な「ものづくりのまち」として発展しており、優良な製造業（企業）が多数存在している。その一方で、石川県鉄工機電協会が会員の製造業に対し実施した「人材採用等についてのアンケート」の調査結果では、平成 27 年度の大卒・院卒の採用実績は、計画の 49 社 325 人に対し、38 社 257 人（マイナス 20.9%）であり、地域の優良製造業が希望通りに大卒者を採用できているわけではないことが分かる【資料 13】。本学部では、授業等で学生が地域企業と関わることができるため、地域企業とのマッチングも図ることができ、これら地域企業の要請に応えるものとする。

○保健医療学部 看護学科（看護師）

本学科を卒業した者のほとんどは、その専門性を活かし、看護師や保健師として就職することになるため、就職先としては病院等の医療機関が想定される。そこで、北陸地域の医療機関に対しアンケートを実施したところ、回答件数 428 件のうち、「採用したい」と回答した医療機関等は 92 件（21.5%）であり、採用想定人数として 217 人という数値が得られた（資料 12 37～38 ページ参照）。本学科の定員 50 人に照らしても、本学科で学んだ人材への需要は高いことが認められ、卒業後の進路は十分に見込めるものとする。

厚労省策定の「第七次看護職員需給見通し（都道府県別）」によると、石川県では、平成 27 年度は需給の差が 49 人（不足）で、平成 23 年度の 376 人の不足から改善されており、北陸 3 県をみても同様のことがうかがえる。その一方で、「社会保障・税一体改革」を実施した場合の「医療・介護にかかる長期推計の試算」（注 1）によると、平成 37 年時点で、看護職員は約 195～205 万人が必要となる見込み（全国ベース）となっており、10 年間で 4～4.2 万人の増加が必要だと分かる【資料 14】。

このような人材不足の面だけでなく、高度化・多様化する医療ニーズなどにより、看護職にも質の高さが求められており、全国的にも地域的にも大卒の看護師のニーズは高まっていると考えられる。（注 1：現在の性・年齢階級別のサービス利用状況をそのまま将来に投影したケース（現状投影シナリオ）と、今後一定の改革シナリオに基づきサービス利用状況や単価等を変化させたケース（改革シナリオ）で比較した推計データ）

○保健医療学部 臨床工学科（臨床工学技士）

本学科を卒業した者のほとんどは、その専門性を活かし、臨床工学技士として就職することになるため、就職先としては病院等の医療機関が想定される。そこで、看護学科と同じく北陸地域の医療機関に対しアンケートを実施したところ、回答件数 428 件のうち、「採用したい」と回答した事業所は 18 件（4.2%）であり、採用想定人数として 15 人という数値が得られた。本学科の定員 30 人を下回る結果であり、アンケートだけを根拠として人材需要を説明することはできない。そこで、本学科の基礎となる小松短期大学臨床工学専攻科の卒業生に対する求人状況及び就職実績等に基づき分析を行った。

本学科の基礎となる小松短期大学臨床工学専攻科への求人件数は、過去 5 年間を見ると、1 年あたり平均 136 件あり、当該専攻科の卒業生全員（年 20 人前後）が、毎年、北陸 3 県内の医療機関に就職しているという実績もある【資料 15】。その人材需要の値を説明するため、求人的人数についてもあわせて示す。また、小松短期大学に求人が来ていない医療機関に、学生自らが応募し、内定・就職した実績もあることから、これも地域の人材需要とみなして、併せて示す。その結果、過去 5 年間にわたり、北陸三県における求人的人数は本学科の 30 人を概ね上回っており、地域における人材需要は十分にあると考える。

小松短期大学 臨床工学専攻科卒業生への求人数

		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
卒業生数（臨床工学技士 国家試験合格者）		11 人	11 人	22 人	15 人	11 人
求 短 人 大 人 へ 数 の	全国（北陸三県 除く）	258 人	218 人	269 人	267 人	199 人
	北陸三県	34 人	31 人	25 人	38 人	38 人

※求人数「若干名」は 1 人で計算、「2～3 名」は最少の 2 名として計算し、各数値を算出した。

小松短期大学 臨床工学専攻科卒業生の求人外での内定・就職人数

		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
内 求 定 人 ・ 外 就 での 職 人数	北陸三県	—	—	10 人	8 人	7 人

※卒業生の就職内定件数・人数に基づき算出

臨床工学技士は、年々、複雑化・高度化する医療機器のスペシャリストとして、チーム医療には欠かせない存在となっているが、臨床工学技士は平成 28 年現在、約 3 万人であり、需要に対して圧倒的に少ない現状である。加えて、平成 26 年度の診療報酬改定での特定集中治療室管理料に関する改定で、施設基準に「専任の臨床工学技士が常時院内に勤務している」ことが盛り込まれた例からもうかがえるように、臨床工学技士は、病院経営の側面からも欠かせない医療専門職となっており、社会的需要がますます高まることが推察できる。

○国際文化交流学部

本学部の卒業後の就職先としては、まず語学力が必要とされる主な業種として、運輸・通信業及び旅行業が想定される。それに加えて、業種にかかわらず国際的な取引（輸出入含む）を行う企業（事業所）が想定されるため、それらの条件を満たす企業（事業所）を対象にアンケートを実施した。その結果、回答件数 457 件のうち、「採用したい」と回答した事業所は 31 件（6.7%）であり、採用想定人数は 66 人という数値が得られたが、本学科の定員 80 人を下回っており、この数値だけを根拠として人材需要を説明することはできない。

一方、「一応採用を考える」と回答した事業所が 125 件（27.4%）あり、その採用想定人数は 117 人であった。また、アンケートの回答を得られなかった事業所は 746 件（62%）あり、それらの人材需要については把握ができない状況である。本学においては、公立大学として地域社会の発展に寄与するため、地域と連携した教育研究活動を行い、地域に貢献していくこととしており、アンケートで「一応採用を考える」と回答した事業所や回答を得られなかった事業所を含めた地域の企業等に対しては、地域と連携した教育研究活動の成果等の発信を通じて積極的にアピールしていくことで、本学科の養成する人材についての理解を深めていく。

石川県内の企業を「海外取引」の側面から見ると、県内の輸出を行っている企業は、平成 19 年には 121 社だったが、平成 25 年には 182 社へと増加している。業種別では、同年の 182 社のうち、機械産業が 91 社（50.0%）と圧倒的に多く、次いで食品産業 39 社（21.4%）、繊維産業 20 社（10.9%）、伝統産業 18 社（9.8%）、IT ハード産業 14 社（7.6%）と製造業を中心に拡大傾向にある。また、輸出入に限らず「海外に進出している」（海外に拠点を持つ等）企業については、平成 17 年には 92 社だったのに対し、平成 25 年には 127 社へと増加している【資料 16, 17】。

また、「観光」の側面から県内の外国人訪問者の状況を見ると、県内の外国人宿泊者数の推移は平成 24 年以降急増しており、平成 26 年は約 29 万人となっている。例として県内の観光地「兼六園」を訪れる外国人観光客数だけを見ても、平成 26 年時点で、対前年比 19.3%増の 229,080 人であり、構成比では、アジア 78.1%、西欧 10.2%、北米 5.0%と続いている【資料 18, 19】。

石川県が策定した観光計画「ほっと石川観光プラン 2016」によると、平成 37 年時点での県内外国人宿泊者数の目標を 100 万人としており、これは平成 26 年の 29 万人から約 3 倍増を目指していることになり、県内ではすでに、有名外資系ホテルの県内誘致など、インバウンド（訪日外国人客）対応のための積極的な取組が行われている【資料 20】。このような地域中小企業の国際化や県内のインバウンド増加により、語学に堪能且つ諸外国の文化・習慣の知識がある人材の需要が今後も高まることが推察できる。

これら県内の環境の変化からも、今後、本学科で学んだ人材への需要がさらに高まると考えられることから、本学科の卒業生に対する地域の人材需要は十分にあると考える。

以上のことから、上記学部学科の新設については、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであり、各学部を卒業した者の採用は継続して見込まれるものとする。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資 料 目 次

資料1	既設大学の定員充足状況
資料2	全国と同系列学部(学科)の志願動向(国公立計)
資料3	北陸3県における同系列の学部学科の設置状況
資料4	北陸3県における同系列の学部学科の志願状況
資料5	北陸3県における同系列の学部学科の定員充足状況
資料6	全国における臨床工学技士養成学部(学科)の入試状況
資料7	石川県内の大学進学者の動向と県内大学の県外出身割合
資料8	全国および石川県内における18歳人口の推移
資料9	公立小松大学 設置に関するアンケート調査(高校生)集計結果
資料10	公立小松大学構想リーフレット
資料11	北陸3県における同系列の学部学科の学生納付金
資料12	公立小松大学 設置に関するアンケート調査(事業所)集計結果
資料13	石川県内製造業の大卒採用者の実績
資料14	看護職員の需給見通し
資料15	小松短期大学 臨床工学専攻科卒業生(臨床工学技士)への求人件数
資料16	石川県 基幹産業別の輸出企業数の推移
資料17	石川県 海外進出企業及び海外拠点数の推移
資料18	石川県 発祥地別外国人宿泊客数
資料19	石川県 外国人兼六園入園者数
資料20	石川県 外国人宿泊者数の目標

既設大学の定員充足状況

資料1

(単位:人)

区 分	項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小松短期大学 地域創造学科 (合計)	入 学 定 員	120	120	120	120	120
	志 願 者 数	106	122	118	100	95
	合 格 者 数	104	111	114	96	88
	入 学 者 数	90	97	101	74	77
	入学定員超過率	0.75	0.80	0.84	0.61	0.64

(注)小松短期大学提供「入試データ」に基づき小松市が作成。

全国の同系列学部(学科)の志願動向(国公立計)

資料2

1. 工学系学部の志願動向

(単位:人)

年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
志願者数	259,055	267,184	299,097	307,678	－	298,914
指数 (平成23年度を100とする)	100.0	103.1	115.5	118.8	－	115.4

(注)1. 「工学部」を対象とし、学部名称の一部に「工学」を含む各学部は含まない。

2. 平成27年度は該当データがないため割愛している。

2. 看護系学部の志願動向

(単位:人)

年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
志願者数	38,625	41,635	45,325	48,120	－	54,244
指数 (平成23年度を100とする)	100.0	107.8	117.3	124.6	－	140.4

(注)1. 「看護学部」を対象とし、学部名称の一部に「看護学」を含む各学部は含まない。

2. 平成27年度は該当データがないため割愛している。

3. 臨床工学系学部(学科)の志願動向

(単位:人)

年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
志願者数	27,835	31,351	35,116	41,876	－	39,896
指数 (平成23年度を100とする)	100.0	112.6	126.2	150.4	－	143.3

(注)1. 臨床工学技士を養成学科のある主な学部「医療保健学部」「保健医療学部」を対象とした。

2. 必ずしも臨床工学技士養成学科を含むか否かについては把握しきれていない。

3. 平成27年度は該当データがないため割愛している。

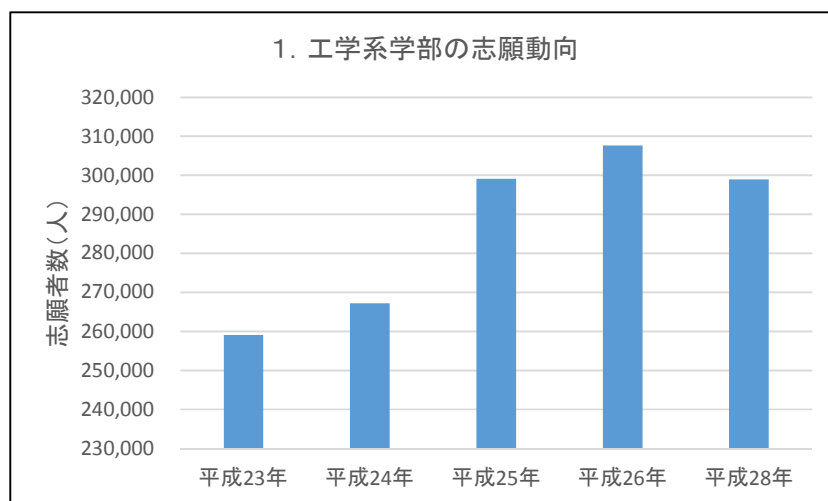
4. 国際系学部の志願動向

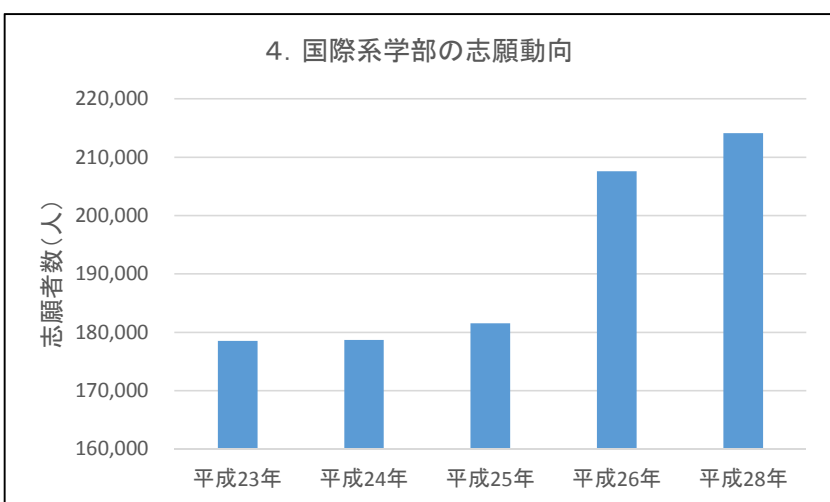
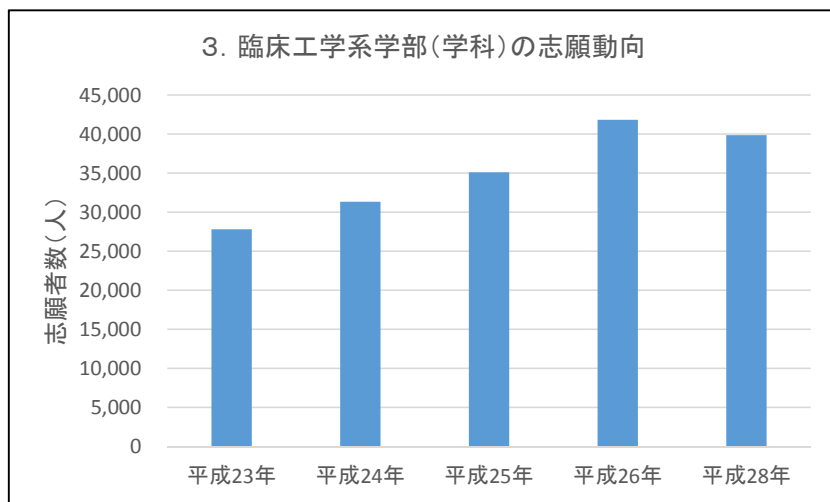
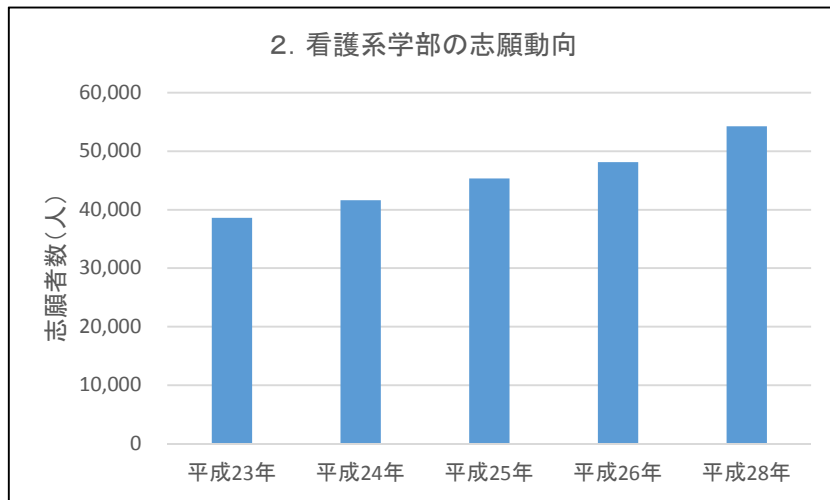
(単位:人)

年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
志願者数	178,524	178,699	181,588	207,615	－	214,123
指数 (平成23年度を100とする)	100.0	100.1	101.7	116.3	－	119.9

(注)1. 学部名称に「外国語」、「国際」を含む学部を対象とした。

2. 平成27年度は該当データがないため割愛している。





北陸3県における同系列の学部学科の設置状況

資料3

1. 生産システム科学部(生産システム科学科)

県 名		設置形態	大 学 名	学部名	学 科 名
石川県	1	国立	金沢大学	理工学域	機械工学類
					電子情報学類
	2	私立	金沢工業大学	工学部	機械工学科
					ロボテックス学科
					電気電子工学科
					電子情報通信工学科
福井県	3	国立	福井大学	工学部	情報工学科
					機械・システム工学科
	4	私立	福井工業大学	工学部	電気電子情報工学科
					機械工学科
富山県	5	国立	富山大学	工学部	電気電子工学科
					機械知能システム工学科
					電気電子システム工学科
	6	県立	富山県立大学	工学部	知能情報工学科
					機械システム工学科
					知能デザイン工学科
					情報システム工学科

(注)学部学科名称は、各大学ホームページに公開されているものを記載した(平成28年10月)。

2. 保健医療学部(看護学科)

県 名		設置形態	大 学 名	学部名	学 科 名
石川県	1	国立	金沢大学	医薬保健学域	保健学類(看護学専攻)
	2	県立	石川県立看護大学	看護学部	看護学科
	3	私立	金沢医科大学	看護学部	看護学科
	4		金城大学	看護学部	看護学科
福井県	5	国立	福井大学	医学部	看護学科
	6	県立	福井県立大学	看護福祉学部	看護学科
	7	市立	敦賀市立看護大学	看護部	看護学科
富山県	8	国立	富山大学	医学部	看護学科

(注)学部学科名称は、各大学ホームページに公開されているものを記載した(平成28年10月)。

3. 保健医療学部(臨床工学科)

県 名		設置形態	大 学 名	学部名	学 科 名
石川県			該当なし		
福井県			該当なし		
富山県			該当なし		

(注)学部学科名称は、各大学ホームページに公開されているものを記載した(平成28年10月)。

北陸3県における同系列の学部学科の設置状況

資料3

4. 国際文化交流学部(国際文化交流学科)

県 名		形態	大 学 名	学部名	学 科 名
石川県	1	国立	金沢大学	人間社会学域	国際学類
	2	私立	金沢学院大学	文学部	文学科
			金沢星稜大学	人文学部	国際文化学科
			北陸大学	未来創造学部	国際教養学科
					国際マネジメント学科
福井県	3	国立	福井大学	国際地域学部	国際地域学科
	4	私立	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科
富山県	5	国立	富山大学	人文学部	人文学科

(注)学部学科名称は、各大学ホームページに公開されているものを記載した(平成28年10月)。

北陸3県における同系列の学部学科の志願状況

資料4

1. 生産システム科学部(生産システム科学科)

(単位:人)

県 名	大 学 名	学部名	学 科 名	平成27年度			平成28年度		
				募集 人員	志願 者数	志願 倍率	募集 人員	志願 者数	志願 倍率
石川県	金沢大学	理工学域	機械工学類	140	569	4.06	140	466	3.33
	金沢工業大学	工学部	電子情報学類	108	276	2.56	108	322	2.98
			機械工学科	120	1,608	13.40	120	1,382	11.52
			ロボテックス学科	60	684	11.40	60	489	8.15
			電気電子工学科	108	982	9.09	96	911	9.49
			電子情報通信工学科	36	288	8.00	48	345	7.19
			情報工学科	120	1,247	10.39	120	1,117	9.31
	小 計			692	5,654	8.17	692	5,032	7.27
福井県	福井大学	工学部	機械・システム工学科	128	673	5.26	143	559	3.91
	福井工業大学	工学部	電気電子情報工学科	101	470	4.65	110	609	5.54
			機械工学科	80	557	6.96	80	610	7.63
			電気電子工学科	80	527	6.59	80	540	6.75
富山県	富山大学	工学部	機械知能システム工学科	73	322	4.41	73	259	3.55
			電気電子システム工学科	72	259	3.60	72	161	2.24
			知能情報工学科	57	168	2.95	57	205	3.60
	富山県立大学	工学部	機械システム工学科	40	200	5.00	47	280	5.96
			知能デザイン工学科	40	151	3.78	47	225	4.79
			情報システム工学科	40	251	6.28	40	241	6.03
			計			1,403	9,232	6.58	1,441

2. 保健医療学部(看護学科)

(単位:人)

県名	大学名	学部名	学科名	平成27年度			平成28年度		
				募集人員	志願者数	志願倍率	募集人員	志願者数	志願倍率
石川県	金沢大学	医薬保健学域	保健学類(看護学専攻)	65	234	3.60	65	185	2.85
	石川県立看護大学	看護学部	看護学科	50	282	5.64	50	290	5.80
	金沢医科大学	看護学部	看護学科	50	217	4.34	50	178	3.56
	金城大学	看護学部	看護学科	45	218	4.84	45	282	6.27
	小計			210	951	4.53	210	935	4.45
福井県	福井大学	医学部	看護学科	40	109	2.73	40	163	4.08
	福井県立大学	看護福祉学部	看護学科	35	230	6.57	35	391	11.17
	敦賀市立看護大学	看護部	看護学科	35	105	3.00	35	771	22.03
富山県	富山大学	医学部	看護学科	60	289	4.82	60	192	3.20
計				380	1,684	4.43	380	2,452	6.45

3. 保健医療学部(臨床工学科)

富山県、石川県、福井県 該当学科を有する大学なし

4. 国際文化交流学部(国際文化交流学科)

(単位:人)

県 名	大 学 名	学部名	学 科 名	平成27年度			平成28年度		
				募集 人員	志願 者数	志願 倍率	募集 人員	志願 者数	志願 倍率
石川県	金沢大学	人間社会学域	国際学類	55	197	3.58	55	198	3.60
	金沢学院大学	文学部	文学科	130	337	2.59	130	376	2.89
	金沢星稜大学	人文学部	国際文化学科	—	—	—	55	320	5.82
	北陸大学	未来創造学部	国際教養学科	125	228	1.82	130	193	1.48
			国際マネジメント学科						
	小 計			310	762	2.46	370	1087	2.94
福井県	福井大学	国際地域学部	国際地域学科	—	—	—	50	203	4.06
富山県	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	54	156	2.89	38	194	5.11
	富山大学	人文学部	人文学科	152	793	5.22	152	803	5.28
計				516	1,711	3.32	610	2,287	3.75

- (注) 1.「募集人員」「志願者数」は「蛭雪時代全国大学内容案内号臨時増刊(旺文社)」の「全国大学入試結果」の「一般入試」の人数を記載した。
2. 福井工業大学、金沢学院大学の「募集人員」は定員を記載した。
3. 福井工業大学 平成28年度の「募集人員」「志願者数」はホームページで公表の人数を記載した。

北陸3県における同系列の学部学科の定員充足状況

資料5

1. 生産システム科学部(生産システム科学科)

(単位:人)

県 名	大 学 名	学部名	学 科 名	平成28年度		
				定 員	入学者数	定員充足率
石川県	金沢大学	理工学域	機械工学類	140	146	1.04
			電子情報学類	108	111	1.03
	金沢工業大学	工学部	機械工学科	200	238	1.19
			ロボテックス学科	100	118	1.18
			電気電子工学科	160	194	1.21
			電子情報通信工学科	80	41	0.51
			情報工学科	200	253	1.27
福井県	福井大学	工学部	機械・システム工学科	155	160	1.03
			電気電子情報工学科	125	132	1.06
	福井工業大学	工学部	機械工学科	80	98	1.23
			電気電子工学科	80	87	1.09
富山県	富山大学	工学部	機械知能システム工学科	90	96	1.07
			電気電子システム工学科	88	92	1.05
			知能情報工学科	72	76	1.06
	富山県立大学	工学部	機械システム工学科	60	62	1.03
			知能デザイン工学科	60	60	1.00
			情報システム工学科	50	55	1.10
計				1,848	2,019	1.09

2. 保健医療学部(看護学科)

(単位:人)

県名	大学名	学部名	学科名	平成28年度		
				定員	入学者数	定員充足率
石川県	金沢大学	医薬保健学域	保健学類(看護学専攻)	80	81	1.01
	石川県立看護大学	看護学部	看護学科	80	83	1.04
	金沢医科大学	看護学部	看護学科	70	76	1.09
	金城大学	看護学部	看護学科	80	88	1.10
福井県	福井大学	医学部	看護学科	60	63	1.05
	福井県立大学	看護福祉学部	看護学科	50	51	1.02
	敦賀市立看護大学	看護部	看護学科	50	56	1.12
富山県	富山大学	医学部	看護学科	80	80	1.00
計				550	578	1.05

3. 保健医療学部(臨床工学科)

※富山県、石川県、福井県 該当学科を有する大学なし

4. 国際文化交流学部(国際文化交流学科)

(単位:人)

県名	大学名	学部名	学科名	平成28年度		
				定員	入学者数	定員充足率
石川県	金沢大学	人間社会学域	国際学類	70	74	1.06
	金沢学院大学	文学部	文学科	130	138	1.06
	金沢星稜大学	人文学部	国際文化学科	75	36	0.48
	北陸大学	未来創造学部	国際教養学科	100	70	0.70
			国際マネジメント学科	100	126	1.26
福井県	福井大学	国際地域学部	国際地域学科	60	65	1.08
	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	75	75	1.00
富山県	富山大学	人文学部	人文学科	185	193	1.04
計				795	777	0.98

- (注) 1.各大学のホームページに公開されている人数を記載した。
2.金沢学院大学は、平成27年度の入試データを用いた(平成28年度の該当データがないため)。

全国における臨床工学技士養成学部(学科)の入試状況

資料6

臨床工学技士学校(大学)の志願状況

(単位:人)

県名	大学名	学部名	学科名	平成28年度		
				募集人員	志願者数	志願倍率
埼玉県	埼玉医科大学	保健医療学部	医用生体工学科	23	63	2.74
埼玉県	日本医療科学大学	保健医療学部	臨床工学科	19	236	12.42
東京都	東京工科大学	医療保健学部	臨床工学科	57	552	9.68
神奈川県	神奈川工科大学	工学部	臨床工学科	25	134	5.36
神奈川県	北里大学	医療衛生学部	医療工学科	33	250	7.58
愛知県	中部大学	生命健康科学部	臨床工学科	26	238	9.15
愛知県	藤田保健衛生大学	医療科学部	臨床工学科	43	391	9.09
大阪府	藍野大学	医療保健学部	臨床工学科	21	83	3.95
三重県	鈴鹿医療科学大学	医用工学部	臨床工学科	22	233	10.59
兵庫県	姫路獨協大学	医療保健学部	臨床工学科	25	48	1.92
岡山県	川崎医療福祉大学	医療技術学部	臨床工学科	35	202	5.77
広島県	広島工業大学	生命学部	生体医工学科	27	222	8.22
香川県	徳島文理大学	保健福祉学部	臨床工学科	—	—	—
合 計				356	2,652	7.45

- (注) 1.「募集人員」「志願者数」は「蛭雪時代全国大学内容案内号臨時増刊(旺文社)」の「全国大学入試結果」の「一般入試」の人数を記載した。
2.姫路獨協大学の「募集人員」はホームページで公表の人数を記載した。
3.大学は、文部科学省「文部科学大臣指定(認定)医療関係技術者養成学校一覧(平成27年5月1日現在)」に基づき作成した。

臨床工学技士学校(大学)の定員充足状況

(単位:人)

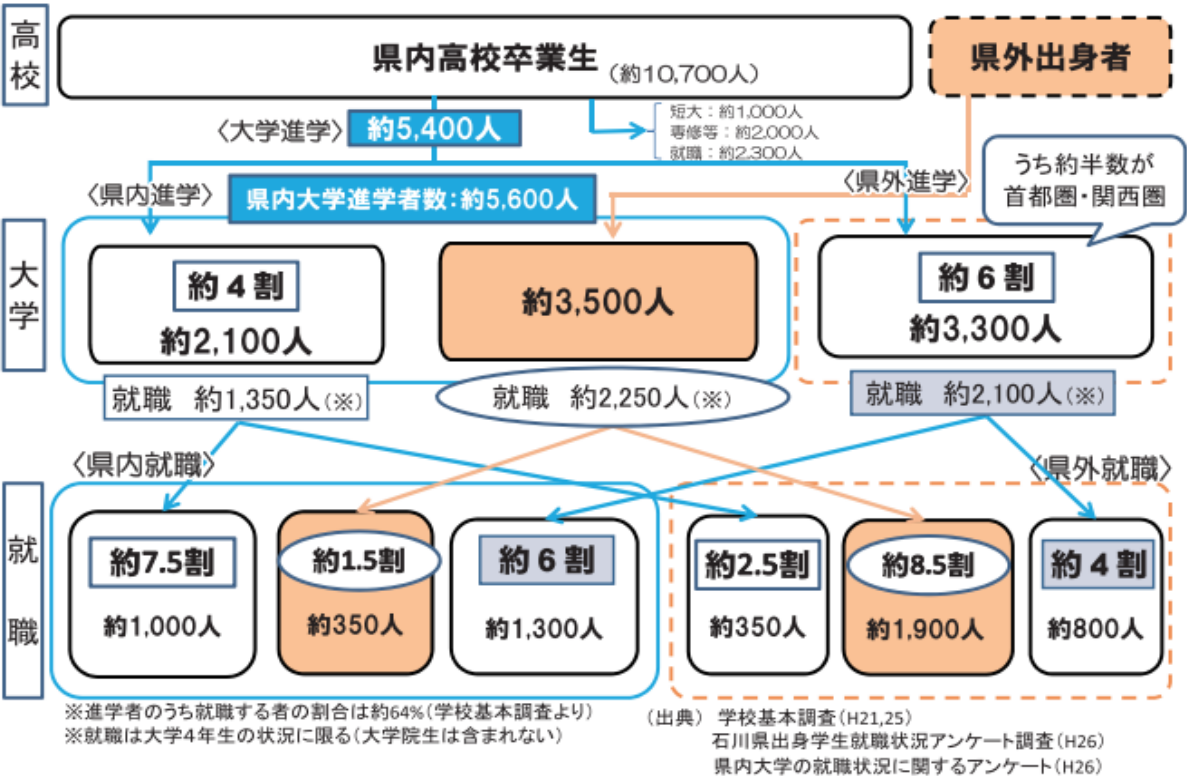
県名	大学名	学部名	学科名	平成28年度		
				定 員	入学者数	定員充足率
埼玉県	埼玉医科大学	保健医療学部	医用生体工学科	40	43	1.08
埼玉県	日本医療科学大学	保健医療学部	臨床工学科	40	53	1.33
東京都	東京工科大学	医療保健学部	臨床工学科	80	84	1.05
神奈川県	神奈川工科大学	工学部	臨床工学科	40	—	—
神奈川県	北里大学	医療衛生学部	医療工学科	98	108	1.10
愛知県	中部大学	生命健康科学部	臨床工学科	40	44	1.10
愛知県	藤田保健衛生大学	医療科学部	臨床工学科	50	53	1.06
大阪府	藍野大学	医療保健学部	臨床工学科	40	42	1.05
三重県	鈴鹿医療科学大学	医用工学部	臨床工学科	40	48	1.20
兵庫県	姫路獨協大学	医療保健学部	臨床工学科	40	31	0.78
岡山県	川崎医療福祉大学	医療技術学部	臨床工学科	80	—	—
広島県	広島工業大学	生命学部	生体医工学科	60	—	—
香川県	徳島文理大学	保健福祉学部	臨床工学科	45	48	1.07
合 計				693	554	1.08

- (注) 1.各大学のホームページに公開されている人数を記載した。
2.定員充足数の平均は、入学者数データがない学科については除いて算出。
3.大学は、文部科学省「文部科学大臣指定(認定)医療関係技術者養成学校一覧(平成27年5月1日現在)」に基づき作成した。

石川県内大学進学者の動向と県内大学の県内外出身割合

資料7

○石川県内大学における県外出身者の割合・県外へ進学する学生の割合



出典: 石川県「いしかわ創生人口ビジョン 平成27年10月」

○石川県内大学入学者の出身都道府県別入学者数

石川県に所在する大学への入学者数	5,892 人 (全体)
石川県以外の都道府県出身者の数	3,552 人 (全体の60.3%)
北信越地域出身者の数 (下表網掛け)	4,026 人 (全体の68.3%)

(単位: 人)

北海道	63	東京都	40	滋賀県	100	香川県	11
青森県	11	神奈川県	36	京都府	89	愛媛県	10
岩手県	13	新潟県	261	大阪府	84	高知県	6
宮城県	20	富山県	814	兵庫県	102	福岡県	27
秋田県	18	石川県	2,340	奈良県	30	佐賀県	4
山形県	26	福井県	359	和歌山県	28	長崎県	4
福島県	16	山梨県	19	鳥取県	9	熊本県	7
茨城県	36	長野県	252	島根県	13	大分県	3
栃木県	28	岐阜県	177	岡山県	23	宮崎県	4
群馬県	96	静岡県	182	広島県	19	鹿児島県	6
埼玉県	43	愛知県	242	山口県	6	沖縄県	29
千葉県	25	三重県	102	徳島県	8	その他	51

出典: 文部科学省 学校基本調査 (平成27年度) 16出身高校の所在地県別入学者数

全国および石川県内における18歳人口の推移

資料8

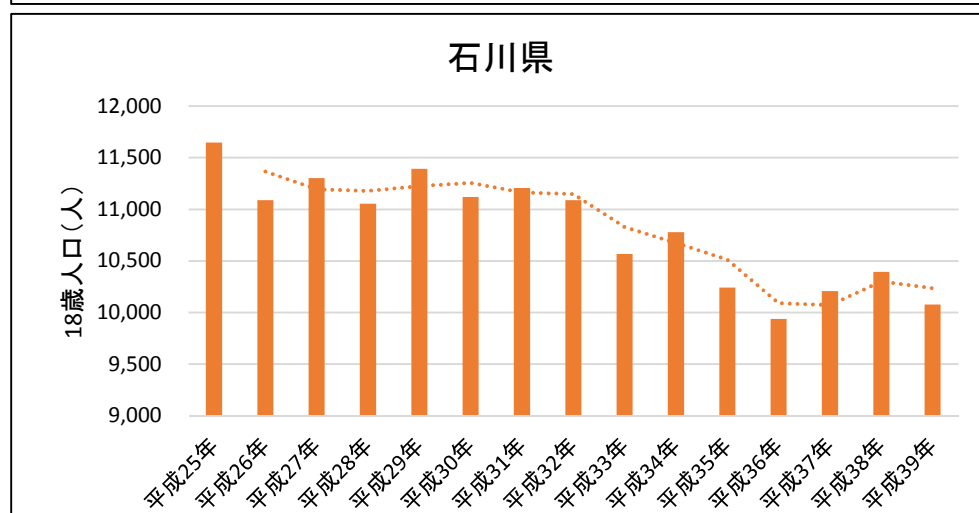
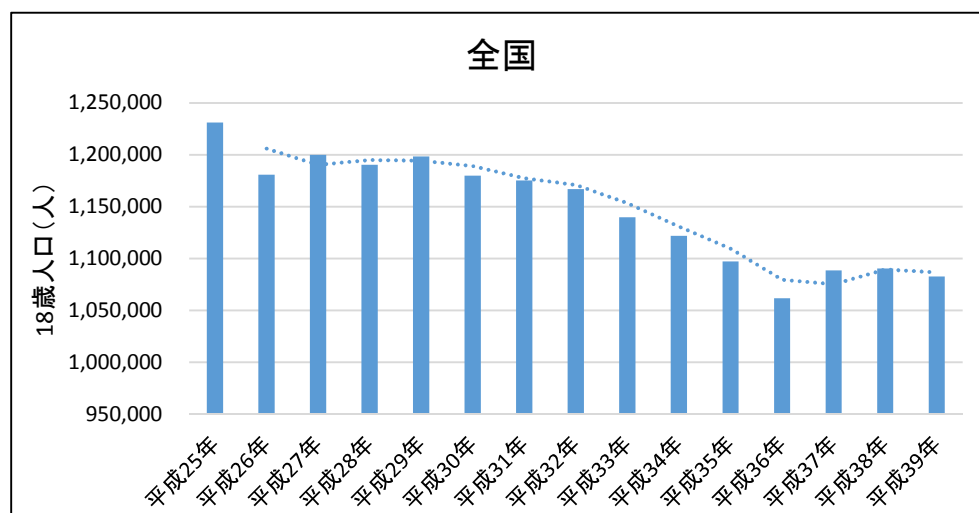
○18歳人口予測

(単位:人)

西暦	年度	小松市	南加賀	石川県	全国
2013	平成25年	1,164	2,430	11,645	1,231,117
2014	平成26年	1,080	2,376	11,087	1,180,838
2015	平成27年	1,137	2,431	11,301	1,199,977
2016	平成28年	1,075	2,329	11,055	1,190,262
2017	平成29年	1,189	2,523	11,393	1,198,290
2018	平成30年	1,075	2,360	11,121	1,179,808
2019	平成31年	1,152	2,401	11,205	1,175,131
2020	平成32年	1,144	2,436	11,088	1,166,867
2021	平成33年	1,033	2,231	10,568	1,139,841
2022	平成34年	1,112	2,333	10,779	1,122,023
2023	平成35年	990	2,173	10,242	1,097,271
2024	平成36年	966	2,139	9,938	1,061,767
2025	平成37年	1,039	2,246	10,208	1,088,709
2026	平成38年	1,042	2,210	10,395	1,090,564
2027	平成39年	1,000	2,142	10,077	1,082,770

○平成28年度と平成39年度の比較

	小松市	南加賀	石川県	全国
平成28年度を100とした指数	93.0%	92.0%	91.2%	91.0%
	-7.0	-8.0	-8.8	-9.0



公立小松大学 設置に関するアンケート調査
(高校生)

集 計 結 果

平成 28 年 9 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜新 大 学 進 学 意 向＞	2
＜アンケート調査票＞	3
＜アンケート集計結果＞	7

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

小松市では、平成 30 年 4 月に「公立小松大学」設置の準備を進めており、学生確保の見通しについて高校生の進学意向等を把握するために、北陸圏内及び周辺地域の高校を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「公立小松大学 設置に関するアンケート調査」

3. 調査対象

北陸 3 県（石川県、富山県、福井県）及び新潟県、長野県の計 5 県に所在する高等学校 119 校を選定し、各高等学校に在籍する高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。（回収状況は P.9 を参照）

4. 調査実施

平成 28 年 6 月から平成 28 年 8 月にかけて調査を実施した。

5. 調査方法

小松市よりアンケート調査票の配布を行い、アンケート票の回収に当たっては、一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

本調査では、北陸 3 県（石川県、富山県、福井県）及び新潟県、長野県の計 5 県に所在する高等学校 119 校に対して合計 18,767 票のアンケート調査票を配布した。その結果、111 校から合計 16,480 票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、87.81%であった。

＜新大学 進学意向＞

高校生アンケートによる「公立小松大学」への進学意向について、実数での回答は以下の通りである。

問6 あなたは公立小松大学への進学を希望しますか。	実数
1 進学を希望する	297 人
2 一応進学を考える	1,089 人
計	1,386 人

問7 問6で「1 進学を希望する」「2 一応進学を考える」を選択いただいた方におたずねします。 あなたが進学を希望する学部学科は、生産システム科学部生産システム科学科／保健医療学部看護学科／保健医療学部臨床工学科／国際文化交流学部国際文化交流学科のうち、どれですか。						
第1希望	合計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療 学部 看護学科	3 保健医療 学部 臨床工学科	4 国際文化 交流学部 国際文化 交流学科	不明
全体	1386 人	374 人	361 人	178 人	397 人	76 人
1 進学を希望する	297 人	106 人	66 人	38 人	63 人	24 人
2 一応進学を考える	1089 人	268 人	295 人	140 人	334 人	52 人

※ 詳細なアンケート集計結果は P. 7～P. 35

<アンケート調査票>

公立小松大学 設置に関するアンケート調査票

小松市では、豊かな教養と幅広い人間性を身につけ、地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、公立小松大学の設置計画を進めております。このアンケート調査は、高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、新大学を設置するための基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。また、本アンケートは新大学への受験を約束させるものではありません。率直なご意見をおたずねします。

新大学の内容等につきましては、別添のリーフレットをご覧ください。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

- ◆学部・学科名： 生産システム科学部 生産システム科学科（入学定員 80 名）
保健医療学部 看護学科（入学定員 50 名）・臨床工学科（入学定員 30 名）
国際文化交流学部 国際文化交流学科（入学定員 80 名）
- ◆設置時期： 2018 年 4 月（平成 30 年 4 月）
- ◆場所： 小松駅前キャンパス〔教養教育、国際文化交流学部〕JR 北陸本線「小松駅」から徒歩で約 1 分
粟津キャンパス〔生産システム科学部〕JR 北陸本線「粟津駅」から徒歩で約 8 分
向本折キャンパス〔保健医療学部〕JR 北陸本線「小松駅」から路線バス等で約 7 分
- ◆学費： 公立大学の平均的な金額に準拠する予定です。
【参考】平成 27 年度の全国公立大学の平均学費
授業料 537,000 円程度 入学料 397,000 円程度

※上記の名称、内容は予定であり変更する場合があります。

問1 あなたの性別についておたずねします。

【回答欄】

- | | |
|---|----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |



問2 あなたがお住いの都道府県についておたずねします。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 石川県
2 富山県
3 福井県
4 その他（具体的に

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**1つだけ**選んでください。

- 1 大学進学 3 専門学校進学 5 その他
2 短期大学進学 4 就 職 (具体的に)
⇒ 1、2 を選択された方は問 4 に進んでください。
⇒ 3、4、5 を選択された方は問 8 に進んでください。

問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第2希望**まで選んでください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 工学関係 | 11 環境関係 |
| 2 看護学関係 | 12 家政学関係（被服・住居） |
| 3 医療技術学関係（臨床工学等） | 13 理学関係（生物、化学、地学、物理等） |
| 4 国際関係（外国語含む） | 14 農学関係 |
| 5 法学・政治学関係 | 15 医学・歯学・薬学関係 |
| 6 商学・経済学・経営学関係 | 16 教育学・保育学関係 |
| 7 社会学・福祉学関係 | 17 文学関係（史学・哲学含む） |
| 8 美術学・デザイン学関係 | 18 心理学関係 |
| 9 音楽学関係 | 19 体育学・スポーツ関係 |
| 10 食物学・栄養学関係 | 20 その他（具体的に |

第1希望

□

第2希望

11

(裏面に続く)

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野 | 9 教員の充実度 |
| 2 学校の所在地 | 10 入試難易度・入試科目 |
| 3 資格を取得できる | 11 担任や進路指導教員の意見 |
| 4 就職実績 | 12 家族(親や兄弟)の意見 |
| 5 設置形態(国・公・私立) | 13 現役大学生や卒業生等の意見 |
| 6 校舎・施設の充実度 | 14 特色ある教育研究 |
| 7 学費(入学金・授業料) | 15 クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 8 大学の伝統・知名度 | 16 その他(具体的に) |

【設置計画中の公立小松大学についておたずねします。】
別添のリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 あなたは公立小松大学への進学を希望しますか。**1つだけ**選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 一応進学を考える
- 3 進学を希望しない
- 4 わからない

--

問7 問6で「1 進学を希望する」「2 一応進学を考える」を選択いただいた方におたずねします。

あなたが進学を希望する学部学科は、生産システム科学部生産システム科学科／保健医療学部看護学科／保健医療学部臨床工学科／国際文化交流学部国際文化交流学科のうち、どれですか。

第1希望から第4希望まで、それぞれ1つずつご記入ください。

- 1 生産システム科学部 生産システム科学科

第1希望

--

- 2 保健医療学部 看護学科

第2希望

--

- 3 保健医療学部 臨床工学科

第3希望

--

- 4 国際文化交流学部 国際文化交流学科

第4希望

--

問8 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

--

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

＜アンケート集計結果＞

◆アンケート回収状況：高校所在地別

No.	カテゴリ	依頼校数	回収校数	回収票数
1	石川県	44 校	44 校	6500 票
2	富山県	37 校	32 校	4182 票
3	福井県	25 校	23 校	3956 票
4	新潟県	4 校	4 校	542 票
5	長野県	9 校	8 校	1300 票
	計	119 校	111 校	16480 票

高校生アンケートの回収状況については、北陸 3 県（石川県、富山県、福井県）及び新潟県、長野県の計 5 県に所在する高等学校 119 校に対して合計 18,767 票のアンケート調査票を配布した。その結果、111 校から合計 16,480 票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、87.81%であった。

「公立小松大学 設置に関するアンケート調査」集計表

〔有効回答票：16,480 票〕

問1 あなたの性別についておたずねします。

回答者の「性別」について伺ったところ、「男性」が 7629 人（46.3%）であり、他方で「女性」が 8848 人（53.7%）となった。

カテゴリ	件数	%
1 男 性	7629	46.3
2 女 性	8848	53.7
不明	3	-
N（%ベース）	16480	100.0

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。

回答者の「居住都道府県」について伺ったところ、「石川県」が 6480 人（39.3%）と最も多く、次いで「富山県」が 4212 人（25.6%）、「福井県」が 3926 人（23.8%）、「その他」が 1860 人（11.3%）、と続いている。

「居住都道府県」について男女別に見ると、「石川県」は「男性」が 3123 人（40.9%）、「女性」が 3356 人（37.9%）であり、都道府県別の比率は男性の方が若干、多くなっている。

上段：人 下段：%	合 計	1 石川県	2 富山県	3 福井県	4 その他	不明
全体	16480 100.0	6480 39.3	4212 25.6	3926 23.8	1860 11.3	2 -
男性	7629 100.0	3123 40.9	1751 23.0	1881 24.7	873 11.4	1 -
女性	8848 100.0	3356 37.9	2461 27.8	2044 23.1	987 11.2	- -
不明	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3

「4 その他」の回答

長野県 1058 人	新潟県 509 人	愛知県 3 人	沖縄	大阪府
長野市 76 人	新潟県糸魚川市	滋賀県 3 人	岐阜県	東京都
長野	米と酒が美味しい県	京都 2 人	甲信越	栃木県
長野県長野市	ニュージーランド	神奈川県 2 人	三重県	奈良県
兵庫県	パプアニューギニア	北海道	大阪	兵庫

※回答の後ろに数字がないものは全て「1 人」

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。

回答者の「高校卒業後の希望進路」について伺ったところ、「大学進学」が 11957 人 (72.6%) と最も多く、次いで「就職」が 1880 人 (11.4%)、「専門学校進学」が 1710 人 (10.4%)、「短期大学進学」が 747 人 (4.5%)、「その他」が 165 人 (1.0%) と続いている。

回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」が全体の約 7 割強を占め、最も多かった。

「高校卒業後の希望進路」について男女別に見ると、「大学進学」は「男性」が 5939 人 (77.8%)、「女性」が 6017 人 (68.0%) であり、全体としての比率は男性の方が多くなっている。

上段:人 下段:%	合 計	1 大学 進学	2 短期大学 進学	3 専門学校 進学	4 就 職	5 その他	不 明
全体	16480	11957	747	1710	1880	165	21
	100.0	72.6	4.5	10.4	11.4	1.0	0.1
男性	7629	5939	89	480	1039	74	8
	100.0	77.8	1.2	6.3	13.6	1.0	0.1
女性	8848	6017	658	1230	840	91	12
	100.0	68.0	7.4	13.9	9.5	1.0	0.1
不明	3	1	-	-	1	-	1
	100.0	33.3	-	-	33.3	-	33.3

「5 その他」の回答

未定 66 人	まだ迷っている	考えてない
留学 9 人	よくわからない	自衛隊
決まっていない 2 人	家業	省庁大学校進学
決めていない 2 人	海外	神
公務員 2 人	海上保安学校	専門学校か就職
考え中 2 人	格	大学か専門学校進学かで悩んでいる
不明 2 人	起業	大学校
分からない 2 人	警察学校	悩んでいる
アナウンサー、声優等の養成所	芸大進学	分かりません
ない	劇団ひまわり声優コース	保育の資格の取れる学校、もしくは就職
ニート	決まってない	迷っている
まだ	決めてない	養成所
まだ決まっていない	考えていない	

※回答の後ろに数字がないものは全て「1 人」

(以降、問4～問7は問3で「1 大学進学」11,957 人及び「2 短期大学進学」747 人のいずれかを選択した回答者 12,704 人への設問)

問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか（第1希望）。

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第1希望に関しては、「工学関係」が2031人（16.0%）と最も多かった。

「進学希望分野」の第1希望について男女別に見ると、「男性」では「工学関係」が1788人（29.7%）、「女性」では「教育学・保育学関係」が1045人（15.7%）、と最も多かった。

さらに保健医療学部看護学科と関係のある「看護学関係」では、「男性」が69人（1.1%）、「女性」が899人（13.5%）と女性の方が全体に占める割合が多かった。保健医療学部臨床工学科と関係のある「医療技術学関係（臨床工学等）」では、「男性」が135人（2.2%）、「女性」が226人（3.4%）と女性の方が全体に占める割合が多かった。国際文化交流学部国際文化交流学科と関係のある「国際関係（外国語含む）」では、「男性」が221人（3.7%）、「女性」が792人（11.9%）と女性の方が全体に占める割合が多かった。

第1希望	上段:人 下段:%	合計	男性	女性	不明
全 体		12704	6028	6675	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
1 工学関係		2031	1788	243	-
		16.0	29.7	3.6	-
2 看護学関係		968	69	899	-
		7.6	1.1	13.5	-
3 医療技術学関係（臨床工学等）		361	135	226	-
		2.8	2.2	3.4	-
4 国際関係（外国語含む）		1013	221	792	-
		8.0	3.7	11.9	-
5 法学・政治学関係		503	292	211	-
		4.0	4.8	3.2	-
6 商学・経済学・経営学関係		1484	874	610	-
		11.7	14.5	9.1	-
7 社会学・福祉学関係		285	96	189	-
		2.2	1.6	2.8	-
8 美術学・デザイン学関係		330	87	243	-
		2.6	1.4	3.6	-
9 音楽学関係		95	18	77	-
		0.7	0.3	1.2	-
10 食物学・栄養学関係		393	30	363	-
		3.1	0.5	5.4	-
11 環境関係		111	69	42	-
		0.9	1.1	0.6	-
12 家政学関係（被服・住居）		76	7	69	-
		0.6	0.1	1.0	-
13 理学関係（生物、化学、地学、物理等）		817	586	231	-
		6.4	9.7	3.5	-
14 農学関係		199	94	105	-
		1.6	1.6	1.6	-
15 医学・歯学・薬学関係		907	404	503	-
		7.1	6.7	7.5	-
16 教育学・保育学関係		1486	441	1045	-
		11.7	7.3	15.7	-
17 文学関係（史学・哲学含む）		618	249	369	-
		4.9	4.1	5.5	-
18 心理学関係		347	101	246	-
		2.7	1.7	3.7	-
19 体育学・スポーツ関係		459	356	102	1
		3.6	5.9	1.5	100.0
20 その他		157	78	79	-
		1.2	1.3	1.2	-
不明		64	33	31	-
		0.5	0.5	0.5	-

「20 その他」の回答（第1希望）

アニメーション学科、映像学科	介護	公務員	水産・海洋
ゲーム関係	海上保安大学校	考古学	数学科
コンピューター系	海洋	事務	製菓
シナリオ制作が学べる学科	海洋関係	自動車	全ての学問に優れた仕事
トリマー国バ	外国語	社会福祉	総合政策
バイオテクノロジー	観光	宗教	地域創造
パソコン関係	観光学	獣医学	地域創造学科
ブライダル	観光関係	獣医学関係	電子情報
プログラミング	観光系	消防士	動物関係
プログラミング関係	魚漁	情報	日本語学
マスメディア	金沢工業大学	情報（ゲーム）	美容関係
リハビリテーション学	経済とかホスピタリティ	情報（文系）	美容理容
医療事務	芸術	情報、けんせつ	舞台芸術
運輸係	芸術（役者）関係	情報科学	保育
映画・映像	芸術工学	情報学	保健医療学部
映像	芸能	情報学関係	放送
映像学	建築	情報系	放送関係
演劇	建築関係	人間学	未定
演劇学	建築士	図書館、情報学	理学療法
音響	検査技術科学	水産	旅行関係

問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか（第2希望）。

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第2希望に関しては、「理学関係（生物、化学、地学、物理等）」が1429人（11.2%）と最も多かった。

「進学希望分野」の第2希望について男女別に見ると、「男性」では「理学関係（生物、化学、地学、物理等）」が1122人（18.6%）、「女性」では「教育学・保育学関係」が723人（10.8%）、と最も多かった。

第2希望	上段:人 下段:%	合計	男性	女性	不明
全 体		12704	6028	6675	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
1 工学関係		649	533	115	1
		5.1	8.8	1.7	100.0
2 看護学関係		486	125	361	-
		3.8	2.1	5.4	-
3 医療技術学関係（臨床工学等）		560	202	358	-
		4.4	3.4	5.4	-
4 国際関係（外国語含む）		662	212	450	-
		5.2	3.5	6.7	-
5 法学・政治学関係		638	397	241	-
		5.0	6.6	3.6	-
6 商学・経済学・経営学関係		1012	536	476	-
		8.0	8.9	7.1	-
7 社会学・福祉学関係		483	210	273	-
		3.8	3.5	4.1	-
8 美術学・デザイン学関係		389	132	257	-
		3.1	2.2	3.9	-
9 音楽学関係		349	99	250	-
		2.7	1.6	3.7	-
10 食物学・栄養学関係		458	68	390	-
		3.6	1.1	5.8	-
11 環境関係		380	264	116	-
		3.0	4.4	1.7	-
12 家政学関係（被服・住居）		239	24	215	-
		1.9	0.4	3.2	-
13 理学関係（生物、化学、地学、物理等）		1429	1122	307	-
		11.2	18.6	4.6	-
14 農学関係		239	137	102	-
		1.9	2.3	1.5	-
15 医学・歯学・薬学関係		626	261	365	-
		4.9	4.3	5.5	-
16 教育学・保育学関係		1200	477	723	-
		9.4	7.9	10.8	-
17 文学関係（史学・哲学含む）		750	297	453	-
		5.9	4.9	6.8	-
18 心理学関係		852	249	603	-
		6.7	4.1	9.0	-
19 体育学・スポーツ関係		622	397	225	-
		4.9	6.6	3.4	-
20 その他		138	64	74	-
		1.1	1.1	1.1	-
不明		543	222	321	-
		4.3	3.7	4.8	-

「20 その他」の回答（第2希望）

IT 関係	観光	情報	地域創造、科学
グローバル	観光学	情報・メディア	地域創造学類
サービス業関係	観光系	情報マスメディア	動物系
システム	芸術学関係	情報学	美容
スポーツ選手	芸能関係	情報関係	美容関係
獣医学	芸能系	人間科学	美容師
パソコン関係	建築	図書	服飾
ファッション	建築学	図書館学	文化構想学科
ブライダル	語学	水産	防衛関係
ブライダルプランナー	公務員	数学	防衛大
マスメディア	航空	声優関係	漫画・イラスト関係
メディア	航空整備	総合科学	未定
メディア関係	航空保安大	総合学	理学療法学
医療事務	自動車	地域活性化	理容
宇宙飛行士	柔道整復師	地域創造	旅行
映像制作			

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか。(複数回答：3つまで)

回答者に「進学先決定時に重視する事項」について伺ったところ、「学部・学科の専攻分野」が 7558 人 (59.5%) と最も多く、次いで「学校の所在地」が 4170 人 (32.8%)、「入試難易度・入試科目」が 4072 人 (32.1%)、と続いている。

「進学先決定時に重視する事項」について男女別に見ると、以下の通りとなっている。まず「男性」では、「学部・学科の専攻分野」が 3337 人 (55.4%) と最も多く、次いで「学校の所在地」が 2004 人 (33.2%)、「入試難易度・入試科目」が 1951 人 (32.4%)、と続いている。次に「女性」では、「学部・学科の専攻分野」が 4220 人 (63.2%) と最も多く、次いで「学費 (入学金・授業料)」が 2181 人 (32.7%)、「学校の所在地」が 2166 人 (32.4%)、と続いている。

	上段:人 下段:%	合計	男性	女性	不明
全 体		12704	6028	6675	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
1 学部・学科の専攻分野		7558	3337	4220	1
		59.5	55.4	63.2	100.0
2 学校の所在地		4170	2004	2166	-
		32.8	33.2	32.4	-
3 資格を取得できる		3337	1301	2036	-
		26.3	21.6	30.5	-
4 就職実績		3328	1668	1660	-
		26.2	27.7	24.9	-
5 設置形態 (国・公・私立)		2768	1304	1464	-
		21.8	21.6	21.9	-
6 校舎・施設の充実度		1963	1041	922	-
		15.5	17.3	13.8	-
7 学費 (入学金・授業料)		3995	1813	2181	1
		31.4	30.1	32.7	100.0
8 大学の伝統・知名度		1172	717	455	-
		9.2	11.9	6.8	-
9 教員の充実度		606	329	277	-
		4.8	5.5	4.1	-
10 入試難易度・入試科目		4072	1951	2121	-
		32.1	32.4	31.8	-
11 担任や進路指導教員の意見		347	197	150	-
		2.7	3.3	2.2	-
12 家族 (親や兄弟) の意見		1252	525	727	-
		9.9	8.7	10.9	-
13 現役大学生や卒業生等の意見		401	176	225	-
		3.2	2.9	3.4	-
14 特色ある教育研究		499	270	229	-
		3.9	4.5	3.4	-
15 クラブ活動・学性生活の充実度		1151	691	459	1
		9.1	11.5	6.9	100.0
16 その他		62	37	25	-
		0.5	0.6	0.4	-
不明		282	127	155	-
		2.2	2.1	2.3	-

※複数回答のため合計は 100%にならない

「16 その他」の回答

ゼミ内容	自分の成績	部活動の環境
なりたい職業への近道	自分の夢につながるか	法科大学院の有無
学生の充実度	実践とか体験が多くある	夢に近づく
環境	授業内容	面白さ
国家試験合格率	就職へのサポート充実度	留学制度
自分が行きたい所	通信教育と併用（両立）できる点	留学制度の充実
資格を取得するための勉強ができるか		

問6 あなたは公立小松大学への進学を希望しますか。

回答者に「公立小松大学に対する進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が297人（2.3%）、「一応進学を考える」が1089人（8.6%）、「進学を希望しない」が5886人（46.3%）、「わからない」が5273人（41.5%）、となった。

「進学を希望する」「一応進学を考える」の合計は1386人（10.9%）であり、全体の約1割強の回答者が公立小松大学に対して何らかの進学希望を持っていることがわかった。

また入学定員240名に照らせば、「進学を希望する」（297人）のみで入学定員を上回る実数が得られた。

上段：人 下段：%	合計	1 進学を希望 する	2 一応進学を 考える	3 進学を希望 しない	4 わからない	不明
全体	12704	297	1089	5886	5273	159
	100.0	2.3	8.6	46.3	41.5	1.3
男性	6028	184	468	2808	2500	68
	100.0	3.1	7.8	46.6	41.5	1.1
女性	6675	113	621	3078	2772	91
	100.0	1.7	9.3	46.1	41.5	1.4
不明	1	－	－	－	1	－
	100.0	－	－	－	100.0	－

問7 問6で「1 進学を希望する」「2 一応進学を考える」を選択いただいた方におたずねします。

あなたが進学を希望する学部学科は、生産システム科学部生産システム科学科／保健医療学部看護学科／保健医療学部臨床工学科／国際文化交流学部国際文化交流学科のうち、どれですか。

(問7は、問6「1 進学を希望する」297人＋「2 一応進学を考える」1,089人の合計1,386人への設問)

問6で「進学を希望する」「一応進学を考える」を選択した回答者1386人に対して「公立小松大学 各学部学科への進学希望順位」について伺ったところ、「第一希望」については以下の結果が得られた。

「生産システム科学部 生産システム科学科」を第一希望として選択した回答者は374人(27.0%)であった。

「保健医療学部 看護学科」を第一希望として選択した回答者は361人(26.0%)であった。

「保健医療学部 臨床工学科」を第一希望として選択した回答者は178人(12.8%)であった。

「国際文化交流学部 国際文化交流学科」を第一希望として選択した回答者は397人(28.6%)であった。

更に、問7における第一希望と問6における「進学を希望する」の回答についてクロス集計を行い、集計結果を4学科ごとに見ていくと以下の通りとなった。

○生産システム科学部 生産システム科学科

問6で「進学を希望する」と選択した297人のうち、問7で第一希望として「生産システム科学部 生産システム科学科」を選択した回答者は、106人であった。

また、問6で「一応進学を考える」と選択した1089人のうち、問7で第一希望として「生産システム科学部 生産システム科学科」を選択した回答者は268人であった。

生産システム科学部 生産システム科学科の入学定員80人に照らすと、問6で「進学を希望する」を選択し同時に問7で同学部学科への進学を第一希望とする回答者(106人)について、1.33倍の実数を得ることができた。更に問6で「一応進学を考える」を加えた回答者(374人)では4.68倍の第一希望の実数を得ることができた。

○保健医療学部 看護学科

問6で「進学を希望する」と選択した297人のうち、問7で第一希望として「保健医療学部 看護学科」を選択した回答者は、66人であった。

また、問 6 で「一応進学を考える」と選択した 1089 人のうち、問 7 で第一希望として「保健医療学部 看護学科」を選択した回答者は 295 人であった。

保健医療学部 看護学科の入学定員 50 人に照らすと、問 6 で「進学を希望する」を選択し同時に問 7 で同学部学科への進学を第一希望とする回答者（66 人）について、1.32 倍の実数を得ることができた。更に問 6 で「一応進学を考える」を加えた回答者（361 人）では 7.22 倍の第一希望の実数を得ることができた。

○保健医療学部 臨床工学科

問 6 で「進学を希望する」と選択した 297 人のうち、問 7 で第一希望として「保健医療学部 臨床工学科」を選択した回答者は、38 人であった。

また、問 6 で「一応進学を考える」と選択した 1089 人のうち、問 7 で第一希望として「保健医療学部 臨床工学科」を選択した回答者は 140 人であった。

保健医療学部 臨床工学科の入学定員 30 人に照らすと、問 6 で「進学を希望する」を選択し同時に問 7 で同学部学科への進学を第一希望とする回答者（38 人）について、1.27 倍の実数を得ることができた。更に問 6 で「一応進学を考える」を加えた回答者（178 人）では 5.93 倍の第一希望の実数を得ることができた。

○国際文化交流学部 国際文化交流学科

問 6 で「進学を希望する」と選択した 297 人のうち、問 7 で第一希望として「国際文化交流学部 国際文化交流学科」を選択した回答者は、63 人であった。

また、問 6 で「一応進学を考える」と選択した 1089 人のうち、問 7 で第一希望として「国際文化交流学部 国際文化交流学科」を選択した回答者は 334 人であった。

国際文化交流学部 国際文化交流学科の入学定員 80 人に照らすと、問 6 で「進学を希望する」を選択し同時に問 7 で同学部学科への進学を第一希望とする回答者（63 人）について、0.79 倍の実数を得ることができた。更に問 6 で「一応進学を考える」を加えた回答者（397 人）では 4.96 倍の第一希望の実数を得ることができた。

〔全体〕		問 7 進学したい新学部学科（第 1 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	1386	374	361	178	397	76
	100.0	27.0	26.0	12.8	28.6	5.5
1 進学を希望する	297	106	66	38	63	24
	100.0	35.7	22.2	12.8	21.2	8.1
2 一応進学を考える	1089	268	295	140	334	52
	100.0	24.6	27.1	12.9	30.7	4.8

〔男性〕		問 7 進学したい新学部学科（第 1 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	652	312	70	80	151	39
	100.0	47.9	10.7	12.3	23.2	6.0
1 進学を希望する	184	92	21	19	38	14
	100.0	50.0	11.4	10.3	20.7	7.6
2 一応進学を考える	468	220	49	61	113	25
	100.0	47.0	10.5	13.0	24.1	5.3

〔女性〕		問 7 進学したい新学部学科（第 1 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	734	62	291	98	246	37
	100.0	8.4	39.6	13.4	33.5	5.0
1 進学を希望する	113	14	45	19	25	10
	100.0	12.4	39.8	16.8	22.1	8.8
2 一応進学を考える	621	48	246	79	221	27
	100.0	7.7	39.6	12.7	35.6	4.3

〔全体〕		問 7 進学したい新学部学科（第2希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	1386	209	336	504	186	151
	100.0	15.1	24.2	36.4	13.4	10.9
1 進学を希望する	297	51	88	82	34	42
	100.0	17.2	29.6	27.6	11.4	14.1
2 一応進学を考える	1089	158	248	422	152	109
	100.0	14.5	22.8	38.8	14.0	10.0

〔男性〕		問 7 進学したい新学部学科（第2希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	652	132	141	201	112	66
	100.0	20.2	21.6	30.8	17.2	10.1
1 進学を希望する	184	40	56	43	21	24
	100.0	21.7	30.4	23.4	11.4	13.0
2 一応進学を考える	468	92	85	158	91	42
	100.0	19.7	18.2	33.8	19.4	9.0

〔女性〕		問 7 進学したい新学部学科（第2希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	734	77	195	303	74	85
	100.0	10.5	26.6	41.3	10.1	11.6
1 進学を希望する	113	11	32	39	13	18
	100.0	9.7	28.3	34.5	11.5	15.9
2 一応進学を考える	621	66	163	264	61	67
	100.0	10.6	26.2	42.5	9.8	10.8

〔全体〕		問 7 進学したい新学部学科（第3希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	1386	229	332	381	263	181
	100.0	16.5	24.0	27.5	19.0	13.1
1 進学を希望する	297	31	67	97	48	54
	100.0	10.4	22.6	32.7	16.2	18.2
2 一応進学を考える	1089	198	265	284	215	127
	100.0	18.2	24.3	26.1	19.7	11.7

〔男性〕		問 7 進学したい新学部学科（第3希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	652	80	195	212	84	81
	100.0	12.3	29.9	32.5	12.9	12.4
1 進学を希望する	184	14	50	73	16	31
	100.0	7.6	27.2	39.7	8.7	16.8
2 一応進学を考える	468	66	145	139	68	50
	100.0	14.1	31.0	29.7	14.5	10.7

〔女性〕		問 7 進学したい新学部学科（第3希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	734	149	137	169	179	100
	100.0	20.3	18.7	23.0	24.4	13.6
1 進学を希望する	113	17	17	24	32	23
	100.0	15.0	15.0	21.2	28.3	20.4
2 一応進学を考える	621	132	120	145	147	77
	100.0	21.3	19.3	23.3	23.7	12.4

〔全体〕		問 7 進学したい新学部学科（第 4 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	1386	423	228	154	385	196
	100.0	30.5	16.5	11.1	27.8	14.1
1 進学を希望する	297	70	40	27	102	58
	100.0	23.6	13.5	9.1	34.3	19.5
2 一応進学を考える	1089	353	188	127	283	138
	100.0	32.4	17.3	11.7	26.0	12.7

〔男性〕		問 7 進学したい新学部学科（第 4 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	652	77	181	80	228	86
	100.0	11.8	27.8	12.3	35.0	13.2
1 進学を希望する	184	23	33	18	78	32
	100.0	12.5	17.9	9.8	42.4	17.4
2 一応進学を考える	468	54	148	62	150	54
	100.0	11.5	31.6	13.2	32.1	11.5

〔女性〕		問 7 進学したい新学部学科（第 4 希望）				
問 6 公立小松大学 新学部への進学希望	合 計	1 生産システム 科学部 生産システム 科学科	2 保健医療学部 看護学科	3 保健医療学部 臨床工学科	4 国際文化交流 学部 国際文化交流 学科	不 明
全 体	734	346	47	74	157	110
	100.0	47.1	6.4	10.1	21.4	15.0
1 進学を希望する	113	47	7	9	24	26
	100.0	41.6	6.2	8.0	21.2	23.0
2 一応進学を考える	621	299	40	65	133	84
	100.0	48.1	6.4	10.5	21.4	13.5

問8 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

自由回答意見
「グローバル」はダサい。
「ここでしかできない!」という魅力がない。
1 ろうしてまで行きたくありません。
1 期生っていいよね。
39 人クラスなのに 38 枚しか紙がない。
3 つに分けた理由がわからない。
3 つのキャンパス? 場所とりすぎでしょ。小松市民からして不愉快だと思う。
3 つの学科があって良いと思う。
3 つの学部があってすごいと思いました。
Glocal という新しい言葉を出して、それが社会に定着するか分からない。かいぜんしたほうがよい。
アーチェリー部を作ってください。
アクセスがよいほうがよい。
アクセスが便利というわけでもないのに、なぜ小松に大学を作ろうと思ったのか。30 字程度で説明しなさい。
ある程度自由にサークルとか部とか研究室とかつくれたらいいと思います。
アンケートありがとうございます。
アンケート調査どうもありがとうございました。
いいことだと思います。
いいじゃないですか。
いいですね。
いいと思います。
いいと思います。
いいと思う。
いいね。
いきたいです。
いきません。
いきません。
いらないと思う。
いろんな学科が学べて良いと思います。
いろんな体験ができる大学にしてほしい。
うるさい女の来ような学科がないなら考えます。
うれしく思う。
おいしい食堂をお願いします。
オープンキャンパスってありますか? 他の学科が増える予定はありますか?
オープンキャンパスはありますか?
オープンキャンパスはいつからありますか。
オープンキャンパスを行って欲しいです。
おもしろそうな学科やコースがあっていいと思います。
がんばって。
がんばってください。
がんばってください!
がんばってください。
がんばって下さい。
がんばれ。
ガンバレ。
がんばれ。
がんばれ〜。

自由回答意見
がんばれコマツ。
キャンパスがキレイ。
キャンパスが離れすぎではないか。
キャンパスをカッコよくしてほしい。
きれい。
きれいで広い校舎。
きれいで充実した校舎にしてください。
きれいなデザインにしてほしい。
きれいなトイレにすべき。
きれいな学校にしてください。
きれいな学校をお願いします。
きれいな設備。
クラブに力を入れてほしい。
グローバル。
グローバルいいと思いました。
グローバルっておもしろそうです。
グローバルっておもしろそうですね。
グローバルという理念に情報系の学問もあてはまると思います。私は情報系にも興味があるので、そのことについて学べるなら進学を考えてみるかもしれません。
このアンケートの利点はあるのですか？
この話は初めて聞いてよく分からないんですが、高校生の立場から考えると、問5の「6」を意識する人が多いと思うので、まだ設置していないのであれば、時間をかけて考えたほうがよいと思います。
サイコー！ありがとう！
スカイツリーより高くしてください。
すばらしいと思います。
すばらしい大学にしてください。
すばらしい大学になると思います。
スポーツトレーナーの資格を取得できる学科があるとありがたいです。
スポーツ科を入れてほしい。
ぜひお願いします。
ぜひそちらに進学したいです。
ぜひ小松大学に行きたいです。
ダイノーズ。
たのしいですか。
つくらないほうが良いと思う。
できてから言え。
できるだけ早く設置してほしい。
デザイン学科を作ってほしい。
ドイツの科学力は世界一イイイイイ。
トイレは全て洋式にしてください。
トイレをきれいに作ってほしい。
トイレを豪華に。
どうでもいいです。
どーでもよい。
どこやねん。
とてもいいと思う。
とてもよさそう。
とても素晴らしいことを思いついたと思う。
とても良いと思う。進学もいいなと思った。
どのくらいの学力で行けますか。

自由回答意見
どの程度の入試難易度となるのか。
どれくらいの成績で入れる学校なのでしょう…？謎です。
どんな学校が教えてください。
なぜ大学を作ろうと思ったのですか？
なんでもいいです。
パンフレットの情報を増やして欲しいです。国際文化交流学部が少しわかりづらかったです。
ファイト。
ファイトだよ。
ほかの学校にはないような特別なものがあればいい。
まあがんばってください。
ミス小松やってください！
むすめふさほせ。
もうちょっと早く創立してほしい。入学定員がそれぞれで少ないと思う。
もう少し学科があっても良いと思いました。
もう少し学科が多ければよいと思う。主に社会福祉などはこれからも必要となると思うから。
もう少し学部を増やした方が良いと思います。
もう少し学部を増やしてほしい。
もう少し学部を増やしてほしい。
もう少し学部を増やしてほしいです。
もう少し人気のある学部を増やして下さい。
もう少し北陸三県にはない（あまりない）ような学科を設置したら良いと思います。看護も工学系も国際系も福井にはあるので。
もしも自分の進路が進学に切り替わった時はお世話になるかもしれません。そのときは宜しくお願いします。
もっといろんな学部があるとよい。
もっと学部をふやしてもらえれば、うれしい。
もっと学部を増やしてほしい。
もっと学部を増やせばもっとグローバルになると思う。
もっと需要のある教科を増やせばいいと思う。
もっと小松ならではの特色（小松でしか学べない事など）を持たせたほうが良いと思う。
もっと分野を多くしてほしい。
よいと思う。
よくわからない所は行きたくないです。
よくわかりません。
よりよい大学になるよう頑張ってください。
リーフレットの若い人たちの写真について、まだ教授、学生等は決まっていはいはずなのにどうして写真をのせたのか？
リハビリテーション学科も増えてほしい。
ろうにんせんなん行けんやん。
わからない、なぜ今、作るのか？
意見はありません。すいません。
医学科がほしい。
医学部ほしい。
医学部や薬学部を設置してほしい。
医療の学科を増やすといいなと思います。楽しいキャンパス生活が送れるような様々な所を用意するといいと思います。
医療学科の設置を希望。
一般人も入りやすいような設備がほしい。
一番たのしそうな学科は？
栄養学科があったら嬉しかったです。
英語の授業を多くほしい。
駅が近くにあるから電車の音がうるさそうだけどそこはどう配慮されているか。
駅の近くが良い。
駅はきれいに使ってほしい。
駅近なのでいい。
駅前にあるのはうれしい。

自由回答意見
遠すぎる。
応援しています。
音楽の分野を取り入れて頂けると親しみやすくなると思いました。
何県にあるのかしっかり書いてほしい。
海外との交流や留学などができる大学だったらおもしろそう。
海外の長期留学などは考えていますか？
海外系の学部をたててほしい。
外国人の先生はいるのでしょうか？外国人の学生の入部を希望しますか？
各学科の特色やカリキュラムについてくわしく知りたい。
確か新聞で小松大学ができましたみたいのをみて、私の将来のやりたい学部があったので興味があります。
学びの最前線ではないと思います。
学べる場所が増えていいと思う。
学科が三つもあるから、入学の定員数もうすこし増してもいいと思った。
学科が少ない。
学科が少なすぎるから人自体が集まらないと思う。あと2〜3個増やしても良いかと。
学科をもっと増やすべき。
学科を増やしてほしい。
学科を増やしてほしい。有名な大・中企業への進路を作ってほしい。
学科を増やすことはしないんですか？栄養とか教育とか。
学科数をもっと増やし、充実したものにしてほしい。
学校は設備が充実していますか？
学校名をもっとかこよくしてほしい。
学食おいしいですか？
学食おいしくしてください。
学食があって、安くてうまいといいですね。
学食が気になる。
学食はタマゴをつかうといいと思う。
学食は安く美味しいのを用意してください。
学食をおいしくしてください。
学生寮とかは建てないのですか？
学費はいくらですか？
学費はどれくらいか。
学費をとてもおさえてください。
学費を安くしてください。
学費を安くしてほしいです。
学費を安くすると、みんなが喜ぶのでそうすべきである。
学費を安めにしてほしい。
学費安くしてほしい。
学部、学科が少ない。
学部が少ない。助産師の資格も取れるようにしてほしい。
学部が少ないと感じました。
学部が少ないと思います。
学部が少なすぎて興味が沸かない。
学部をもっと増やしてほしい。
学部を増やしたら考えたい。
学部を増やしてください。
学部を増やしてくれると入りやすい。
学部を増やしてほしい。
学部を増やして欲しい。
学部を増設してほしい。
学部学科による。
学部学科をもっと増やしてほしい。
学部数が少なく、ある学部も特殊なので普通科からは行きづらいです。
学部名から中身が伝わりにくいかと思います。

自由回答意見
学力の基準で魅力的かどうか変わる。
楽しい学校にしてください。
楽しく大学生活をしたい。
楽しみ。
看護や国際文化交流などたくさんの事を学ぶ事ができると聞き、すごいと思います。
看護科の大学が増えてほしかったのでうれしいです。ありがとうございます。
看護学科だけでなく、福祉系もあれば良い。
看護学科では、看護師、保健師どちらも取得できるのか、コースに分かれているのか、詳しく書いて欲しいです。
観光とは、海外も視野に入れての分野なのでしょうか。
間に合いません。
頑張ってください。
頑張ってください！
頑張ってください。
頑張ってください。
頑張って予定日までに建ててください。
教育レベルがどれくらいのなか知りたいです。金沢大学レベルなら進学を考えたいです。
教育学があれば、視野に入れたい。
教育学部、保育学部をつくってほしい。つくってくれたら行きたくなる！
教育学部があって欲しいです。
教育学部がほしい。
教育学部はないんですか。
教員になることはできますか。
興味、無いです。はい。
興味ないです。
興味なし。
近くにできるのでよいと思います。
近くに公立大学が増えるのは選択肢が広まっていいと思います。
金沢西高校の推薦枠がほしい。
金沢大との違いは？
金沢大学に比べてコースが少ない。
金沢大学に負けなくらい学習環境を整えないと集まらない。
具体的な所在地を知りたい。
経営実務科とかがあったら良いかもしれない。
経済を作れ。
経済学はないですか。
経済学部があったらいいなと思った。
経済学部や文学部がほしい。
経済学部をつくってほしい。
経済学部を作ってください。
経済学部を作ってほしい。
経済学部を設置してほしい。
芸術系の学部学科を入れる予定はありませんか。
建築系の仕事につながる資格は得られますか。
県人枠多めをお願いします。
県内に公立の大学が増えるのはいいことだと思います。
県内に公立大学ができることは喜ばしいことだと思います。視野に入れて考えたいと思いました。
県内に大学が増えるのは嬉しい。たくさんの人に来てもらえることは良いことだと思う。
見学しに行きたいと思います。
原動機系の学科あれば行きたくなるかもしれない。
現代のグローバル化についていってね。
交通があるといいです。
交通に都合が良いところに建ててほしい。
公立ってすごいと思いました。
公立で駅から近く良いと思う。

自由回答意見
公立小松大学って人いつもいないですよ。
公立小松大学で取れる資格、留学制度はないんですか。
公立小松大学の基本理念が良いと思いました。
公立大学が増えるのはうれしいです。
公立大学では技術（工学、医学等）関係外で専門職に直結しないイメージが強いので、そういった関係に強い公立大学があればとはよく思います。小松大学に期待しています。
公立大学の増加はいいと思います。
工学部も作ってほしい。建築工学部、防災工学部。
構想中の大学に関するパンフレットの配布は無駄だと思う。ゴミになるのでやめていただきたい。
航空工学設置してほしい。
行きたいなあ。
行きたい学部がないから希望できないので、学部を増やしたらいいと思う。
行く予定はないけどがんばってください。
行ってみたかったけど、1年遅いので残念でした。
国公立大にもスポーツ医療関連の学部、学科をつくってください。
国際学科の定員を増やしてほしいです。
国際観光文化コースは具体的にどのようなことを学び、演習するのか。
国際文化交流の方に留学とかホームステイ体験とかあれば嬉しいです。
国際文化交流学部のキャンパスについて、さらにコースを増やしてほしいと思います。
今の時代、新しい大学を作っても大丈夫なのか。
今はつぶれる大学があるほど大学がたくさんあるのに新たに大学を設置していいのか疑問に思う。
今は専門学校へ進むつもりですが。小松大学も視野に入れていきたいです。
今更無駄です。
最高学府へ。
最先端の技術はどんなものか。
仕方ないことだけど、学費たかーい。
資料がほしい。
歯学部のある大学が少ないので設置してほしい。
自分が住んでいる福井から割りと近いので平成29年開校だったらいいかもしれないです。
自分が大学入試をうけるころに、まだ開学されていないので、進学先として考えるのは少し難しいです。ごめんなさい。
取得できる資格なども詳しく記述してください。
手術看護の学科ほしかったです。
授業料と入学料をみなおしてほしい。
就職率についてどう考えるか。
集中して自習ができる施設、フリースペースを確保してほしい。
充実した学部学科やコースがあり人気が高まりそう。
柔道整復士などの医療系がいいと思う。
助産師のコースも作ってほしい。
商業科（経済等）を設置してほしい。
小松に大学ができると都会って感じがしますね。
小松は遠い。
小松駅の前に校舎があるのは通学にとっても便利なのですごくいいと思います。
小松駅の電車の利用が増えると思うので、1時間に1本だとせますぎるからあまり進学したいとは思わない。
小松基地の近くだったら防音？騒音？すごそうですね。
小松空港があるから航空系の学科ができてほしい（空港に隣接してほしい）。
小松工業の推薦枠をつくってほしい。
小松市ってどこですか。
小松市の方々、自分も小松市の者ですが、小松市に公立大学ができるなんて夢のようです。がんばって頂きたいです。
小松市内一公立小松大学のバス（などの公共交通機関）はあるのか、できるのか。
小松大学！
小松大学の設置を楽しみにしています、一応進学希望に入れて考えています。
小松キャンパス or 駅からの他キャンパスへのスクールバスができてほしいです。
少子化社会なので、新しい大学は要らないと思います。

自由回答意見
情報工学がほしい。
情報工学科は入れてほしい。
食物学、栄養学の分野を入れてください。お願いします。
新しい学校ができるのは嬉しいことだと思うし行く人が多くなればいいなと思いました。
新しい学校なので楽しみ。
新しくできる大学なら安全面、管理面等生徒のことを第一にすることを重視しなければならない。
進学幅が広がっていいと思う。
進学もちょっと考えているので参考にしたい。
人間心理学部、経済学を設置してほしい。できたら、行きたい。
人文学科などの文系よりのコースが少ないと思いました。そのようなコースを追加する予定はありますか？
人文学部があればもっと良いと思う。
推薦の石川枠を作ってください。
水産系のコースを導入してほしい。
数学科がない。
世界のトップに立てるような物理学を学びたい。
世界の小松大学。
政治、経済もあってほしい。
生産システム科学部にデザインも入れてほしい、学びたい。
生産システム科学部は具体的に何をするのか知りたい。
生徒が生き生きできるような学校になれたらいいなと思います。
生徒たくさん入ると良いですね。
生徒に、大好きだ、入ってよかったといわれる学校になればいいなと思います。
生徒の安全を気遣ってください。
生徒の自主性を重んじ、伝統ある大学になることを切に願っています。
生物学と海洋学を入れてほしい。
石川で公立の大学は少ないのでいいと思う。
石川に大学が増えるということで大学数の少ない北陸にとってはいいことだと思う。
石川県にない学科がほしい。
石川県の人の枠をぜひ作っていただきたいです。
石川県の人の枠を入れてほしいです。
石川県を発展させてほしい。
石川県出身者をたくさん入学させてください。
石川県人枠を作ってください。
石川県人枠を作ってください、お願いします。
石川県人枠を設けてください。
石川県人枠を設置してください。
石川県人枠を増やして、入れさせて。
石川県内の合格者を増やしてほしい。
石川県内枠を作ってください。
石川県民枠を作ってください。
石川県立看護大学があるので、看護学科があるのに疑問を感じる。法学から医学まで幅広い学部を期待したい。地域の大学を考え、学力を調整してほしい。
石川県枠を作ってください。
石川県枠希望。
設置されれば、大学の選択肢が増えて良いと思う。
設置して欲しい。
設備充実。
戦後、日本の大学数が急激に増加し今や大学を卒業することが当たり前の時代である。これ以上に大学を設立することに意味があるのか私は甚だ疑問である。
選択肢が増えるのはいいと思った。
素敵なお名前ですね。
早く行きたいです。
卒業すると同時に助産師さんになれる機能があると進学も考えたいと思いました。
他にはない大学になってほしい。

自由回答意見
他にも学部をつくった方がいきたいと思う人も多くなるはずなので、学部をもっと増やしてほしい。3つはさすがに少ない。
他に外国に通用する力をつけるのも大切だと思います。
他の学校との明確な違いは？
他学部も設立してほしい。
体育を専門的にした大学があったらいい。
大きさ、入試難易度、設備。
大学が増えることはいいと思う。
大学の近くは発展していますか。
大学の図書室を高校生が出入りできるとうれしいです。
大学特有の魅力を感じない。
第一期生というのが気になります。
短期はあるのか？
短大なら行きたいです。
男女の割合はどのくらいなのか。
地元のできるのが嬉しい。
地元の人たちが入学しやすいようにしてください。
畜産学部があるなら良かった。
駐車場の数。
定員が少ないと思います。
定員を増やしてほしい。
定員を増やしてほしい。
定員を多くする。
定員人数が少ない。
動物に関係する学部がほしいです。
動物の看護コースがほしい。
特にありません、ありがとうございました。
日本で有名な大学にしてほしい。
日本語教育学があったらいいな。
日本史系の学科があればいいと思う。
入りたい。
入学定員を全体的に増やしてほしい。
入試を簡単にしてほしい。
入試難易度、科目が知りたい。
費用がどれくらいかかるのか明確にしてほしい。国際文化交流学部について、海外の大学と連携し交換留学とかもカリキュラムにあるのか知りたい。
必要ないと思います。
表紙の5人のメンツが微妙なのは何故でしょうか？人を集めるのであれば、美男美女を揃えた方が良くと思うのは恐らく私だけでは無い筈。
富山にキャンパスがほしい。
部活はありますか？
風通しの良い、日当たりの良い校舎が良い。
福祉学部を入れてください。
文学に特化した学部、学科があるとうれしいです。
文学関係の学部を作ってほしいです。
文学部がほしいです。
文学部もいれたらいいなと思います。
文系の学科を増やしてほしい。
文系の学部ができたら進学を考えます。
文系の学部を増やしてください。
文系学科の設置数増加してほしい。
平成30年じゃ、もう進学してる。早く開講するなら考える。
偏差値。
偏差値はどうなりますか。
偏差値はどのくらい？

自由回答意見
偏差値はどれくらいですか。
偏差値を知りたいです。
勉強が難しそう。
保育があったら行きたいです。
保育科があれば進学を考えてみたいです
保育系の学部がほしいです。
保育系もいれてくれるとうれしいし、進学を考えるようになる。
保健医療学部と言語聴覚士の資格を取得できるカリキュラムをつくってほしい。
保健医療学部放射線学科を入れて欲しい。
保健師コースでは何名くらいとる予定ですか？
募集定員が少ない。
募集定員の数が少ないので倍率が高そう。学部は今の日本に求められているものを中心なのでいいと思いました。
北陸に音楽関連の学部がないからつくってほしい、音楽療法について学べる大学は少ないから学べるようになると思う。
北陸に大学が増えるのはいいことだと思った。
北陸の公立大学は理系学部が中心なので、文系学部の充実を求める。
僕たちは第一期生ですか？
僕は行かないですが、よいと思います。
無理だと思うけど定員をあと少し増やしてほしい。
名前がださい。
名前が格好悪い。
名前ダサイ。グローバル（笑）。
名前についてもう少し検討した方が良いと感じる。
名前の募集ってしますか？
名前をカッコよくしてください。
名前をもう少し工夫したほうが志願者が増えると思う。
名前を早めに決めたほうが良い。
名前を変えましょう。
明るい学校であって欲しい。笑顔のある温かい雰囲気の学校であって欲しい。
面白そう。
薬学は設置されないんですか。
薬学を学びたいです
幼児教育学部があれば進学を考えた。
養護教諭学科を作ってほしい。
理学関係の科ができるとうれしいです。
理学関係の生物系があったらよかった。
理学系の学科がほしい。
理学分野が増えたらうれしい。
理学療法。
理学療法の部ができてほしい。
理学療法学を作ってほしい。
理学療法学科もつくってほしいです。
立地もよく、学部も魅力的である。学部で被服があれば視野に入れることになったと思う。
立地条件がそこまで良くない、正直いらないと思う。公共交通機関もそこまで発達していなく電車の本数や車両数も少ない中で、確実に混雑するのがわかっていない小松市は恥ずかしいと思う。
略したら小大か松大かどうなるか気になる。
留学制度はどのようなものにするおつもりですか？
良い。
良いと思います。
良いと思う。
良いと思う。
良い大学だと思います。
良い大学にしてください。
良い大学目指してがんばって下さい。
良き。

自由回答意見
量を増やすより質を良くした方が良いと思う。
緑あふれる学校を。
臨床検査技術等を学べたらもっとよくなると思う。
臨床検査士。
露天風呂などの施設がほしい。

ここは、学びの最前線 未来に向けて学びと夢をつなぐ場所



公立小松大学 (仮称)

人間・社会・自然と科学技術の発展を総合的に捉える先駆的な大学 平成30年4月開学予定

- 設置構想中のため内容は変更となる場合があります -

公立小松大学 (仮称) の教育のポイント

広い視野と高い専門性を育む3つの学問領域 地域の特長を活かした3つのキャンパス

公立小松大学 (仮称) は、広い視野を持つ人間性豊かな実践的な人材の育成を目指して石川県小松市に開学します。小松市は、北陸屈指の産業、広域医療拠点、小松空港や JR 小松駅 (平成35 年春 新幹線小松開業) が立地するまち。この要所において、公立小松大学では時代の変化に即応できる確かな「基礎力」と最先端の「知識」を身につけます。さらに、社会で必要とされる教養を備えた質の高い人材をつくります。

未来をつくるのは人とひと。社会に求められる人間性豊かなひとづくり

公立小松大学では、「産学官・市民との共創」を掲げ、地域住民や企業、自治体との交流・連携を通じた教育を展開します。これらの多くの人達との出会いの中で、人と関わりながら仕事を進める能力を身につけ、人間性を高め、社会に出た後は共通の目標のもとにチームの一員として、専門知識と応用力を存分に発揮できる人材を育成します。



専門性を育む3つの学問領域

3つのキャンパス



小松駅前キャンパス (仮称)

■ 教養教育 (全学部に通通)

■ 国際文化交流学部

- JR 小松駅前の複合施設 2・3 階
- 駅には新幹線も停車 (平成 35 年春)



栗津キャンパス (仮称)

■ 生産システム科学部

- 北陸のものづくりの中心地



向本折キャンパス (仮称)

■ 保健医療学部

- 南加賀地域の広域医療の拠点 小松市民病院に隣接

公立小松大学 (仮称) の基本理念

世界 × 地域 = グローカル
Global Local Glocal

① グローカル Glocalization

地域と世界で活躍する
人間性豊かな
グローバル人材を
育成します。

② 持続的発展 Sustainability

持続的発展に向けて
生産システムや
人間の健康医療の
科学技術を革新し、
異文化交流を推進します。

③ 共創 Co-creation

地域に対して貢献し、
地域によって支えられ、
地方を共創します。

未来をつくる 3 学部 4 学科 4 コース (予定)

※本大学は設置構想中であり、記載されている学部名、学科名、コース名は仮称です。

▶ 生産システム科学部

生産システム科学科
生産機械コース・知能機械コース

入学定員 80 名

持続可能なものづくりを支える高度な専門知識を学び、産業分野で幅広く活躍するための実践力+応用力を養います。

人と地球にやさしい技術者を育成

生産システム科学部では、ものづくりの現場で求められる機械、電気、情報、環境の専門知識や技能を学び、エンジニアとしての資質を養うとともに、専門領域を超えて課題解決に取り組むための基礎を身につけます。さらに、学生の適性・関心に応じて専門分野（生産機械コースまたは知能機械コース）を選択します。高い専門性と長期的な視点を養うことにより、社会や技術の変化に対応でき、持続可能な社会の実現に向けて取り組む人材を育成します。

地域の高度な「ものづくり」から学ぶ

北陸屈指の産業エリアの強みを教育プログラムに活かします。地域企業との連携により、実際の製造現場が「企業キャンパス」となり、普段教室で学ぶ理論だけでなく、実際の現場で生きる技術を学びます。

【目指す就職先】技術力で躍進するものづくり企業など



学ぶ領域

生産機械コース

機械材料学
機械加工学
機械要素設計
資源有効利用学
電気制御学など

知能機械コース

制御工学
アルゴリズム論
電子回路
電気機器工学
人工知能など

共通

工業数学
応用物理学
技術英語
生産工学
設計製図

ロボット機構学
数値解析
工学実験
電気回路
プログラミング
卒業研究など

▶ 保健医療学部

看護学科・臨床工学科

入学定員
看護学科 50 名
臨床工学科 30 名

高度化・複雑化する医療現場に対応できる知識・技術を学び、人びとが健やかに生活できる社会づくりに貢献できる能力を養います。

医療スタッフに求められる確かな基礎力を修得

技術の進歩により、医療現場では医療の高度化・複雑化に対応できる人材が求められています。保健医療学部では、4年間の充実したカリキュラムにより専門性・技術力を磨き上げ、医療現場で働くための確かな基礎力を身につけます。



【目指す資格】

◆ 看護学科

看護師

保健師

◆ 臨床工学科

臨床工学技士



「チーム医療」を支える一員へ

高齢化社会が進行するなか、人びとが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、地域包括ケアシステムという考え方が広がっています。また、その推進にあたり、多職種が関わり合い、「チーム医療」を総合的に展開する必要性も高まっています。保健医療学部では、これらの時代のニーズに幅広く対応できる人材育成を目指し、将来チーム医療の一員として地域を支えていく医療人を育成します。

▶ 国際文化交流学部

国際文化交流学科
国際観光文化コース・グローバルコミュニケーションコース

入学定員 80 名

異文化について学ぶとともに、自らの国や地域について理解し、グローバル社会のなか、幅広く活躍できる能力を養います。

【目指す就職先】旅行エージェント、交通・観光、海外展開する企業、自治体など



地域と日本のグローバル化をリード

ひと・もの・文化が地球規模で行き来する時代を迎え、企業経営や観光交流、地域再生を進めるために、個人や企業、地域ごとのグローバル化への対応が強く求められています。国際文化交流学部では、グローバル化をリードできる人材育成を目指し、日本を取り巻く国際情勢について広く学ぶとともに、自らの地域や日本について理解し、相手に伝えるための力を身につけます。

地域を知り、世界を知る

入学後、学生の適性・関心に応じて国際観光文化コースまたはグローバルコミュニケーションコースを選択します。講義や演習を通じて専門性を高めるとともに、語学力を用いて世界に向けて発信するための能力を養います。

学ぶ領域

国際観光文化コース



グローバルコミュニケーションコース

お問い合わせ

小松市 総合政策部 公立大学設立準備室

〒923-8511 石川県小松市四丁町又 1 番地 3

TEL 0761-44-3530 FAX 0761-44-3506

小松短期大学内

E-mail d-junbi@city.komatsu.lg.jp

北陸3県における同系列の学部学科の学生納付金

資料11

1. 生産システム科学部(生産システム科学科)

(単位:円)

県 名	公私	大 学 名	学部名	学 科 名	入学金	授業料	施 設 整備費等	実習費等	初年度 合 計
石川県	国立	金沢大学	理工学域	機械工学類	282,000	535,800	0	0	817,800
				電子情報学類					
	私立	金沢工業大学	工学部	機械工学科	200,000	1,342,000	0	0	1,542,000
				ロボテックス学科					
				電気電子工学科					
				電子情報通信工学科					
情報工学科									
福井県	国立	福井大学	工学部	機械・システム工学科	282,000	535,800	0	0	817,800
				電気電子情報工学科					
	私立	福井工業大学	工学部	機械工学科	250,000	930,000	240,000	110,000	1,530,000
				電気電子工学科					
富山県	国立	富山大学	工学部	機械知能システム工学科	282,000	535,800	0	0	817,800
				電気電子システム工学科					
				知能情報工学科					
	県立	富山県立大学	工学部	機械システム工学科	(県内) 188,000	535,800	0	0	723,800
				知能デザイン工学科	(県外) 282,000				817,800
情報システム工学科									
平 均					252,286	735,867	40,000	18,333	1,009,571

2. 保健医療学部(看護学科)

(単位:円)

県 名	公私	大 学 名	学部名	学 科 名	入学金	授業料	施 設 整備費等	実習費等	初年度 合 計
石川県	国立	金沢大学	医薬保健学域	保健学類(看護学専攻)	282,000	535,800	0	0	817,800
	県立	石川県立看護大学	看護学部	看護学科	(県内) 282,000	535,800	0	0	817,800
					(県外) 423,000				958,800
	私立	金沢医科大学	看護学部	看護学科	300,000	900,000	450,000	0	1,650,000
		金城大学	看護学部	看護学科	270,000	960,000	290,000	150,000	1,670,000
福井県	国立	福井大学	医学部	看護学科	282,000	535,800	0	0	817,800
	県立	福井県立大学	看護福祉学部	看護学科	(県内) 188,000	535,800	0	0	723,800
					(県外) 282,000				817,800
	市立	敦賀市立看護大学	看護部	看護学科	(市内) 166,000	535,800	0	25,000	726,800
(市外) 332,000					892,800				
富山県	国立	富山大学	医学部	看護学科	282,000	535,800	0	0	817,800
平 均					280,818	634,350	92,500	19,444	973,745

3. 国際文化交流学部(国際文化交流学科)

(単位:円)

県名	公私	大学名	学部名	学科名	入学金	授業料	施設整備費等	実習費等	初年度合計
石川県	国立	金沢大学	人間社会学域	国際学類	282,000	535,800	0	0	817,800
	私立	金沢学院大学	文学部	文学科	200,000	730,000	230,000	30,000	1,190,000
		金沢星稜大学	人文学部	国際文化学科	120,000	822,000	360,000	0	1,302,000
		北陸大学	未来創造学部	国際教養学科	200,000	900,000	0	0	1,100,000
				国際マネジメント学科					
福井県	国立	福井大学	国際地域学部	国際地域学科	282,000	535,800	0	0	817,800
	私立	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	250,000	670,000	300,000	0	1,220,000
富山県	国立	富山大学	人文学部	人文学科	282,000	535,800	0	0	817,800
平均					230,857	675,629	127,143	4,286	1,037,914

(注) 1.各大学のホームページに公開されている人数を記載した。
2.平成28年度の情報を記載した。

公立小松大学 設置に関するアンケート調査 (事業所)

集 計 結 果

平成 28 年 9 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

＜アンケート調査概要＞	1
＜卒業生採用意向＞	2
＜アンケート集計結果＞	3
生産システム科学部 生産システム科学科	5
保健医療学部 看護学科／臨床工学科	25
国際文化交流学部 国際文化交流学科	47

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

石川県小松市では、「公立小松大学」を設置する計画を進めており、「生産システム科学部 生産システム科学科」、「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」、「国際文化交流学部 国際文化交流学科」等の新学部学科卒業者の採用意向や卒業後の就職先など人材需要の見通しについて、事業所及び施設等にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「公立小松大学 設置に関するアンケート調査」を学部毎に行った（「生産システム科学部 生産システム科学科」、「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」、「国際文化交流学部 国際文化交流学科」）。

3. 調査対象

◆生産システム科学部 生産システム科学科：1,093 事業所（回収状況は9頁を参照）

◆保健医療学部 看護学科／臨床工学科：1,175 施設（回収状況は29頁を参照）

◆国際文化交流学部 国際文化交流学科：1,203 事業所（回収状況は51頁を参照）

※うち、282 事業所には、生産システム科学部と国際文化交流学部の両アンケートを送付。

4. 調査実施

平成28年7月～8月に調査を実施

5. 調査方法

小松市よりアンケート調査票を配布し、回収・集計に当たっては、一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

◆生産システム科学部 生産システム科学科：有効回答票 413 票 回収率 37.8%

回収率＝回収数 413 票÷依頼数 1,093 票×100

◆保健医療学部 看護学科／臨床工学科：有効回答票 428 票 回収率 36.4%

回収率＝回収数 428 票÷依頼数 1,175 票×100

◆国際文化交流学部 国際文化交流学科：有効回答票 457 票 回収率 38.0%

回収率＝回収数 457 票÷依頼数 1,203 票×100

＜卒業生採用意向＞

事業所アンケート「公立小松大学 設置に関するアンケート調査」による新学部学科の卒業生の採用意向について、実数での回答は以下の通りである。

◆生産システム学部 生産システム科学科

問 9 貴事業所では、公立小松大学「生産システム学部 生産システム科学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。			
生産システム学部	生産システム科学科	1. 採用したい	71 件
		2. 採用を検討する	152 件
		計	223 件

（詳細な集計表は 5 頁以降を参照）

◆保健医療学部 看護学科／臨床工学科

問 6 (1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「看護学科」の卒業者を看護職員として採用を考えますか。			
保健医療学部	看護学科	1. 採用したい	92 件
		2. 一応採用を考える	115 件
		計	207 件
問 7 (1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「臨床工学科」の卒業者を臨床工学技士職員として採用を考えますか。			
保健医療学部	臨床工学科	1. 採用したい	18 件
		2. 一応採用を考える	22 件
		計	40 件

（詳細な集計表は 25 頁以降を参照）

◆国際文化交流学部 国際文化交流学科

問 10 貴事業所では、公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。			
国際文化交流学部	国際文化交流学科	1. 採用したい	31 件
		2. 一応採用を考える	125 件
		計	156 件

（詳細な集計表は 47 頁以降を参照）

＜アンケート集計結果＞

生産システム科学部 生産システム科学科

公立小松大学 設置に関するアンケート調査票

小松市では、豊かな教養と実践的な専門能力を備え、地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、公立小松大学の設置計画を進めております。公立小松大学には「生産システム科学部 生産システム科学科」「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」「国際文化交流学部 国際文化交流学科」が開設されます。

このアンケート調査は、貴事業所の人材採用意向、開設予定の公立小松大学「生産システム科学部 生産システム科学科」へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの回答はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せることはありません。率直なご意見をおたずねします。

新大学の内容等につきましては、同封のリーフレットをご覧ください。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

◆学部・学科名：生産システム科学部 生産システム科学科（入学定員 80 名）

◆設 置 時 期：2018 年 4 月（平成 30 年 4 月予定）

※第 1 期生は 2022 年 3 月に卒業予定です。

◆場 所：栗津キャンパス〔生産システム科学部〕 JR 北陸本線「栗津駅」から徒歩約 8 分
小松駅前キャンパス〔教養教育（1～2 年次）〕 JR 北陸本線「小松駅」から徒歩約 1 分

※上記の名称、内容は予定であり変更する場合があります。

問 1 貴事業所の業種は何ですか。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

【回答欄】

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1 運輸・通信業 | 5 情報処理産業 | 9 広告出版業 |
| 2 製造業 | 6 卸・小売業 | 10 病院・診療所 |
| 3 建設業 | 7 金融・保険業 | 11 社会福祉施設 |
| 4 サービス業 | 8 不動産業 | 12 その他（具体的に） |

問 2 貴事業所の所在地についてお聞きます。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------|----------|
| 1 石川県 | 3 福井県 |
| 2 富山県 | 4 その他（ ） |

問 3 貴事業所の現在の職員数は何人ですか。

①正規職員数、②非正規職員数（臨時採用、嘱託、派遣、アルバイト等）についてご記入ください。

① 正規職員数 人 ② 非正規職員数 人

問 4 貴事業所における過去 3 年間（平成 25～27 年度）の正規職員の新卒採用者数についてご記入ください。

① 平成 25 年度 人 ②平成 26 年度 人 ③平成 27 年度 人

問 5 貴事業所における過去 3 年間（平成 25～27 年度）の正規職員の中途採用者数についてご記入ください。

① 平成 25 年度 人 ②平成 26 年度 人 ③平成 27 年度 人

（裏面に続く）

【設置計画中の公立小松大学「生産システム科学部 生産システム科学科」についておたずねします。】
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 貴事業所または貴事業所の関連業界において、特に必要とされているのは、どのような能力を持った人材だと思われますか。該当する番号を**3つまで**選んでください。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1 基本的な技術・専門知識をもっている | 4 主体性がある |
| 2 技術開発等に必要の高度な知識をもっている | 5 協調性がある |
| 3 コミュニケーション能力がある | 6 その他 () |

問7 本学部学科では、「ものづくり」の基礎となる機械工学を徹底修得し、その基盤の上に情報科学や電子工学の知識を身に付けた技術者の輩出を目指しています。従来の機械技術に加え、こうした電気・情報を学んだ人材の必要性を感じますか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 必要性を感じる | 4 必要性を感じない |
| 2 少し必要性を感じる | 5 わからない |
| 3 どちらとも言えない | 6 その他 () |

--

問8 本学部学科では、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指した教育カリキュラムを組んでおります。技術的課題について英語により議論できる人材の必要性について、どのようにお考えですか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 必要性を感じる | 4 必要性を感じない |
| 2 少し必要性を感じる | 5 わからない |
| 3 どちらとも言えない | 6 その他 () |

--

問9 貴事業所では、公立小松大学「生産システム科学部 生産システム科学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|-----------|---------------|-----------|---------------|
| 1 採用したい | } 問10へお進みください | 3 採用は考えない | } 問11へお進みください |
| 2 採用を検討する | | 4 わからない | |

--

問10 問9で、「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- | | | | |
|------|------|--------|-----------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5～6人 | 7 10人以上 |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 7～9人 | 8 その他 () |

--

問11 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

--

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

〔回収状況〕

1,093 事業所送付

日付	回収数	累計数	回収率	日付	回収数	累計数	回収率
7.14	3 件	3 件	0.3%	7.27	2 件	392 件	35.9%
7.15	137 件	140 件	12.8%	7.28	5 件	397 件	36.3%
7.19	169 件	309 件	28.3%	7.29	3 件	400 件	36.6%
7.20	28 件	337 件	30.8%	8.01	8 件	408 件	37.3%
7.21	4 件	341 件	31.2%	8.03	2 件	410 件	37.5%
7.22	21 件	362 件	33.1%	8.08	2 件	412 件	37.7%
7.25	22 件	384 件	35.1%	8.19	1 件	413 件	37.8%
7.26	6 件	390 件	35.7%				

県 No.	所在地	依頼数	回収数	回収率
1	石川県	505	228	45.1%
2	富山県	345	102	29.6%
3	福井県	242	82	33.9%
4	京都府	1	1	100.0%
	計	1093	413	37.8%

生産システム科学部 生産システム科学科：集計表

〔有効回答票：413 票〕

問 1 貴事業所の業種は何ですか。

回答事業所の「業種」について伺ったところ、「製造業」が 339 事業所（82.1%）と最も多く、次いで「情報処理産業」が 43 事業所（10.4%）、「建設業」が 9 事業所（2.2%）、「その他」が 8 事業所（1.9%）、「サービス業」が 7 事業所（1.7%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	運輸・通信業	4	1.0
2	製造業	339	82.1
3	建設業	9	2.2
4	サービス業	7	1.7
5	情報処理産業	43	10.4
6	卸・小売業	2	0.5
7	金融・保険業	0	0.0
8	不動産業	0	0.0
9	公告出版業	0	0.0
10	病院・診療所	0	0.0
11	社会福祉施設	1	0.2
12	その他	8	1.9
	N（%ベース）	413	100.0

「12 その他」の回答

ソフトウェア開発	制御盤設計（ハード、ソフト）
機械設計製作業	船舶修理
義肢製造販売	電気機械器具製造卸
博物館	
切削、研削用の水販売、熱交、クーリングクワー等スケール除去プラント、汚水の浄化システム、指導	

問2 貴事業所の所在地についてお聞きします。

回答事業所の「所在地」について伺ったところ、「石川県」が 231 事業所（55.9%）と最も多く、次いで「富山県」が 100 事業所（24.2%）、「福井県」が 82 事業所（19.9%）、「その他」が 0 事業所（0.0%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	石川県	231	55.9
2	富山県	100	24.2
3	福井県	82	19.9
4	その他	0	0.0
	N（％ベース）	413	100.0

問3 貴事業所の現在の職員数は何人ですか。

① 正規職員数

回答事業所の「正規職員の職員数」について伺ったところ、「11 人-20 人」規模が 95 事業所（23.0%）と最も多く、次いで「21 人-30 人」規模が 68 事業所（16.5%）、「1 人-10 人」規模が 49 事業所（11.9%）、「31 人-40 人」規模が 42 事業所（10.2%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0 人	0	0.0
2	1 人-10 人	49	11.9
3	11 人-20 人	95	23.0
4	21 人-30 人	68	16.5
5	31 人-40 人	42	10.2
6	41 人-50 人	20	4.8
7	51 人-70 人	37	9.0
8	71 人-100 人	26	6.3
9	101 人-200 人	37	9.0
10	201 人-500 人	22	5.3
11	501 人-1000 人	11	2.7
12	1001 人以上	4	1.0
	不明	2	0.5
	N（%ベース）	413	100.0

② 非正規職員数（臨時採用、嘱託、派遣、アルバイト等）についてご記入ください。

回答事業所の「非正規職の職員数」について伺ったところ、「0 人」規模が 61 事業所（14.8%）と最も多く、次いで「1 人」規模が 49 事業所（11.9%）、「11 人-20 人」規模が 42 事業所（10.2%）、「3 人-4 人」規模が 41 事業所（9.9%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0 人	61	14.8
2	1 人	49	11.9
3	2 人	38	9.2
4	3 人-4 人	41	9.9
5	5 人-6 人	34	8.2
6	7 人-10 人	35	8.5
7	11 人-20 人	42	10.2
8	21 人-50 人	36	8.7
9	51 人-100 人	15	3.6
10	101 人以上	12	2.9
	不明	50	12.1
	N（%へ→）	413	100.0

問4 貴事業所における過去3年間（平成25～27年度）の正規職員の新卒採用者数についてご記入ください。

回答事業所の「過去3年間（平成25～27年度）の正規職員の新卒採用者数」について伺ったところ、以下の通りとなった。

平成25年度については「0人」が204事業所（49.4%）と最も多く、次いで「1人」が47事業所（11.4%）、「2人」が46事業所（11.1%）、「3人」が27事業所（6.5%）、「4人」と「5人-10人」が23事業所（5.6%）と続いている。

平成26年度については「0人」が208事業所（50.4%）と最も多く、次いで「1人」が61事業所（14.8%）、「2人」が32事業所（7.7%）、「5人-10人」が28事業所（6.8%）、「3人」が23事業所（5.6%）、「4人」が22事業所（5.3%）と続いている。

平成27年度については「0人」が205事業所（49.6%）と最も多く、次いで「1人」が66事業所（16.0%）、「2人」が34事業所（8.2%）、「5人-10人」が29事業所（7.0%）、「3人」が18事業所（4.4%）、「4人」が17事業所（4.1%）と続いている。

No.	カテゴリ	① 平成25年度		② 平成26年度		③ 平成27年度	
		件数	%	件数	%	件数	%
1	0人	204	49.4	208	50.4	205	49.6
2	1人	47	11.4	61	14.8	66	16.0
3	2人	46	11.1	32	7.7	34	8.2
4	3人	27	6.5	23	5.6	18	4.4
5	4人	23	5.6	22	5.3	17	4.1
6	5人-10人	23	5.6	28	6.8	29	7.0
7	11人-20人	12	2.9	10	2.4	16	3.9
8	21人以上	11	2.7	12	2.9	11	2.7
	不明	20	4.8	17	4.1	17	4.1
	N（％ベース）	413	100.0	413	100.0	413	100.0

問5 貴事業所における過去3年間（平成25～27年度）の正規職員の中途採用者数についてご記入ください。

回答事業所の「過去3年間（平成25～27年度）の正規職員の中途採用者数」について伺ったところ、以下の通りとなった。

平成25年度については「0人」が133事業所（32.2%）と最も多く、次いで「1人」が108事業所（26.2%）、「2人」が56事業所（13.6%）、「5人-10人」が33事業所（8.0%）、「3人」が29事業所（7.0%）と続いている。

平成26年度については「0人」が111事業所（26.9%）と最も多く、次いで「1人」が105事業所（25.4%）、「2人」が72事業所（17.4%）、「5人-10人」と「3人」が33事業所（8.0%）、「4人」が19事業所（4.6%）と続いている。

平成27年度については「0人」が110事業所（26.6%）と最も多く、次いで「1人」が104事業所（25.2%）、「2人」が62事業所（15.0%）、「5人-10人」が47事業所（11.4%）、「3人」が32事業所（7.7%）、「4人」が22事業所（5.3%）と続いている。

		① 平成25年度		② 平成26年度		③ 平成27年度	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%	件数	%
1	0人	133	32.2	111	26.9	110	26.6
2	1人	108	26.2	105	25.4	104	25.2
3	2人	56	13.6	72	17.4	62	15.0
4	3人	29	7.0	33	8.0	32	7.7
5	4人	17	4.1	19	4.6	22	5.3
6	5人-10人	33	8.0	33	8.0	47	11.4
7	11人-20人	8	1.9	12	2.9	14	3.4
8	21人以上	3	0.7	6	1.5	3	0.7
	不明	26	6.3	22	5.3	19	4.6
	N（％ベース）	413	100.0	413	100.0	413	100.0

問6 貴事業所または貴事業所の関連業界において、特に必要とされているのは、どのような能力を持った人材だとおもわれますか。(複数回答：3 つまで)

回答事業所の「必要とされる人材像」について伺ったところ、「基本的な技術・専門知識をもっている」が 312 事業所 (75.5%) と最も多く、次いで「コミュニケーション能力がある」308 事業所 (74.6%)、「協調性がある」が 251 事業所 (61.0%)、「主体性がある」が197 事業所 (47.7%)、「技術開発等に必要な高度な知識をもっている」が102 事業所 (24.7%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	基本的な技術・専門知識をもっている	312	75.5
2	技術開発等に必要な高度な知識をもっている	102	24.7
3	コミュニケーション能力がある	308	74.6
4	主体性がある	197	47.7
5	協調性がある	251	61.0
6	その他	18	4.4
	N (ベース)	413	100.0

※複数回答のため合計は 100%にならない

「6 その他」の回答

5S を身に付けた者	実行力
ハングリー精神がある	常識
まじめ	誠実である
一般常識	探究心、向上心
英語・語学力	中学レベルの数学力
基礎からの応用力	溶接の技術者
元気のある人、やる気のある人	理解・習得能力が高い
自ら学ぶ能力	実行力

問7 本学部学科では、「ものづくり」の基礎となる機械工学を徹底修得し、その基盤の上に情報科学や電子工学の知識を身に付けた技術者の輩出を目指しています。従来の機械技術に加え、こうした電気・情報を学んだ人材の必要性を感じますか。

回答事業所の「従来の機械技術に加え電気・情報を学んだ人材の必要性」について伺ったところ、「必要性を感じる」が 269 事業所（65.1%）と最も多く、次いで「少し必要性を感じる」76 事業所（18.4%）、「どちらとも言えない」が 36 事業所（8.7%）、「わからない」が 17 事業所（4.1%）、「必要性を感じない」が 14 事業所（3.4%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	必要性を感じる	269	65.1
2	少し必要性を感じる	76	18.4
3	どちらとも言えない	36	8.7
4	必要性を感じない	14	3.4
5	わからない	17	4.1
6	その他	0	0.0
	不明	1	0.2
	N（％ベース）	413	100.0

問8 本学部学科では、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指した教育カリキュラムを組んでおります。技術的課題について英語により議論できる人材の必要性について、どのようにお考えですか。

回答事業所の「技術的課題について英語により議論できる人材の必要性」について伺ったところ、「少し必要性を感じる」が128事業所（31.0%）と最も多く、次いで「必要性を感じる」123事業所（29.8%）、「必要性を感じない」が77事業所（18.6%）、「どちらとも言えない」が67事業所（16.2%）、「わからない」が18事業所（4.4%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	必要性を感じる	123	29.8
2	少し必要性を感じる	128	31.0
3	どちらとも言えない	67	16.2
4	必要性を感じない	77	18.6
5	わからない	18	4.4
6	その他	0	0.0
	N（%ベース）	413	100.0

問9 貴事業所では、公立小松大学「生産システム科学部 生産システム科学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。

回答事業所の「公立小松大学 生産システム科学部 生産システム科学科の卒業生の採用」について伺ったところ、「採用を検討する」が152事業所（36.8%）と最も多く、次いで「わからない」146事業所（35.4%）、「採用したい」が71事業所（17.2%）、「採用は考えない」が40事業所（9.7%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	71	17.2
2	採用を検討する	152	36.8
3	採用は考えない	40	9.7
4	わからない	146	35.4
	不明	4	1.0
	N（%ベース）	413	100.0

問10 問9で「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。

問9で「採用したい」「採用を検討する」と回答した事業所に、「採用を考える場合の毎年採用人数」について伺ったところ、「1人」が132事業所（59.2%）と最も多く、次いで「2人」が69事業所（30.9%）、「その他」が13事業所（5.8%）、「3人」が5事業所（2.2%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	1人	132	59.2
2	2人	69	30.9
3	3人	5	2.2
4	4人	2	0.9
5	5～6人	2	0.9
6	7～9人	0	0.0
7	10人以上	0	0.0
8	その他	13	5.8
	不明	0	0.0
	N（%ベース）	223	100.0

「8 その他」の回答

0～1人	若干名
1～2人	都度
2～3年に1名	本人の能力・人柄で決定
2～3年に1名程度	未定
3～4名	良い人がいれば
学校別の採用人数枠は決めていません	若干名

問11 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

自由回答意見
「ものづくり」機械工学を学び修得して、是非社会に出る人材を育ててほしいです。
「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた小松市において、今後の発展・活性化の為に将来を担う人材育成教育を宜しくお願い致します。
ソフトウェア工学と機械工学などの「ハード」は学問を無理やり結びつける必要はない。
パートが主にいますので、正社員の採用は考えていない。
もっと人数を多くした方が大学らしいです。いろいろ問題はありますが。
ものづくりが大好きな人を育てれる学校にしてほしい。
ものづくりの人材を育成することは大切だと感じております。
ものづくり企業はグローバル化が進み、自らのアイデアを世界市場に拡大する必要があります。単なる知識だけではなく、地元企業の強み弱みを学び、戦力となる人材育成をお願いします。
レベルの高い人材育成を希む。
医学部があれば、娘の進学先に考えたい。
一般教養は大切です。
英語・中国語等外国が分かり、話せる人材の採用をしたいと考えているので、貴大学の設立後、注目したいと思います。
化学会社ゆえ化学学科卒の方の採用が基本となりますが、数年に1名生鮮設備の管理者の採用を行っております。
学校の先生方だけでなく、早くから企業の方々と交流を持たれ、働くイメージを作って頂ければ、ゆくゆくは離職率の低下につながると思います。学生さんにとって望ましい就職のための学生生活であってほしいと考えます。
学生減少、定員割れ、金沢と近接等を考えると、本大学設置の意味を感じない。
機械工学メインの学生では採用はむずかしい。卒業生は小松に留めるのではなく日本全国世界へ羽ばたける人材を育てて欲しい。
現時点では、大学新卒の採用は考えていないが、会社業務が拡大すれば検討する。
工学部出身なのに、基礎的な工具が使えないということが多々あります。コンピューターばかりではなく、現場に沿った授業中身にして欲しいものです。
工業高校、工業大学、その他の大学で専門知識を学んできても、それがすぐ会社の売り上げ、業績にはつながらない。入社してから会社の理念に基づく社員へ成長できる素直さ、そして行動力がなければ求められる人材にはならない。高い専門性だけではなく、困難を乗り越える力、耐える力、人間力も養ってもらいたい。
今後、インダストリー4.0が本格的に日本で世界で普及した場合、データサイエンティストの重要性が増すと考えられています。少なくとも私どもの中でも、そういったデータに強い、かつそのようなデータ解析が可能で、実情と予測をしっかりとてられる人材が欲しいと考えています。そういった重要な人材を輩出して頂くよう期待しております。
採用する予定が毎年ありませんが技術系の採用は大卒を考えています。将来、電気系の技術者は考えたい。
在籍学生は小松市の企業以外には就職不可としていただきたい。市税を利用して学んだ学生は市内の企業で活躍することが地域の産業を育てていくための好循環となる。
市長がコマツ出身の為コマツ（小松製作所）が主体でないやり方をしないと今回の改革は見え見えである。少子化故所詮コマツ関連の就職先で完結でしょう。また生産システムの内容もはや過去の産物にしか過ぎないし、中途半端。これからは、生物学系システムに電子・電気技術を入れた技術者を輩出する方向にしないと魅力ある大学にはならない。
資格取得を充実してほしい（特別講習等）。海外経験（留学、インターン）の経験者をたくさん輩出してほしい。奨学金や交換留学で援助。小松という地域を活用して、優秀な企業がたくさんあるので企業さんとの交流や体験、勉強してほしい。
自分から進んで物作りに興味意欲ある人を養成お願いする。
社会人枠（受入）はあるのか。
若い人達を育てることはとても重要だと思います。小松の活性化の為にみんなが力を合わせていかればいいです。
若者が将来社会に出て活躍するために基本的な能力（マナーや一般常識）を身に付けてもらえると良いと思います。（最近の学生は少ないと思います）
主体性を持ち、状況を判断して行動出来る人材を育てて下さい。

自由回答意見
就業地、富山県下新川郡朝日町でOKの場合は採用したい。
少子化なのに？必要性が感じられない。民間大学をつぶす？
少子高齢化になりつつある環境の下、年々新卒採用が困難になる中、新たに学生の育成という形で大学を設立されるのは企業側にとっては大歓迎です。ぜひ有能な人材の育成をお願いしたいと思います。
少子高齢化の中、教育業界は大変とは思いますが、学ぶことは大切なことです。どうぞ地域、日本、世界に輝く人材を育ててください。応援しています。
消費地が外国へと移っていく中で、外国との取引があたり前のことになってきています。英語がしゃべれて…ができる、するというのが不可欠になります。現状では、弊社のような零細企業ではそんな方は来てくれないので、大学において技術も英語もマスターして社会に出られると率先力として貢献できるのではないのでしょうか、すばらしいと思います。じっさいにしゃべれないといけません。
常識があり、人に配慮が出来る人材を育てて欲しい。
職場体験を十分実施し、より実社会へ早期に順応して頂ける教育を希望します。
職人技というものを高精度な機械加工に置き換える為の分析を進めて欲しい。
是非とも、日本の技術を「ものづくり」のすばらしさを学んで、企業に就職しても常に探究心を持ち続ける人材に学びがあるとよいです。
制御システム系（PLC・制御盤）人材育成に期待しています。
生産システム学部はとても製造業にとって魅力的だが、就職先が大手のコマツ等ばかりになってしまうとあまり意味がないように思えるので、中小企業にも人材を送り出して県内の企業に貢献して欲しい。
精神的に安定している人、穏やかで辛抱できる人、精神面の教育も大切だと思います。
製造業に係る学部の設置は大変喜ばしく思う。
石川県内は大学の数が多いので、これ以上必要ないと思う。少子高齢化が進む中、将来、大学を維持して経営していけるのか？疑問が残る。まして、公立だと税金を使うので慎重に精査してほしいと思う。
設問7、8に関し、期待する処大。
全国的に大学の運営が厳しいと聞いている中、県内では金沢近郊にも多く存在しているのですが大丈夫なのでしょうか。少し心配です。
創造力（周囲を測ることのできる）を持った人材の育成、輩出を願います。技術等は、就職された先で活かせる機会も流動的になります。地域を盛り立てる良い教育の場を望みます。
他人の痛みが解り協調性があれば物作りの必要性も理解できます。グローバルな人々が1人でも多く社会に羽ばたきます様に。
大卒であればスタッフとして採用しますので、生産技術だけでなく、生産管理や品質管理についても必要なカリキュラムになると思います。
大変良いことであると思います。技能技術知識と学んでいく過程で人として最も重要な心を指導してください。応援しています。
探究心、仕事への情熱を育む教育、環境が大切かと。あと「ものづくり」の面白さを教えてゆくこと。
短期大学と違い、一定レベルに達していない生徒は入学させるべきではありません。過去2人採用しましたが、三角関数すら分からない生徒でした。今はもう仕事ができなくて退社しております。誰でも入れる大学はダメです。
地域企業と連携し、実際の現場で生きる技術者の育成を希望します
地域産業にマッチする学びやにしてほしい。
地元も国内でも大学は多数あるが少子化傾向にある現時点で新設置の必要性があるのか。良く理解出来ない。
地方発展のため尽力できる人材を育てて下さい。
当社では建設関連ソフトウェア開発要員を求めています。
当社はものづくりの企業ですので、ものづくりを学んだ学生にぜひ入社いただきたいと考えています。また、海外のお客様と技術者が英語で打ち合わせを行うこともあるので、英語力がある学生は活躍の場が広がります。
頭の良し悪しよりも人間性や社会性を教えて欲しい。「校内で出会う全ての人にあいさつが出来る」はあたりまえに…。人とのコミュニケーションをはかれない人は仕事の幅をもてない人です。
独創性のある人材を育てて欲しい。水に付いての学科があってもいいんじゃないか。水に付いての現状は大学の研究では現場にて使い物にならず。
日本にいろんな大学がある中、魅力をかんじることができない、でも、小松の中央に大学がくるとかっけがあり、若者も増え、町が活性化すると思うのでうれしいです。

自由回答意見
入社試験で既存大学の機械系学生が意外に図面が書けません。しかし設計希望です。入社してから教えても、基礎から理解していないことに驚きます。”基礎”のレベルはどこまでなのかは企業によりますが、地域企業との連携プログラムで机上と企業の現場のギャップが少しでも縮むことを期待しています。
富山県人の方が入学され、後に富山県内希望の方は是非、当社をエントリーしておいて頂きたい。
弊社では取引先が海外に多いので英語により議論が出来る人材はとて必要を感じます。ぜひそのような人材を育てて頂ければと思います。
弊社は、省力化設備、制御盤などの設計から組立、配線、試運転まで行う会社です。必要とする人材を育てることも会社の役目と思っていますので、そこで学校としても各企業様とタイアップして技術力を学んでいける学校にして欲しいと思っています。
弊社は所在地が河北郡津幡町で小松方面からだ通勤に時間が経かる（但し、小松に学校があるからと言って、その方面に居住しているとは限らないと思いますが…。
北陸、近県でこの様な大学ができる事はとても嬉しいです。が、技術や知識だけがあっても、中所企業では、どうなのか…人間性だけでもどうなのか…悩めるところです。若い力に期待します。
問5は各年度中国人実習生3名含む。

保健医療学部 看護学科／臨床工学科

公立小松大学 設置に関するアンケート調査票

小松市では、豊かな教養と実践的な専門能力を備え、地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、公立小松大学の設置計画を進めております。公立小松大学には「生産システム科学部 生産システム科学科」「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」「国際文化交流学部 国際文化交流学科」が開設されます。

このアンケート調査は、貴施設の人材採用意向、開設予定の公立小松大学「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの回答はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せることはありません。率直なご意見をおたずねします。

新大学の内容等につきましては、同封のリーフレットをご覧ください。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

◆学部・学科名：保健医療学部 看護学科（入学定員 50 名）／臨床工学科（入学定員 30 名）

◆設 置 時 期：2018 年 4 月（平成 30 年 4 月予定）

※第 1 期卒業生は 2022 年 3 月に卒業予定

◆場 所：向本折キャンパス〔保健医療学部〕 JR 北陸本線「小松駅」から路線バス約 7 分
小松駅前キャンパス〔教養教育（1～2 年次）〕 JR 北陸本線「小松駅」から徒歩約 1 分

※上記の名称、内容は予定であり変更する場合があります。

問 1 貴施設の設置主体は次のどれに該当しますか。

【回答欄】

次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 国立 | 3 医療法人 |
| 2 公立（県市町村立、一部事務組合立等） | 4 その他（具体的に |

問 2 貴施設の所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------|--------|
| 1 石川県 | 3 福井県 |
| 2 富山県 | 4 その他（ |

問 3 平成 28 年 6 月 1 日現在の貴施設の病床数について **数字** をご記入ください。

○病床数

床

問 4 平成 28 年 6 月 1 日現在の ①看護職員数（常勤の看護師、保健師）と、②看護職員のうちの 4 年制大学（学部）卒業者数について、人数をご記入ください。

①看護職員数

人

②看護職員のうち看護大学（学部）卒業者数

人

問 5 平成 28 年 6 月 1 日現在の ①臨床工学技士職員数（常勤の臨床工学技士）と、②臨床工学技士職員のうちの大学（学部）卒業者数について、人数をご記入ください。

①臨床工学技士職員数

人

②臨床工学技士職員のうち大学（学部）卒業者数

人

（裏面に続く）

【設置計画中の公立小松大学「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」についておたずねします。】
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 公立小松大学 保健医療学部「看護学科」についてお伺いします。

- (1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「看護学科」の卒業者を看護職員として採用を考えますか。
次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|------------|---|---------------|
| 1 採用したい | } | 問6(2)へお進みください |
| 2 一応採用を考える | | |
| 3 採用は考えない | } | 問7へお進みください |
| 4 わからない | | |

- (2) 問6 (1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、「看護学科」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。
該当する人数を一つだけ選んでください。

- | | | |
|------|--------|-----------|
| 1 1人 | 4 4人 | 7 10人以上 |
| 2 2人 | 5 5～6人 | 8 その他 () |
| 3 3人 | 6 7～9人 | |

- (3) 同じく問6 (1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を希望する理由は何ですか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- 1 医療現場に必要な基礎力のある人材として期待できそうだから
- 2 チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから
- 3 看護師としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから
- 4 看護体制充実のため、多くの看護師を採用したいと考えているから
- 5 その他 (具体的に)

問7 公立小松大学 保健医療学部「臨床工学科」についてお伺いします。

- (1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「臨床工学科」の卒業者を臨床工学技士職員として採用を考えますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|------------|---|---------------|
| 1 採用したい | } | 問7(2)へお進みください |
| 2 一応採用を考える | | |
| 3 採用は考えない | } | 問8へお進みください |
| 4 わからない | | |

- (2) 問7 (1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、「臨床工学科」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。
該当する人数を一つだけ選んでください。

- | | | |
|------|--------|-----------|
| 1 1人 | 4 4人 | 7 10人以上 |
| 2 2人 | 5 5～6人 | 8 その他 () |
| 3 3人 | 6 7～9人 | |

- (3) 同じく問7 (1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を希望する理由は何ですか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- 1 医療現場に必要な基礎力のある人材として期待できそうだから
- 2 チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから
- 3 臨床工学技士としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから
- 4 高度医療機器の導入に伴い、臨床工学技士を採用したいと考えているから
- 5 その他 (具体的に)

問8 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

〔回収状況〕

1,175 施設送付

日付	回収数	累計数	回収率	日付	回収数	累計数	回収率
7.14	6 件	6 件	0.5%	7.28	4 件	398 件	33.9%
7.15	113 件	119 件	10.1%	7.29	3 件	401 件	34.1%
7.19	166 件	285 件	24.3%	8.01	11 件	412 件	35.1%
7.20	58 件	343 件	29.2%	8.02	6 件	418 件	35.6%
7.21	2 件	345 件	29.4%	8.03	2 件	420 件	35.7%
7.22	16 件	361 件	30.7%	8.08	2 件	422 件	35.9%
7.25	18 件	379 件	32.3%	8.09	5 件	427 件	36.3%
7.26	12 件	391 件	33.3%	8.15	1 件	428 件	36.4%
7.27	3 件	394 件	33.5%				

県 No.	所在地	依頼数	回収数	回収率
1	石川県	844	312	37.0%
2	富山県	166	59	35.5%
3	福井県	165	57	34.5%
	計	1175	428	36.4%

保健医療学部 看護学科／臨床工学科：集計表

〔有効回答票：428 票〕

問1 貴施設の設置主体は次のどれに該当しますか。

回答事業所の「設置主体」について伺ったところ、「医療法人」が 241 事業所（56.3%）と最も多く、次いで「その他」が 149 事業所（34.8%）、「公立（県市町村立、一部事務組合立等）」が 31 事業所（7.2%）、「国立」が 6 事業所（1.4%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	国立	6	1.4
2	公立（県市町村立、一部事務組合立等）	31	7.2
3	医療法人	241	56.3
4	その他	149	34.8
	不明	1	0.2
	N（%ベース）	428	100.0

「4 その他」の回答

クリニック	個人開業医	自営
医院	個人経営	社会福祉法人
医療生協	個人経営医院	社福
一般財団法人	個人事業	診療所
一般診療所	個人事業主	整形外科クリニック
開業医	個人診療所	生協
企業内	個人立	大学
個人	公益財団法人	独立行政法人国立病院機構
個人クリニック	公益社団法人	日本赤十字社
個人の診療所	公益法人	非法人のクリニック
個人医院	公的済生会	法人ではない診療所
個人営業	財団医療法人	無床診療所
個人開業	私立	有限会社

問2 貴施設の所在地についてお聞きします。

回答事業所の「所在地」について伺ったところ、「石川県」が 311 事業所（72.7%）と最も多く、次いで「富山県」が 59 事業所（13.8%）、「福井県」が 57 事業所（13.3%）、「その他」が 0 事業所（0.0%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	石川県	311	72.7
2	富山県	59	13.8
3	福井県	57	13.3
4	その他	0	0.0
	不明	1	0.2
	N（％ベース）	428	100.0

問3 平成28年6月1日現在の貴施設の病床数について数字をご記入ください。

回答事業所の「病床数」について伺ったところ、「0床」が230事業所（53.7%）と最も多く、次いで「19床」が30事業所（7.0%）、「10床-18床」と「100床-149床」が21事業所（4.9%）、「70床-99床」と「150床-199床」が19事業所（4.4%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0床	230	53.7
2	1床-9床	15	3.5
3	10床-18床	21	4.9
4	19床	30	7.0
5	20床-49床	15	3.5
6	50床-69床	15	3.5
7	70床-99床	19	4.4
8	100床-149床	21	4.9
9	150床-199床	19	4.4
10	200床-299床	17	4.0
11	300床-499床	15	3.5
12	500床以上	5	1.2
	不明	6	1.4
	N（％ベース）	428	100.0

問4 平成28年6月1日現在の①看護職員数（常勤の看護師、保健師）と、②看護職員のうちの4年制大学（学部）卒業者数について、人数をご記入ください。

① 看護職員数

回答事業所の「平成28年6月1日現在の看護職員数（常勤の看護師、保健師）」について伺ったところ、「2人」が59事業所（13.8%）と最も多く、次いで「3人」が53事業所（12.4%）、「1人」が52事業所（12.1%）、「21人-50人」が49事業所（11.4%）、「11人-20人」が41事業所（9.6%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0人	30	7.0
2	1人	52	12.1
3	2人	59	13.8
4	3人	53	12.4
5	4人	27	6.3
6	5人	21	4.9
7	6人-10人	32	7.5
8	11人-20人	41	9.6
9	21人-50人	49	11.4
10	51人-100人	26	6.1
11	101人-300人	25	5.8
12	301人以上	8	1.9
	不明	5	1.2
	N（%へ-入）	428	100.0

② 看護職員のうち看護大学（学部）卒業者数

回答事業所の「平成 28 年 6 月 1 日現在の看護職員のうち看護大学（学部）卒業者数」について伺ったところ、「0 人」が 286 事業所（66.8%）と最も多く、次いで「1 人」が 42 事業所（9.8%）、「2 人」が 27 事業所（6.3%）、「3 人」が 16 事業所（3.7%）、「5 人-10 人」が 12 事業所（2.8%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0 人	286	66.8
2	1 人	42	9.8
3	2 人	27	6.3
4	3 人	16	3.7
5	4 人	8	1.9
6	5 人-10 人	12	2.8
7	11 人-20 人	11	2.6
8	21 人以上	9	2.1
	不明	17	4.0
	N（%ベース）	428	100.0

問5 平成28年6月1日現在の①臨床工学技士職員数（常勤の臨床工学技士）と、②臨床工学技士職員のうちの大学（学部）卒業者数について、人数をご記入ください。

① 臨床工学技士職員数

回答事業所の「平成28年6月1日現在の臨床工学技士職員数（常勤の臨床工学技士）」について伺ったところ、「0人」が369事業所（86.2%）と最も多く、次いで「1人」と「5人」が10事業所（2.3%）、「3人」と「6人-9人」が8事業所（1.9%）、「2人」と「4人」が6事業所（1.4%）、「10人以上」が4事業所（0.9%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0人	369	86.2
2	1人	10	2.3
3	2人	6	1.4
4	3人	8	1.9
5	4人	6	1.4
6	5人	10	2.3
7	6人-9人	8	1.9
8	10人以上	4	0.9
	不明	7	1.6
	N（%への入）	428	100.0

② 臨床工学技士職員のうち大学（学部）卒業者数

回答事業所の「平成 28 年 6 月 1 日現在の臨床工学技士職員のうち大学（学部）卒業者数」について伺ったところ、「0 人」が 360 事業所（84.1%）と最も多く、次いで「1 人」が 15 事業所（3.5%）、「2 人」が 10 事業所（2.3%）、「3 人」と「4 人以上」が 5 事業所（1.2%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	0 人	360	84.1
2	1 人	15	3.5
3	2 人	10	2.3
4	3 人	5	1.2
5	4 人以上	5	1.2
	不明	33	7.7
	N（%ベース）	428	100.0

問6 公立小松大学 保健医療学部「看護学科」についてお伺いします。

(1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「看護学科」の卒業者を看護職員として採用を考えますか。

回答事業所の「公立小松大学 保健医療学部 看護学科の卒業生の採用」について伺ったところ、「わからない」が124事業所(29.0%)と最も多く、次いで「一応採用を考える」115事業所(26.9%)、「採用は考えない」が94事業所(22.0%)、「採用したい」が92事業所(21.5%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	92	21.5
2	一応採用を考える	115	26.9
3	採用は考えない	94	22.0
4	わからない	124	29.0
	不明	3	0.7
	N (ベース)	428	100.0

(2) 問6(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、「看護学科」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。

問6(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答した事業所に、「採用を考える場合の看護学科卒業者の毎年採用人数」について伺ったところ、「1人」が74事業所(35.7%)と最も多く、次いで「2人」と「その他」が47事業所(22.7%)、「3人」が14事業所(6.8%)、「5～6人」が9事業所(4.3%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	1人	74	35.7
2	2人	47	22.7
3	3人	14	6.8
4	4人	8	3.9
5	5～6人	9	4.3
6	7～9人	1	0.5
7	10人以上	4	1.9
8	その他	47	22.7
	不明	3	1.4
	N (%への入)	207	100.0

「8 その他」の回答

0～1人	欠員の補充	年による
0～1人(毎年ではないので)	欠員時	年度毎に必要なに応じて
1～2人	欠員状況に応じて	必要数
1名以上	欠員補充	病院の職員の状況による
その年による	場合による	不足している人数
応需	状況による	不明
学校では特定していない	数年に1人	募集状況によります
欠員がでた時	退職者が出た時	毎年はない
欠員が出たら	定期採用はない	未定
欠員が出た場合	適宜	面接結果による
わからない、例年採用定員は40～50名		採用予定数以内なら特に上限なし

(3) 同じく問6(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を希望する理由は何ですか。

問6(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答した事業所に、「採用を希望する理由」について伺ったところ、「看護体制充実のため、多くの看護師を採用したいと考えているから」が61事業所(29.5%)と最も多く、次いで「医療現場に必要な基礎力のある人材として期待できそうだから」が57事業所(27.5%)、「看護師としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから」が52事業所(25.1%)、「チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから」が23事業所(11.1%)、「その他」が9事業所(4.3%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	医療現場に必要な基礎力のある人材として期待できそうだから	57	27.5
2	チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから	23	11.1
3	看護師としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから	52	25.1
4	看護体制充実のため、多くの看護師を採用したいと考えているから	61	29.5
5	その他	9	4.3
	不明	5	2.4
	N (%ベース)	207	100.0

「5 その他」の回答

看護師に欠員が出れば採用を考える
今のスタッフは年齢が高いので若さに期待したい
人材不足の面から
地域で学んで研修、実習にもきて頂き、当院で活躍できるNSとして
地元石川の大学卒業生だから
当地域出身で永く勤務してもらえたら

問7 公立小松大学 保健医療学部「臨床工学科」についてお伺いします。

(1) 貴施設では、公立小松大学 保健医療学部「臨床工学科」の卒業者を臨床工学技士職員として採用を考えますか。

回答事業所の「公立小松大学 保健医療学部 臨床工学科の卒業生の採用」について伺ったところ、「採用は考えない」が299事業所(69.9%)と最も多く、次いで「わからない」が79事業所(18.5%)、「一応採用を考える」が22事業所(5.1%)、「採用したい」が18事業所(4.2%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	18	4.2
2	一応採用を考える	22	5.1
3	採用は考えない	299	69.9
4	わからない	79	18.5
	不明	10	2.3
	N (％ベース)	428	100.0

(2) 同じく問7(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、「臨床工学科」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。

問7(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答した事業所に、「採用を考える場合の臨床工学科卒業者の毎年採用人数」について伺ったところ、「1人」が27事業所(67.5%)と最も多く、次いで「その他」が9事業所(22.5%)、「2人」が2事業所(5.0%)、「3人」が1事業所(2.5%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	1人	27	67.5
2	2人	2	5.0
3	3人	1	2.5
4	4人	0	0.0
5	5～6人	0	0.0
6	7～9人	0	0.0
7	10人以上	0	0.0
8	その他	9	22.5
	不明	1	2.5
	N (%ベース)	40	100.0

「8 その他」の回答

0～1人	当院では採用枠1名のみ、毎年採用なし
わからない、例年使用定員は0～2名	不明
欠員があれば	募集状況によります
欠員が出たら	未定
欠員補充	

(3) 同じく問7(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を希望する理由は何ですか。

問7(1)で「採用したい」「一応採用を考える」と回答した事業所に、「採用を希望する理由」について伺ったところ、「医療現場で必要な基礎力のある人材として期待できそうだから」が14事業所(35.0%)と最も多く、次いで「チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから」が10事業所(25.0%)、「臨床工学技士としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから」が7事業所(17.5%)、「高度医療機器の導入に伴い、臨床工学技士を採用したいと考えているから」が4事業所(10.0%)、「その他」が3事業所(7.5%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	医療現場で必要な基礎力のある人材として期待できそうだから	14	35.0
2	チーム医療の一員としての活躍を期待できそうだから	10	25.0
3	臨床工学技士としての資質の高さ、将来性を期待できそうだから	7	17.5
4	高度医療機器の導入に伴い、臨床工学技士を採用したいと考えているから	4	10.0
5	その他	3	7.5
	不明	2	5.0
	N (%への)	40	100.0

「5 その他」の回答

現員不足時	透析医療	必要定数確保のため
-------	------	-----------

問 8 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

自由回答意見
こまつ看護学校との関連はどうなりますか？三年制はやめて、すべて四年制の公立小松大学へと移行するのでしょうか？
ご繁栄するようお祈り申し上げます。
とても期待しています。ナースの人材不足が解消されると良いと思います。卒業してからも北陸に残って仕事をしたいです。
医師会立の准看護学校はどうなるのでしょうか。
医療機関で働く際に多職種の職員と協調してゆける人材を育成してほしい。
医療機能に応じた病院の棲み分けと看護師数の変化、ベッド数の削減、一般病棟、療養病棟、介護病棟など今後激変があるのではないかと考えています。
学生に優しさや思いやりの心を持つように教育して下さい。
学生の研修、実習等にぜひ使って頂ければ幸いです。
学生の人数調整だけに終わる事、講師陣の充実、以上の点がいつも問題と考えます。しっかり施行をお願いします。
看護学校から大学課程に変わる事で、より一層学力・技術力の高い看護師が輩出されることを期待しています。
看護師、臨床工学士以外にもメディカルクラーク資格や医療・薬局事務資格をとれるようなコースがあるとよい。
看護師さんがなかなかいないので、地元で働いてくださる方がいると助かります。期待したいと思います。
看護師については不足していると思います。
看護師は新卒の採用は考えてなく、ある程度経験のある方の採用を考えているためです。小松大学卒業数年の経験を積んだ方ならOKです。
看護師不足なのでぜひ希望します。知識や経験が大切なので臨床学習を行う施設と連携する事が大切だと思います。
看護師不足の解消の為、がんばって下さい。
看護職員はもちろん、臨床工学士の採用も現在検討しております。少し先ではありますが、良い方を期待しております。
看護専門学校ではなく、大学でなければならない理由がよくわからない。大卒が否かでそれほど教育、能力に差が出るものなのでしょうか？
基礎力はもちろん必須ですが、コミュニケーション能力、教養力(視野の広さ)を学生時代、是非とも身につけていただければと思います。小さな有床クリニックなので、患者さんとしっかりコミュニケーションできる人間性が大事なような気がします。
期待しています。
規模縮小傾向にありますので、採用等ありません。
技術もさることながら、人間性豊かなひとづくりを重視して下さい。
県立看護大学設置時に国立の金大医学部看護学科があるのに問題になったことがあります。少子化のため大学学部の定員割れもある時代に公費を使って大学を設置するのは税金のムダ使いと考えます。
限定の教育機関への割り当ては考えず、全ての応募者を公平に扱っている。
個人の診療所で、今後、職員の採用予定はありません。新規予定の大学の充実を期待致します。
高度化複雑化知識技術全て必要です。現場に接した時の人と人とのコミュニケーションも重要なポイントかと思っています。立派な大学設立を願っております。
今後学部が増えて、総合大学となることを期待します。東京一極集中から、もっと地方活性化への中核になり、優秀な地元人材の地産地消をお願いしたい。
採用選択の幅が広がることは良いことと思います。
私学が定員割れするこの時代に、公立大学を作ろうという発想は安易ではないか？財源や募集対象者の出身地との関係を無視した無謀案。小松市は北陸3県以外の出身者に投資して回収できなくてもいい位寛大なのか？
資質の高い看護師等が増えることは望ましい。
授業料の負担が少なく、学びたい方が専門性を身につけ成長できる大学であって欲しいと思います。看護職員は新採の方が町の診療所ではもったいないの思いです。
将来的に薬剤師養成学科が設立すればいいと思う。
小松のために、子どもたちのために、がんばって下さい。

自由回答意見
小松の活性化などに期待しています。
小松の発展に大きな力となってくれる事を期待してます。
小松駅前キャンパスにより、駅前や周辺がにぎやかになることにも期待しております。
小松駅前のにぎわいを創出していただきたい。
小松市、加賀市の充実のための大学であってほしい。
小松市の活性化のためがんばって頂きたいと思います。
少子化する中で、地域のニーズの強いものとして、保健医療学部を設置は良いと思います。よい人材を育てて下さい。
場合によって地元での研修をしてもらえると良いと考えます。
新設大学とはかく医療系学部・学科を考えがちです(理解します)。私の希望は、米国のケニオン・カレッジ(オハイオ州ガンビア)のような教養大学が理想です。日本人の教養低下が目立つから。
進学者総数減少の中、大学間の競争に対応して採算が取れるのでしょうか？
生産システム科学部は内容がわかりにくい。生産システム工学部でよかったのではないかと思います。
設置する必要があるのか疑問です。
専門の知識、資格等を持つ人が北陸で活躍してくれると心強い。若い人の育成に期待する。
専門性とコミュニケーションスキルを兼ね備える教育が好ましい。
専門性と倫理観をもった医療職員の養成に、学校と臨床が協力してとり組みたいと思っています。
全国から学生が集まってくるような他にはみられないユニークな大学を目指して欲しい。
卒業生の何%が小松、石川県に残ってくれるのでしょうか？
知識、技術の高度化だけでなく、人間性を高める精神力を養う力を身に付けて欲しい。
地域に根差した人材の育成をお願いします。
地域の医療レベル向上のため、多くの人材の受け入れが期待されます。
地域の活性化が期待され、よいことだと思います。
地域医療に貢献できる医療人の育成をすすめていただきたい。
地域密着の看護師養成。
地元大学として、小松市内の活性化としても期待しています。
超高齢化社会も目の前です。質の高い多くのナースが必要です。
定期採用については、大学からの推薦があればなおよし。
当院のような小規模な診療所では大学卒の看護師を雇用する余裕はない(経済的にも実務的にも)ので、今回のアンケートは参考にならないと思いますが、是非「手」と「目」で患者さんに寄り添える看護師さんを育てて下さい。
当院のような有床診療所には四年制大学卒の看護師さんは応募してくれませんが、福井でも卒業生はほとんど県外 or 大病院志向です。たいへん残念です。
当院は、看護師奨学金制度もありますので活用し、多くの求人申し込みを願っております。
当院は0床のクリニックです。年輩の社会経験の豊富な准看護師でも充分適応可能な職場です。今後医療制度法律が変わり看護師にも医療に対する権限が与えられ、身分保障がなされ患者様、国民の為に便利で有益な社会が実現するよう大学が力を発揮していただく事を強く願っています。看護師にその力や資格があると思います。
当院は医師、事務のみのクリニックです。よってアンケートは返却させていただきます。ご確認の上、ご不明な点がございましたら当院までご連絡ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。
当院は精神科単科の病院であり、臨床工学技士は配置されておられません。看護師の採用は、県内の県立病院と合わせて試験が行われています。
当院は無床診療所で、目下職員数も充足状態ですが、卒業生が出る頃(看護師)、個人の医院でも了承してもらえれば、採用を考えます。
敦賀市にも3年前に看護大学が開学しましたが、8割が県外からの学生で卒業後何人の学生が敦賀市内の医療機関で就職するのかという思いです。
発展を期待しています。
富山市出身者の採用であれば、考慮します。
福井から入学してUターン就職する学生がどれだけいるかは未知数だが、希望者がいればぜひ採用したい。
福祉専門職の資格取得できる学科の開設をご検討下さい。
放射線技師、臨床検査技師の育成の予定は？臨床心理士の育成の予定は？
北陸地区では視能訓練士が不足しております。視能訓練士科の設置もお願いします。
未来に向かっての人材育成、とても期待しています。
夜間学部があるといい。

自由回答意見
立派な人材育成を期待しています。
療養病床で、新卒看護師の指導があまりできない為、採用したくてもできない状況です。

国際文化交流学部 国際文化交流学科

公立小松大学 設置に関するアンケート調査票

小松市では、豊かな教養と実践的な専門能力を備え、地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、公立小松大学の設置計画を進めております。公立小松大学には「生産システム科学部 生産システム科学科」「保健医療学部 看護学科／臨床工学科」「国際文化交流学部 国際文化交流学科」が開設されます。

このアンケート調査は、貴事業所の人材採用意向、開設予定の公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの回答はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せることはありません。率直なご意見をおたずねします。

新大学の内容等につきましては、同封のリーフレットをご覧ください。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

◆学部・学科名：国際文化交流学部 国際文化交流学科（入学定員 80 名）

◆設 置 時 期：2018 年 4 月（平成 30 年 4 月予定）

※第 1 期生は 2022 年 3 月に卒業予定です。

◆場 所：小松駅前キャンパス〔教養教育、国際文化交流学部〕

JR 北陸本線「小松駅」から徒歩約 1 分

※上記の名称、内容は予定であり変更する場合があります。

問 1 貴事業所の業種は何ですか。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

【回答欄】

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 運輸・通信業 | 5 情報処理産業 | 9 広告出版業 |
| 2 製造業 | 6 卸・小売業 | 10 病院・診療所 |
| 3 建設業 | 7 金融・保険業 | 11 社会福祉施設 |
| 4 サービス業 | 8 不動産業 | 12 その他（具体的に |

問 2 貴事業所の所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------|--------|
| 1 石川県 | 3 福井県 |
| 2 富山県 | 4 その他（ |

問 3 貴事業所における今後の人材採用について、どのようにお考えですか。
該当する番号を **1 つ** お選びください。

- | |
|----------------------------|
| 1 毎年採用していくと思う |
| 2 できれば、毎年採用していきたいと思う |
| 3 毎年ではないが、ある程度は採用していきたいと思う |
| 4 増員が必要になった場合に、採用を考える |
| 5 欠員が出た場合に、採用を考える |
| 6 当面、採用は行わないと思う |

問 4 貴事業所では現在、国際部門（海外事業部）はありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 5 貴事業所では、今後の海外事業展開や外国企業等との取引、外国人を対象としたビジネスについて、どのようにお考えですか。該当する番号を **1 つ** お選びください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 ぜひ拡大したい | 3 現状維持 |
| 2 できれば拡大したい | 4 考えていない |

（裏面に続く）

問6 貴事業所では、国際的な視野をもち異文化理解ができ、英語、中国語などの外国語能力を備えた人材の需要について、今後どのようになるとお考えですか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても多くなる | 4 少なくなる |
| 2 多くなる | 5 とても少なくなる |
| 3 現状どおり | 6 わからない |

問7 貴事業所では、人材を採用する際に、どのようなことを重視していますか。該当する番号を**3つまで**お選びください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 リーダーシップがあること | 7 責任感・使命感があること |
| 2 チャレンジ精神があること | 8 問題解決能力があること |
| 3 主体性があること | 9 創造力があること |
| 4 積極性があること | 10 社会貢献意識があること |
| 5 協調性があること | 11 その他（ ） |
| 6 柔軟性があること | |

問8 貴事業所では、グローバルに活躍する人材に求められる素質、知識、能力について、何が必要だと思われますか。該当する番号を**3つまで**お選びください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 英語などの外国語コミュニケーション能力があること | 5 TOEIC で高得点を得ていること |
| 2 異文化、国際社会に対する知識と理解があること | 6 社会貢献意識があること |
| 3 日本と日本文化を深く理解し、誇りをもつこと | 7 その他（ ） |
| 4 海外留学の経験があること | |

【設置計画中の公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」についておたずねします。】
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問9 公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の社会的な必要性を感じますか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 社会的必要性を感じる | 4 必要性はない |
| 2 一応、社会的必要性を感じる | 5 わからない |
| 3 あまり必要性を感じない | 6 その他（具体的に ） |

問10 貴事業所では、公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | | | |
|------------|---------------|-----------|---------------|
| 1 採用したい | } 問11へお進みください | 3 採用は考えない | } 問12へお進みください |
| 2 一応採用を考える | | 4 わからない | |

問11 問10で、「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用が想定されますか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | | | |
|------|------|--------|----------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5～6人 | 7 10人以上 |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 7～9人 | 8 その他（ ） |

問12 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

--

***** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 *****

〔回収状況〕

1, 203 事業所送付

日付	回収数	累計数	回収率	日付	回収数	累計数	回収率
7. 14	8 件	8 件	0. 7%	7. 28	3 件	440 件	36. 6%
7. 15	158 件	166 件	13. 8%	7. 29	1 件	441 件	36. 7%
7. 19	182 件	348 件	28. 9%	8. 01	5 件	446 件	37. 1%
7. 20	37 件	385 件	32. 0%	8. 02	2 件	448 件	37. 2%
7. 21	5 件	390 件	32. 4%	8. 03	2 件	450 件	37. 4%
7. 22	18 件	408 件	33. 9%	8. 05	3 件	453 件	37. 7%
7. 25	19 件	427 件	35. 5%	8. 08	1 件	454 件	37. 7%
7. 26	7 件	434 件	36. 1%	8. 15	1 件	455 件	37. 8%
7. 27	3 件	437 件	36. 3%	8. 16	2 件	457 件	38. 0%

県 No.	所在地	依頼数	回収数	回収率
1	石川県	519	250	48. 2%
2	富山県	340	98	28. 8%
3	福井県	336	105	31. 3%
4	宮城県	1	—	—
5	東京都	4	2	50. 0%
6	長野県	1	1	100. 0%
7	京都府	1	1	100. 0%
8	大阪府	1	—	—
	計	1203	457	38. 0%

国際文化交流学部 国際文化交流学科：集計表

〔有効回答票：457 票〕

問1 貴事業所の業種は何ですか。

回答事業所の「業種」について伺ったところ、「製造業」が 214 事業所（46.8%）と最も多く、次いで「卸・小売業」が 105 事業所（23.0%）、「サービス業」が 74 事業所（16.2%）、「その他」が 22 事業所（4.8%）、「建設業」が 18 事業所（3.9%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	運輸・通信業	10	2.2
2	製造業	214	46.8
3	建設業	18	3.9
4	サービス業	74	16.2
5	情報処理産業	2	0.4
6	卸・小売業	105	23.0
7	金融・保険業	3	0.7
8	不動産業	0	0.0
9	公告出版業	1	0.2
10	病院・診療所	2	0.4
11	社会福祉施設	5	1.1
12	その他	22	4.8
	不明	1	0.2
	N（％ベース）	457	100.0

「12 その他」の回答

2、6	調剤薬局
観光協会	博物館
警備業	貿易
娯楽業（ゴルフ場）	旅行業
航空関連サービス業	
公共施設の指定管理、業務受託、労働者派遣	

問2 貴事業所の所在地についてお聞きします。

回答事業所の「所在地」について伺ったところ、「石川県」が 249 事業所（54.5%）と最も多く、次いで「福井県」が 104 事業所（22.8%）、「富山県」が 98 事業所（21.4%）、「その他」が 5 事業所（1.1%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	石川県	249	54.5
2	富山県	98	21.4
3	福井県	104	22.8
4	その他	5	1.1
	不明	1	0.2
	N（%ベース）	457	100.0

「4 その他」の回答

山梨県、長野県	滋賀県	東京都	福井県、東京
---------	-----	-----	--------

問3 貴事業所における今後の人材採用について、どのようにお考えですか。

回答事業所の「今後の人材採用」について伺ったところ、「毎年採用していくと思う」が 168 事業所 (36.8%) と最も多く、次いで「できれば、毎年採用していきたいと思う」が 72 事業所 (15.8%)、「毎年ではないが、ある程度は採用していきたいと思う」と「増員が必要になった場合に、採用を考える」が 70 事業所 (15.3%)、「欠員が出た場合に、採用を考える」が 52 事業所 (11.4%)、「当面、採用は行わないと思う」が 24 事業所 (5.3%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎年採用していくと思う	168	36.8
2	できれば、毎年採用していきたいと思う	72	15.8
3	毎年ではないが、ある程度は採用していきたいと思う	70	15.3
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	70	15.3
5	欠員が出た場合に、採用を考える	52	11.4
6	当面、採用は行わないと思う	24	5.3
	不明	1	0.2
	N (％ベース)	457	100.0

問4 貴事業所では現在、国際部門（海外事業部）はありますか。

回答事業所の「国際部門（海外事業部）の有無」について伺ったところ、「ある」が137事業所（30.0%）、「ない」が318事業所（69.6%）、となった。

No.	カテゴリ	件数	%
1	ある	137	30.0
2	ない	318	69.6
	不明	2	0.4
	N（％ベース）	457	100.0

問5 貴事業所では、今後の海外事業展開や外国企業等との取引、外国人を対象としたビジネスについて、どのようにお考えですか。

回答事業所の「今後の海外事業展開や外国企業等との取引、外国人対象ビジネスへの考え」について伺ったところ、「考えていない」が143事業所（31.3%）と最も多く、次いで「できれば拡大したい」が122事業所（26.7%）、「ぜひ拡大したい」が100事業所（21.9%）、「現状維持」が91事業所（19.9%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	ぜひ拡大したい	100	21.9
2	できれば拡大したい	122	26.7
3	現状維持	91	19.9
4	考えていない	143	31.3
	不明	1	0.2
	N（%ベース）	457	100.0

問6 貴事業所では、国際的な視野をもち異文化理解ができ、英語、中国語などの外国語能力を備えた人材の需要について、今後どのようなになるとお考えですか。

回答事業所の「国際的な視野をもち異文化理解ができ、英語、中国語などの外国語能力を備えた人材の需要」について伺ったところ、「多くなる」が217事業所（47.5%）と最も多く、次いで「現状どおり」が111事業所（24.3%）、「とても多くなる」が68事業所（14.9%）、「わからない」が57事業所（12.5%）、「少なくなる」が2事業所（0.4%）、「とても少なくなる」が0事業所（0.0%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	とても多くなる	68	14.9
2	多くなる	217	47.5
3	現状どおり	111	24.3
4	少なくなる	2	0.4
5	とても少なくなる	0	0.0
6	わからない	57	12.5
	不明	2	0.4
	N（％ベース）	457	100.0

問7 貴事業所では、人材を採用する際に、どのようなことを重視していますか。(複数回

答：3つまで)

回答事業所の「人材採用時に重視する事項」について伺ったところ、「責任感・使命感があること」が262事業所(57.3%)と最も多く、次いで「協調性があること」が211事業所(46.2%)、「積極性があること」が201事業所(44.0%)、「チャレンジ精神があること」が194事業所(42.5%)、「問題解決能力があること」が133事業所(29.1%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	リーダーシップがあること	46	10.1
2	チャレンジ精神があること	194	42.5
3	主体性があること	107	23.4
4	積極性があること	201	44.0
5	協調性があること	211	46.2
6	柔軟性があること	86	18.8
7	責任感・使命感があること	262	57.3
8	問題解決能力があること	133	29.1
9	創造力があること	70	15.3
10	社会貢献意識があること	33	7.2
11	その他	6	1.3
	不明	2	0.4
	N (％ベース)	457	100.0

※複数回答のため、合計は100%にならない

「11 その他」の回答

向上心	人間性	当社事業への興味
-----	-----	----------

問8 貴事業所では、グローバルに活躍する人材に求められる素質、知識、能力について、何が必要だと思われますか。(複数回答：3つまで)

回答事業所が「必要と思うグローバルに活躍する人材に求められる素質、知識、能力」について伺ったところ、「英語などの外国語コミュニケーション能力があること」が 383 事業所 (83.8%) と最も多く、次いで「異文化、国際社会に対する知識と理解があること」が 327 事業所 (71.6%)、「日本と日本文化を深く理解し、誇りをもつこと」が 240 事業所 (52.5%)、「社会貢献意識があること」が 134 事業所 (29.3%)、「海外留学の経験があること」が 47 事業所 (10.3%)、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	英語などの外国語コミュニケーション能力があること	383	83.8
2	異文化、国際社会に対する知識と理解があること	327	71.6
3	日本と日本文化を深く理解し、誇りをもつこと	240	52.5
4	海外留学の経験があること	47	10.3
5	TOEIC で高得点を得ていること	33	7.2
6	社会貢献意識があること	134	29.3
7	その他	15	3.3
	不明	11	2.4
	N (％ベース)	457	100.0

※複数回答のため、合計は 100%にならない

「7 その他」の回答

外国人に対する対応力	採算意識
環境・状況適応力	自分たちの文化、異文化の双方を尊重する意識
行動力	人柄
高い適応力（精神・身体両方）・ストレス耐性	誰の話もよく聴いて理解しようと努めること
根性	問7で回答した要素があること

問9 公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の社会的な必要性を感じますか。

回答事業所に「国際文化交流学部 国際文化交流学科の社会的な必要性」について伺ったところ、「一応、社会的必要性を感じる」が 159 事業所（34.8%）と最も多く、次いで「社会的必要性を感じる」が 128 事業所（28.0%）、「わからない」が 110 事業所（24.1%）、「あまり必要性を感じない」が 39 事業所（8.5%）、「必要性はない」が 15 事業所（3.3%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	社会的必要性を感じる	128	28.0
2	一応、社会的必要性を感じる	159	34.8
3	あまり必要性を感じない	39	8.5
4	必要性はない	15	3.3
5	わからない	110	24.1
6	その他	4	0.9
	不明	2	0.4
	N（%ベース）	457	100.0

「6 その他」の回答

アジア、中国語が必要
あっても良いが南加賀地域での就職の難しさを危惧する
トータルコーディネート力

問10 貴事業所では、公立小松大学「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。

回答事業所の「公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科の卒業生の採用」について伺ったところ、「わからない」が 230 事業所（50.3%）と最も多く、次いで「一応採用を考える」が 125 事業所（27.4%）、「採用は考えない」が 64 事業所（14.0%）、「採用したい」が 31 事業所（6.8%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	31	6.8
2	一応採用を考える	125	27.4
3	採用は考えない	64	14.0
4	わからない	230	50.3
	不明	7	1.5
	N（%ベース）	457	100.0

問11 問10で「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用が想定されますか。

問 10 で「採用したい」「一応採用を考える」と回答した事業所に、「採用を考える場合の国際文化交流学部 国際文化交流学科 卒業者の毎年採用人数」について伺ったところ、「1 人」が 89 事業所（57.1%）と最も多く、次いで「2 人」と「その他」が 27 事業所（17.3%）、「3 人」が 4 事業所（2.6%）、「4 人」と「5～6 人」が 2 事業所（1.3%）、と続いている。

No.	カテゴリ	件数	%
1	1 人	89	57.1
2	2 人	27	17.3
3	3 人	4	2.6
4	4 人	2	1.3
5	5～6 人	2	1.3
6	7～9 人	0	0.0
7	10 人以上	1	0.6
8	その他	27	17.3
	不明	4	2.6
	N（%ベース）	156	100.0

「8 その他」の回答

1～0 人	人材次第	分からない
1～2 人	数年に 1 名	毎年ではないかも
1 人ずつ不定期に	能力に応じて	毎年は無理
2～3 人	必要に応じ	未定
その時に応じて	必要に応じて	未定数
マッチング	不定数、毎年ではない	良い人がいれば
欠員が出た場合考えます	不明	
チェーンストア経営に興味を持ってくれる学生であれば何人でも採用したい		

問12 設置予定の公立小松大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

自由回答意見
「交流」という言葉のイメージがゆるく感じ、社会に出てからの実務に役立つのかよくわからないのでは？
「文化交流」するだけでは企業は成り立たない。利益の生める（即戦力）人材が欲しい。
29 年春の採用予定は無い。
6 年後の採用についてなので未定ですが、海外の状況も日々変動しているので、グローバルに物事を処理できる人材育成は必要かと思います。
インターンシップの受入等で協力できることがあるかもしれません（小さな会社ですが）。
インターンシップを受入れできます。
カリキュラムの中で1 年間海外留学を義務づける等が必要だと思います。
グローバル人材という理念に魅力を感じました。
グローバルな感性をもった人材をぜひ育ててください！
グローバル化に通用する広い視野を持った学生の育成に期待します。
このような学科は必要無いと考えます。国際文化に必要な力は企業に入ってからでよい。
この学部の場合、県内より県外で活躍頂くことが多いと思います。ただ、バックボーンは石川・小松・加賀であることで、若手の活躍フィールドは拡大すると思います。
コミュニケーションは重要です。ですが日本流のやり方を捨てて文化重視の人材は使いにくいです。
こんなアンケートは迷惑です。今後は捨てます。失礼な話です。
ぜひ前進をして下さい。
チームが必要だと思いますので、つまらない仕事でも助けあえる人を育ててほしいです。
ビジネスで使える中国語、インドネシア語及び自社工場のメンテナンス、開発に使用できる電気制御、機械工学を希望します。
化学会社かつ小規模ゆえ、文学部系の採用が数年に1 名となっております。
学ばれる国の国民性なども学んでいただけると、良いのではないのでしょうか？
学校及び学生の実績を確認してから検討したい。
観光も学生も交流人口が増えることは活性化に対して大変重要なことだと思います。学生が来ることにより雇用・消費、いろいろな効果が期待できると思う。
企業訪問やデュアルシステム等組み込んでほしい。専門用語（地域作業）や分野を理解した国際人を育成してほしい。
貴大学の各学部についてはグローバル化と少子高齢化に伴い必要だと思いますが、弊社の人材採用面からは今後の事業展開の状況によって変わってきます。是非採用を検討できる企業になりたいものです。
県立大学があり、公立（市立）大学が必要ですか。解かりません。
現状の小松短大にしる中途半端である。今回の改定も単なる短大からの延長線上に過ぎない。文系学部についてはもっと検討する余地あり。
語学力、コミュニケーション力を高めていくことは大切なことだと思いますが、加えて民間企業では基礎的経営学を理解していないと、入社後の教育に時間がかかりすぎる。
語学力だけなら長けた学生さんは多くいらっしゃいます。企業にとっては語学は手段にすぎません。社会に出て“何”を成したいから語学を学ぶのかをきちんと説明できる学生さんは少ないです。グローバルというワードもぼんやりしたイメージに当てはめている感じがあります。専門性を高める過程で目的をしっかり持って考え、学ぶ環境を作ってあげることが肝要かと存じます。
語学力は必要だと思うが、それはあくまでもツールであり、仕事を遂行して行く能力が最も大切な事だと思います。
公立なので、とても良いと思います。
公立小松大学を卒業すると具体的にどのような就職ができるか、将来の道すがらが明確になるとよいと思います。
公立大学の少ない石川県で新たに設立されるのは素晴らしいと思います。開校することで小松が活性化されることも期待しています。
講師の問題もあると思う。
国外からの来客もあるので、外国語を修得している方の採用をしたいと考えています。貴大学設立には、とても興味が湧きますし、今後注目したいです。

自由回答意見
国際文化交流学部は経済英語を普通に使いこなせる人材育成をしないと全く意味の無い学部、北陸大学とまるかぶりである。
国際文学交流学部設置の目的について「豊かな人間性」育成ということであれば、世界的視野を持った人材が石川県で活躍することを願って止みません。公立小松大学の今後に期待しています。
今後の経済は諸外国の発展や人口増、行政学的に大きく影響を受ける。しかし国内において、付け焼刃のごとくのが育成が果たして有効なのか、幼児時代からその環境が必要なのでは。もっと外国人を使う今後、余る大学の使い道は？
採用は人物次第です。
似たような学科が星稜大にもあると思うので、あまり欲張らずに何か1つに特化した学部を作ってほしい。
失礼ながら、学校開設の必然性がまったく理解できません。
社会で必要とされる質の高い人材育成を期待しております。
社会人として会社で成功を収めたい等野心の溢れる人材が不足しています。適当に働いて、生活に困らない程度の給料がもらえればそれで良いではなく、上を目指す向上心のある若者を育てていただければ幸いです。
将来活躍する人材の育成を期待します。
小松大学卒業後、どのような職につけるのか？又道が開かれるのか？明確にされていたら安心です。保健医療学部の学科が増えれば魅力的です（理学療法、放射線等）。
少子化、若年世代減少のトレンドの中で、新たな大学設置は独立採算を目指すとするなら、かなりの冒険ではないでしょうか。市の財政が悪化しないことをお祈り致します。
少子化の中、不要と思われる。
人口が減り、どれだけの特徴をもった学校になるか、公立小松大学に期待したいです。
世の中の流れが早いのに平成30年開学では学生を集めるのに少子化で厳しいのではないのでしょうか。
生産システム科学部も国際文化交流学部も良いと思いますが、工業系でグローバルに活躍出来る人材を育てて欲しい。
大学ができるのは大いに歓迎です。しかし学生の就職先を大事に考えてあげないと意味がないので、就職担当の人材を考えて入れておいてください。私の娘は小松短大卒です。私が就職先を見つけてきました。
大変に意義の有る事で賛同します。欲を申すなら卒業後地元を優先に考えてほしいです。又人として最も大事な心の指導もお願いします。
地元の学生が行きたいと思う大学であってほしい。
地方の大学、豊かな人間性を持ち合わせ地域に貢献する人材育成に励んでほしい。
地方創生の意味合いもあり、是非とも設置に向けて、頑張っていただきたいと思います。
中身の充実した大学にしていきたい。
中途半端な大学にしないで欲しい。小松のイメージにかかわると思うからです。
当事業所単体としては採用しませんが、バローホールディングスとしては海外でも展開しており、採用はあると考えます。
当社の海外営業窓口は東京都ですが、富山県内の事業所でも英語を活かせる機会があります。石川県の学生ですとなかなか当社にお越しただけなののが悩みです。
日本人の人材を育てる、海外の人材を日本向けに育てるなど、モノ造りの技術と日本人の精神や礼節を未来へつないで下さい。
文科系の就職は年々困難になっていると聞きます。新しい大学だと卒業生は就職が大変だと思うので、大学側ではどの様に進路を考えているの明記していかないと、魅力ある大学とは認識されないと思います。私事ですが、高専の国際ビジネス科へ通う娘を持っていますが、パンフレットを見せた所、上記の言葉が返って来ました。
北陸の学生や企業はまだグローバル社会への意識や積極性が弱いと感じます。石川で育ったグローバル人材が、石川や北陸の企業に入社し、第一線で活躍する人材をぜひよろしくお願いします。
北陸新幹線の延長により都会の人材が増加すると思われます。
問9～11については、学生、大学、地域の状況を分かっている訳ではないので、失礼ながら「一応～」とさせて頂きました。良い人材育成に期待しています。
薬学部を検討願いたい。
優秀なる専門知識を持つ人材を育てていただきたい。
理系を学び、さらに外国語コミュニケーション能力のある人材を求めています。
旅行業の為、旅行業国家有資格者を優先する。

2016年(平成28年)8月25日付 北國新聞

大卒採用 8割止まり

石川の製造業

計画に届かず

石川県鉄工機電協会が会員の製造業に実施した人員採用などに関するアンケートで、昨年度の大卒・院卒の採用実績が計画の8割に

とどまったことが分かった。売り手市場が続くなか、大手メーカーに学生が流れる傾向が続いており、地元の中小企業にとって人材確保が悩みの種となっている。

アンケートには156社

が回答した。昨年度は、49社が325人の大卒・院卒採用を予定していたが、実際に採用されたのは38社257人で、計画の79%だった。短大・高専・専門学校卒の採用実績は87人で計画を2割上回ったが、大卒の落ち込みはカバーできていない。

今年度の大卒・院卒採用

計画は、58社334人となっており、前年度実績と比べて約3割多い。石川県鉄工機電協会の担当者は「前の年に確保できなかった分、今年も採用意欲は高い」とみており、県や地元大学が連携するUターン就職増加に向けた取り組みなどに期待している。

石川県内製造業の大卒採用者の実績

資料13

○大卒・院卒生の採用計画と実績(平成27年度・28年度)

	大卒・院卒	短大・高専・専門卒	高卒	合計
平成28年度	334人	72人	207人	613人
採用計画	58社	36社	73社	167社
平成27年計画比	2.8%	1.4%	2.0%	2.3%
平成27年実績比	30.0%	▲ 17.2%	9.0%	14.8%
平成27年度	325人	71人	203人	599人
採用計画	49社	28社	60社	137社
平成27年度	325人	87人	190人	534人
採用実績	38社	38社	50社	126社
平成27年度計画比	▲ 20.9%	22.5%	▲ 6.4%	▲ 10.9%

出典:石川県鉄工機電協会 業況特別調査(平成28年6月)「人材採用等についてのアンケート」調査結果
A-1人数による集計

○採用計画の増減比較(平成28年度採用計画・平成27年度採用計画)

	増加 採用実績>採用計画	採用計画と同数 採用	減少 採用実績<採用計画	合計
割合	13.70%	23.50%	62.70%	100%
社数	7社	12社	32社	51社

出典:石川県鉄工機電協会 業況特別調査(平成28年6月)「人材採用等についてのアンケート」調査結果
B-1平成28年度採用計画と平成27年度採用計画の増減比較による集計

看護職員の需給見通し

資料14

北陸3県における看護職員需給見通し

(単位:人、常勤換算)

区分	平成23年度				平成27年度			
	需要数	供給数	需要見通しと供給見通しの差		需要数	供給数	需要見通しと供給見通しの差	
富山県	14129.9	13777.6	352.3	97.5%	14936.9	14834.6	102.3	99.3%
石川県	16579.1	16202.8	376.3	97.7%	17534.7	17485.3	49.4	99.7%
福井県	10740.6	10467.8	372.8	97.5%	11526.6	11360.6	166.0	98.6%

出典:厚生労働省 第七次看護職員受給見通し都道府県別

全国における看護職員の需要数

<パターン1>

(単位:万人)

平成23年度	平成27年度		平成37年度	
	現状投影シナリオ	改革シナリオ	現状投影シナリオ	改革シナリオ
141	151～158	155～163	172～181	195～205

<パターン2>

(単位:万人)

平成23年度	平成27年度		平成37年度	
	現状投影シナリオ	改革シナリオ	現状投影シナリオ	改革シナリオ
141	151～158	151～158	172～181	184～192

出典:厚生労働省「社会保障・税一体改革」医療・介護に係る長期推計(主にサービス提供体制改革に係る改革について)
平成23年6月

小松短期大学 臨床工学専攻科卒業生(臨床工学技士)への求人件数

(単位:件)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平均
北陸地域の病院等からの 求人件数	12	25	15	21	19	18.4
北陸地域を除く全国の病院等 からの求人件数	140	117	97	122	113	117.8
計	152	142	112	143	132	136.2

(注) 1. 小松短期大学提供データに基づき小松市が作成。
2. 北陸地域とは、石川県、富山県、福井県を指している。

石川県 基幹産業別の輸出企業数の推移

資料16

(単位:社)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
機 械 産 業	67	80	76	74	77	85	91
食 品 産 業	15	17	16	22	23	27	39
繊 維 産 業	16	17	14	20	17	18	20
IT 産 業	18	22	21	19	20	22	14
伝 統 産 業	5	6	9	12	13	17	18
合 計	121	142	136	147	150	169	182

出典:石川県産業国際展開戦略 平成26年5月

石川県 海外進出企業及び海外拠点数の推移

資料17

(単位:社)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
機 械 産 業	25	26	26	27	35	43	42
食 品 産 業	5	6	8	8	6	7	7
繊 維 産 業	12	13	12	16	14	17	19
IT 産 業	20	19	18	21	16	15	17
伝 統 産 業	2	2	3	4	4	4	4
そ の 他	28	27	29	34	37	34	38
合 計	92	93	96	110	112	120	127

出典:石川県産業国際展開戦略 平成26年5月

石川県 発祥地別外国人宿泊客数

資料18

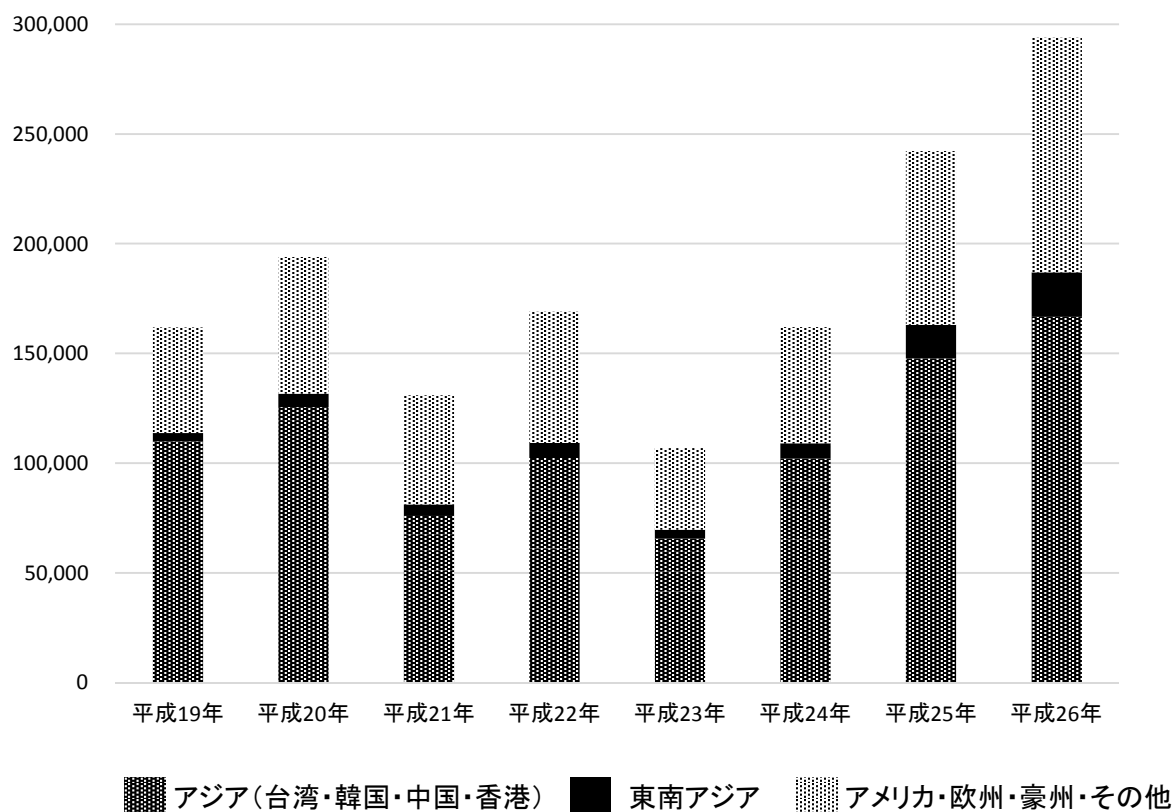
(単位:人)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
台 湾	81,042	91,056	51,151	61,139	41,604	65,448	101,463	113,347
韓 国	21,420	21,460	8,989	16,831	9,032	13,435	12,428	14,238
中 国	4,067	6,845	7,585	10,766	9,360	12,915	15,112	18,517
香 港	3,532	6,306	8,250	13,646	5,662	10,328	18,862	20,676
東 南 ア ジ ア	3,701	6,083	5,384	6,919	4,165	6,979	15,206	20,269
ア メ リ カ	14,530	13,917	13,502	14,489	9,200	11,541	19,088	22,254
欧 州	15,657	19,488	20,272	24,534	10,709	18,940	25,499	32,686
豪 州	2,448	3,677	3,596	4,671	3,988	5,095	6,020	7,656
そ の 他	15,505	25,180	12,305	16,118	13,213	17,480	28,614	44,313
計	161,902	194,012	131,034	169,113	106,933	162,161	242,292	293,956

(注) 1. 「東南アジア」はタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア4か国。

2. 県内外国人宿泊者数では、インドネシアは平成25年より情報取得開始。平成24年以前は「その他」に含む。

発祥地別外国人宿泊客数

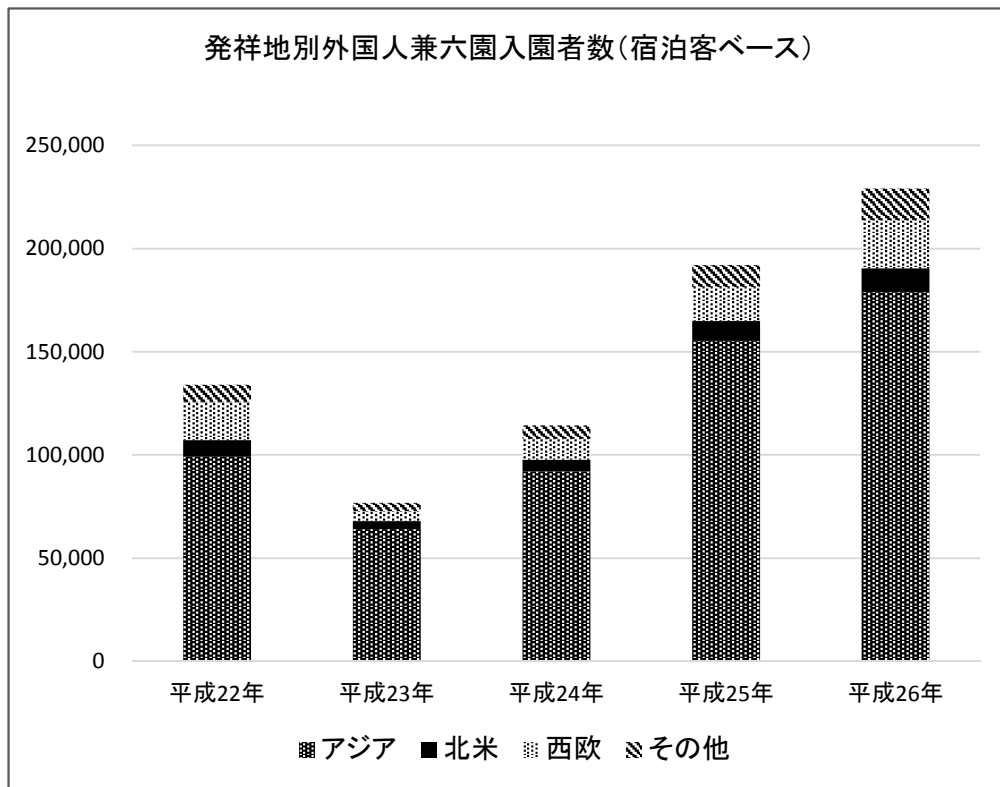


石川県 外国人兼六園入園者数

資料19

○発祥地域別 外国人兼六園入園者数(宿泊客ベース) (単位:人)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	対前年比
アジア	99,145	64,122	91,945	155,294	178,921	115.2
北米	8,083	3,761	5,750	9,576	11,517	12.3
西欧	18,224	4,851	10,178	16,452	23,387	142.2
その他	8,557	4,116	6,444	10,763	15,255	139.8
合計	134,009	76,850	114,317	192,085	229,080	119.3



○発祥地域別構成比 (単位:%)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
アジア	74.0	83.4	80.4	80.8	78.1
北米	6.0	4.9	5.0	5.0	5.0
西欧	13.6	6.3	8.9	8.6	10.2
その他	6.4	5.4	5.7	5.6	6.7

出典:石川県「統計からみた石川県の観光 平成26年度」

○石川県 観光計画における外国人宿泊者数の目標

区 分	平成 26 年	平成 37 年 (目標)
外国人宿泊者数	29 万人	100 万人

出典: 石川県「ほっと石川観光プラン2016」

○参考資料: 新聞記事

平成28年7月9日付 北國新聞

金沢駅西ハイアット開業

高級ホテル「セントリック」
20年春、市が誘致

金沢市は8日、JR金沢駅金沢港口(西口)の市有地に誘致する高級ホテルを「ハイアットセントリック」にすると発表した。米ホテル大手ハイアットの最新ブランドで、国内では開発中の東京・銀座に続き2番目の進出となる。オリックスが中心となって建設し、ホテル以外に中長期の滞在に対応できる宿泊施設「サービスアパートメント」を整備する。2020年春の開業を目指す。

【40面に関連記事】
ホテルの建設予定地は金沢駅西広場に隣接した市有地で、面積は7423平方メートル。ハイアットセントリックは地上15階、地下2階建てで、250室を用意する。

1泊2万6千円からを想定している。
サービスアパートメントは、ブランド名が「オークウッド」で国内には東京しかない。客室は109室、標準タイプの広さは47平方メートルで、ゆとりのある空間を提供し、短期から中長期のインバウンド(訪日外国人)のニーズに対応する。金沢市が開発事業者を募集し、5件の提案が寄せられ、有識者で構成する審査委員会が優先交渉権者として、オリックスを代表構成員とする事業者を選んだ。

市は市有地を一括売却する予定で、8月に売買契約を締結する。譲渡単価は1平方メートル当たり30万5千円となる。

旅行) 需要に対応する。棟内には分譲の居住スペースも設ける。

このほか、敷地内には金沢の丘陵を表現したオープンスペース「金沢みらいの丘」を整備する。1階は商業施設、2階は結婚式場、3階は庭園として、にぎわい創出につなげる。

オリックスなど建設ハイアットセントリックは昨年1月に誕生した外資系ホテルで、「ライフスタイル型」を打ち出し、米国のシカゴやマイアミを中心に展開している。金沢市が開発事業者を募集し、5件の提案が寄せられ、有識者で構成する審査委員会が優先交渉権者として、オリックスを代表構成員とする事業者を選んだ。

市は市有地を一括売却する予定で、8月に売買契約を締結する。譲渡単価は1平方メートル当たり30万5千円となる。

金沢市がJR金沢駅金沢港口(西口)に誘致するハイアットセントリック(左)とサービスアパートメントのイメージ



平成28年7月9日付 北陸中日新聞

金沢駅金沢港口にホテル誘致



ホテル建設予定地＝8日、金沢市広間で（木戸佑撮影）



ホテル建設予定地

金沢市が決定

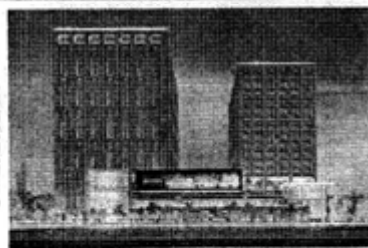
JR金沢駅金沢港口（西口）の市有地に国際的に知名度が高い高級ホテル誘致を目指す金沢市は8日、米国の高級ホテルグループ「ハイアット」の新ブランド「ハイアットセントリック」を提案したオリックス（東京都）を優先交渉権者として決定した。東京五輪・パラリンピックが開かれる二〇二〇年春の開業を目指す。セントリックは東京・銀座に次いで国内二番目となる。（飯田樹与） 関連動画

オリックスは約七千四百二十四平方メートルの全用地を取得。ホテル棟の他に、サイビス付き高級賃貸マンションを展開する米国の「オークウッド」が入る「滞在・分譲棟」の計二棟を建設する。

ホテル棟は地上十五階、

優先交渉はハイアット系

地下二階建て。客室は二百五十室。滞在・分譲棟は地上十七階、地下二階。賃貸



JR金沢駅金沢港口の市有地に建てられるホテルの外観イメージ

用の客室が百九室、分譲用が百十二室ある。

二棟にまたがる低層階には商業施設や結婚式のほか、フィットネスクラブ、学会や大会に対応できる会議スペース、観光情報コーナーを設けてにぎわい創出を目指す。景観にも配慮し、二百台収容できる駐車場は地下に配置する。

譲渡単価は一平方メートル二万五千円で、総額約二十二億六千万円。市は八月中旬にオリックスと市有地財産売買の仮契約を結び、九月定例会議会で議決を得た後、本契約する。事業費は全てオリックスが負担する。

欧米豪を中心に市内の外国人旅行者は増加しており、市は海外富裕層向けのホテル需要があるをみてい

ハイアットセントリック ハイアットグループが2015年に立ち上げた新ブランドで、街の個性や文化に関心がある行動的な旅行者をターゲットにしている。現在、米・シカゴとマイアミにあり、国内では18年に東京・銀座で開業予定。

る。学識者や経済団体関係者、行政職員でつくる審査委員会が五件の応募提案を審査。都市の地位を高める国際的なブランド力を持ち、海外からの集客が期待できるほか、ホテル開発の実績から実現性も高いとしてオリックスの提案に決めた。

山野之義市長は「これまででない国内外の富裕層の来訪が促進される」とコメントした。